YONEX JAPAN OPEN '96

BADMINTON CHAMPIONSHIPS


ボール・エリク・ホイヤー・ラーセン(デンマーク)


カミリア・マーチン(デンマーク)


スシ・スサンティ(インドネシア)


ヘリアント・アルビ(インドネシア)

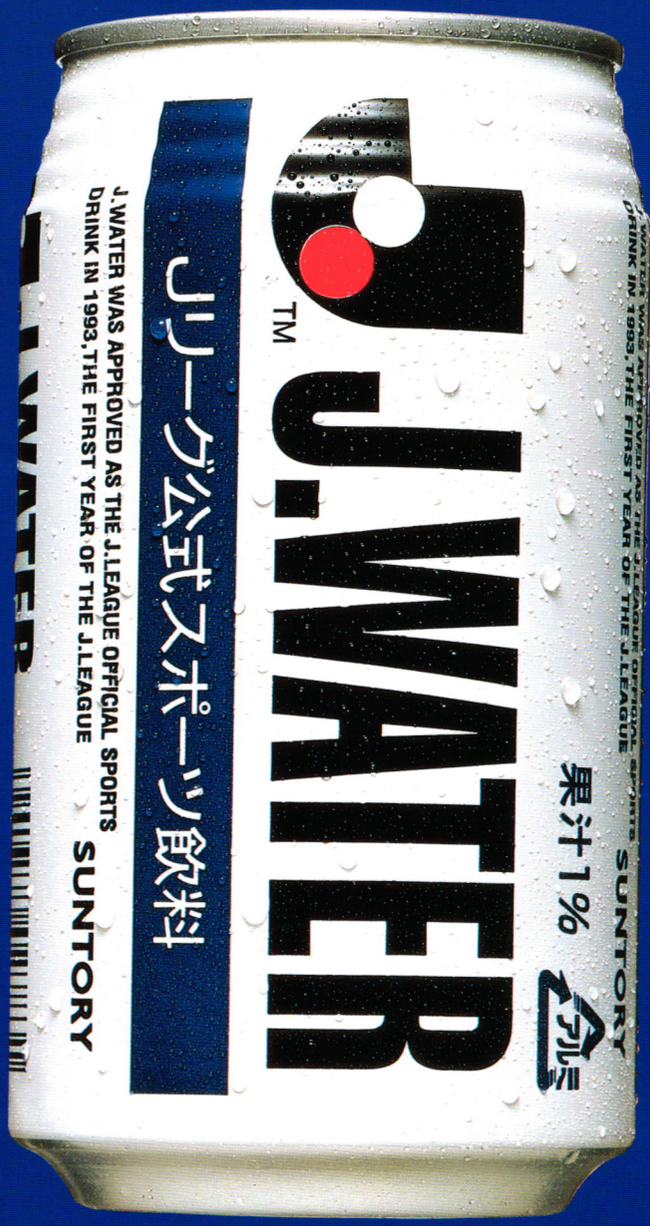
世界最速のシャトルが舞う。

15th. ANNIVERSARY

第15回記念大会

賞金総額$150,000

この水は、プロだ。



プロのスポーツ選手が試合時に飲んでいる
Jウォーター。サッカーだけでなく、
あらゆるスポーツシーンの水分補給にどうぞ。

- スポーツ時に適度な甘さ
- エネルギーに早く変わる果糖のみ使用
- すっきりしたレモンフレーバー

Jリーグ公式スポーツ飲料

J.LEAGUE
OFFICIAL SUPPLIER

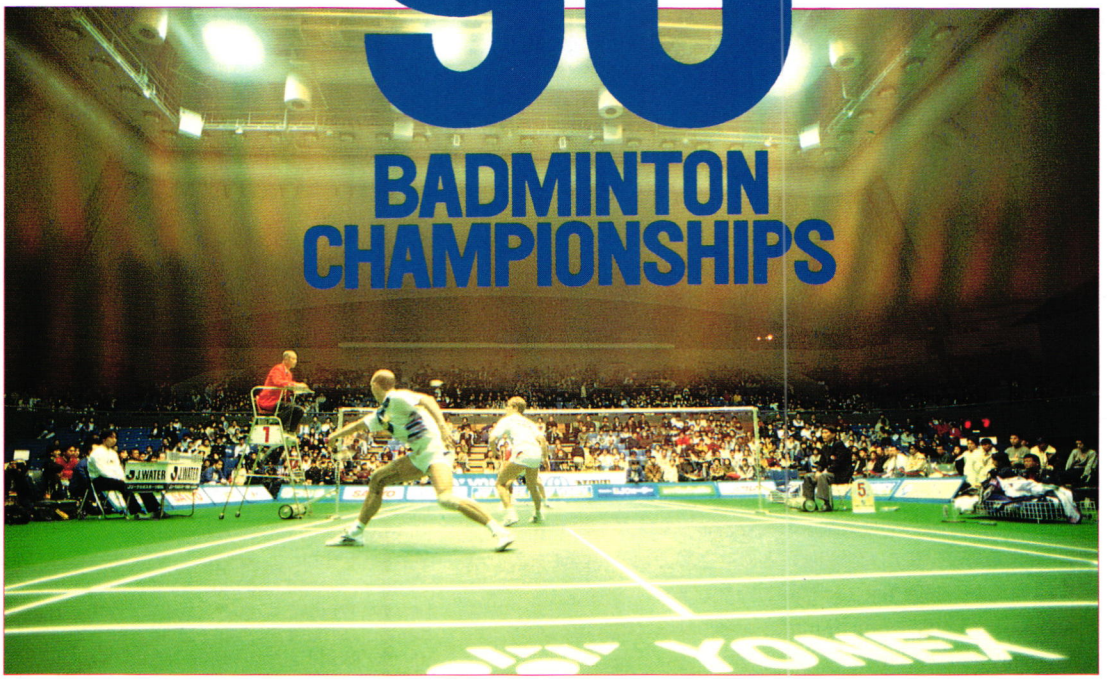
Jウォーター

製造・販売 サントリー株式会社・サントリーフーズ株式会社

PRODUCED BY SUNTORY

あき缶はリサイクルへ

YONEX JAPAN OPEN '96



ヨネックスジャパンオープン'96 バドミントン選手権大会

CONTENTS

ごあいさつ……4
'95WORLD BADMINTON SCENE……6
世界のトッププレーヤー紹介……8
松野・松浦・陣内の
「今だから話せるヨネックスジャパンオープン」……22
五輪へカウントダウン／　'96バドミントン展望……24
ヨネックスジャパンオープン'95ハイライト……28
［特別企画］シャトルコックの魅力……30
競技日程&賞金内訳……32
歴代チャンピオン……33
出場予定選手……36
大会役員……40
ラケット変遷史……42
ＩＢＦ世界ランキング……44
'96主要国際大会スケジュール……46
大会記念グッズ……48
サインスペース……50

●主催――財団法人日本バドミントン協会（N.B.A.）
●公認――国際バドミントン連盟（I.B.F.）
●主管――東京都バドミントン協会
●冠協賛――ヨネックス株式会社
●協賛――NTT　三洋電機　フジチュー
●オフィシャルドリンク――サントリー
●オフィシャルシャトルコック――ヨネックス・トーナメント
●オフィシャルコート――ヨネックスコート
●会期――1996年1月16日（火）～1月21日（日）
●会場――東京都・国立代々木競技場第2体育館
　　NTT東京体育館
●賞金総額――US$150,000

●協力――三協アルミ　日本ユニシス　トナミ運輸
　　ベースボール・マガジン社　都村製作所
　　三ツ葉電機　ナガセケンコー　京王グループ
　　（順不同）

プログラム制作●バドミントン・マガジン編集部
©1996　本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。



財団法人日本バドミントン協会 会長 **桜内 義雄**

ヨネックスジャパンオープン'96が今年も世界各国から多数の男女優秀選手を迎え開催する事が出来ますことは誠に喜ばしい限りであります。

1996年の世界グランプリのひとつとしてジャパンオープンは今や賞金総額そして規模に於ても重要な大会として国際的にも認められ定着してまいりました。

この大会は第1回開催の1982年から数多くの参加国の選手役員の交流の中で各国の選手が競技を通して技術の向上と友情を深め合い素晴しいドラマを作り上げてきました。

選手の皆様には本年のアトランタオリンピック代表を目指してこの大会においても最高の技術を競い、多くのバドミントン愛好者に感動を与えるような活躍を期待しております。

この大会を通じて役員選手の国際親善と交流が一層発展する事を希望し、また大会開催にあたりご尽力頂いた関係者の方々に心から感謝申し上げ挨拶といたします。

It is a great pleasure to invite execellent players, both gentlemen and ladies, once again this year to Yonex Japan Open '96.
As one of the World Grand Prix events for 1996, Japan Open is recognized in the international scene as one of the most major championships, both in terms of prize money and its scope.
Since the first occasion in 1982, this event has been an opportunity for players and officials from many nations to improve their skills and to cultivate friendship. Indeed, we have been creating a story of our own all these years.
We look forward to the matches, where the players will display the best of their technicques, especially with the aim to win your ticket to the Atlanta Olympic Games to take place later this year. This should be a moving experience for a large number of badminton lovers all over.
It is my sincere wish that this event becomes an occasion of international goodwill and to contribute to further deepening the friendship among the participating officials and players.
Finally, I would like to thank all those in charge of the organization of this event.

President, The Nippon Badminton Association
Yoshio Sakurauchi

桜内義雄



国際バドミントン連盟 会長 **呂 聖栄**

I was delighted to be asked to send a message for this souvenir programme. The Yonex Japan Open is the second of the three major tournaments in January which open the new 1996 World Grand Prix series.
This key five-star tournament has yet again increased the prize money on offer. This week players will compete for US$150,000, an increase of US$25,000 over 1995, which was itself an increase on 1994. This reflects the growing prominence of badminton in the world's sporting arena.
I would like to thank Yonex, the title sponsor of the event, for their continued support. Yonex have worked with us for a number of years and we very much appreciate their commitment to badminton.
My thanks also go to all those concerned in the organisation of this event: the President and officials of the Nippon Badminton Association and all their volunteers. Without their hard work, there would be no event.
Finally, I wish the players good fortune. There can only be one winner in each event, but I hope all players will have a personally successful tournament. With so many of the world's top players here this week, I know that spectators will be able to enjoy world-class badminton.

私はＩＢＦ会長として本大会プログラムにメッセージを贈れることを嬉しく思います。ヨネックスジャパンオープンは世界グランプリシリーズで1996年の年頭を飾る１月に開催される３大大会の２番目の大会です。５つ星大会で賞金総額150,000米ドル、昨年に比べ25,000米ドルの増加となり、バドミントン競技が世界のスポーツ界で着実に進展しているものと確信します。

私は、今年もこの大会の冠協賛をいただけるヨネックスにお礼を申しあげたいと思います。永年に亘る献身的なご支援をバドミントン界に賜り厚くお礼を申しあげる次第です。

また、本大会を主催される日本バドミントン協会会長、理事、役員各位に感謝するとともに大会の成功をお祈りいたします。

優勝の栄冠を手にするのはただ一人です。しかし自らのベストを尽くすという目標に向かい、出場選手の皆様がご活躍されることをお祈りいたします。観客の皆様には世界最高峰のプレーを楽しんでいただけるものと確信いたします。

President of International Badminton Federation
Lu Shengrong

呂聖栄



東京都バドミントン協会 会長　**玉手　庸**

1996年の新春を迎えて、ヨネックスジャパンオープン'96を国立代々木競技場第２体育館において世界各国から200余名の参加選手と役員を迎えて大会が開催できます事は誠に喜ばしい限りであり、代表選手のご来日を心から歓迎申し上げます。

バドミントン競技は本年開催されるアトランタオリンピックに向け世界各国の強化も厳しいものとなっております。名実共に本大会は世界のバドミントン界最高の大会であり、ここ東京において観戦出来ますことは私達愛好者として夢のような素晴しいものと思います。そして技術の向上はもとよりスポーツ振興にとりましても大きな感動と活力を与えてくれるものと期待しております。選手の皆様には栄光を目指して熱戦を展開されますよう念願してやみません。

本競技を通じて役員選手の国際親善と交流の発展を希望し、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心から敬意を表すとともに、この大会の益々の発展を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

It is my great pleasure to meet all the players from many nations to Yonex Japan Open '96 at the very beginning of 1996. This year we have the participation of almost 200 players and officials from all over to world to this event at the Second National Yoyogi Stadium. We are well aware that badminton players and their coaches are going through very hard training right now, aiming for the Atlanta Olympic Games which will take place later this year.
In both name and substance, Yonex Japan Open is indeed one of the most important badminton championships in the world. It is an honor for us badminton lovers to be able to watch the matches here in Tokyo, right in front of our own eyes. We believe that this event will be a source of wonder and strength, both in terms of improving the technique, as well as for the further promotion of sports in general. I look forward with great expectations to the hot matches between the players in their quest for glory.
I hope this event will be an opportunity for deepening international goodwill as well as the friendship among the officials and players. I wish to express my sincere thanks to the efforts of all those who made this event a reality, and pray that Yonex Japan Open may continue to prosper.

President, The Tokyo Metropolitan Badminton Association
Isao Tamate

玉手　庸





ヨネックス株式会社 代表取締役社長　**米山　稔**

ヨネックスジャパンオープン'96は、世界の名だたるトップ選手を迎え、本年で記念すべき15回目の歴史を刻むことが出来ました。このことは、ひとえに日本バドミントン協会をはじめとする関係各位、選手諸君、そして何より多くのファンの皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

ご高承のとおり、本年７月、いよいよ、４年に１度のスポーツ界最大の祭典、アトランタ五輪が開催されます。バドミントン競技は２度目のオリンピック参加であり、更にスポーツ大国アメリカでの初開催など、益々の発展が期待されます。本年、賞金総額は、最大級の15万ドルに増額され、出場国も30カ国を数えるなど、世界注目の大会です。

選手諸君は五輪出場権獲得へ向け、この素晴らしい舞台で、日頃練磨されたプレーを発揮される様、念願してやみません。今後とも、弊社と致しましては、バドミントン競技の更なる振興と発展を目指し、より一層の努力を致す所存でございます。

最後に、本大会に際し、ご尽力賜りました関係各位の皆様に深い感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

It is my great honor to hold the memorial 15th Yonex Japan Open '96 with participation by many world top players. We could not have reached 15th year without asupport and dedicated work from Nippon Badminton Association and other officials, players, and most importantly, a support from funs.
This year, in July, the biggest sport festivities to be held every 4 years The Olympic Games, will be held in Atlanta. The fact that this would be the second Olympic participation for badminton and the first major tournament to be played in front of sports addicted Americans, we expect even brighter future for the sport of badminton.
The 15th Yonex Japan Open tournament, is keenly watched from the world with the fact that total prize-shave been increased to the world richest $150,000 and players from 30 countries will be competing.
In order to get a spot to play in the Atlant, we expect this year's tournament to be high level and we would see very intence competition. Yonex will continue to put our best efforts to support and promote sport of badminton.
Finally, I would like to express my deepest thanks for the efforts of everybody involved in the organization of this tournament.

President of Yonex Company Ltd.
Minoru Yoneyama

米山　稔

'95 WORLD BADMINTON SCENE

95年大会ハイライト

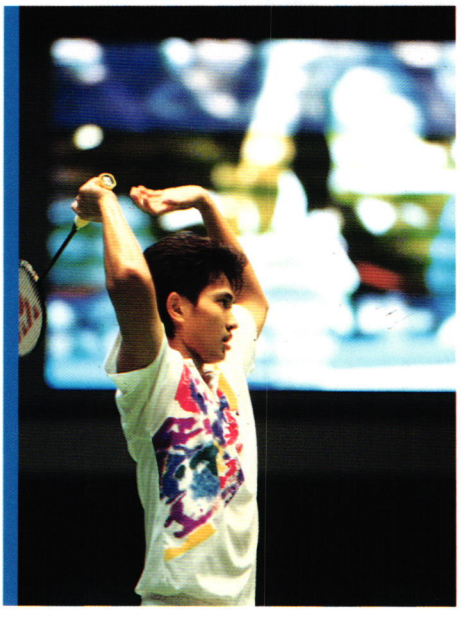
アトランタを前に混戦状態
中国に復権の兆し見えインドネシア危うし!?

★オリンピックイヤーの前年、1995年は代表選手の選考期間にあたり世界中のトーナメントで激戦が展開された。一昨年まで圧倒的なタイトル独占状態だったインドネシアにも徐々に陰りが見えはじめた。1月のジャパンオープンでは3種目を制し好調な滑り出しを見せたインドネシアだが、3月の全英オープンでのタイトルは男子ダブルスのみ。アルビ、スサンティと五輪でも金メダルが期待される2人の連敗は内外に大きな衝撃を与えた。かわって全英ではデンマーク、スウェーデンらヨーロッパ勢の活躍が目立った。3年連続で全英無冠に終わった中国は、5月のスディルマンカップで宿敵インドネシアに圧勝を収め初V。個人の世界選手権でも葉釗穎が女子シングルスを制し、王国再建へ確かな前進を見せた。

ヨネックスジャパンオープン

1月24日~29日★
東京／駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

駒沢という初めての舞台でもインドネシアが猛威をふるい、前年に続いて男女シングルス、男子ダブルスの3種目を制覇。順調にシーズンの幕開けを飾った。女子ダブルスでは中国のホープ、葛菲／願俊がトップに躍進。新勢力の台頭を感じさせた。



王座奪回を遂げたアルビ(インドネシア)の姿を会場のスクリーンが映しだす



V2を達成したスサンティ(インドネシア)が満面に笑みをたたえる



急速な成長ぶりを見せた葛菲(右)／願俊が一躍頂点へ



7年ぶりにヨーロッパに全英のカップをもたらしたホイヤーラーセン



スサンティ(奥)を準決勝で破り、高々と右腕を突き上げる林小青

ヨネックス全英オープン

3月14日~18日★
バーミンガム／ナショナルインドアアリーナ

ウエンブレーからバーミンガムへと舞台を移して2回目の大会では、混合ダブルスを除く4種目で新チャンピオンが誕生。シングルスのホイヤーラーセン(デンマーク)と林小青（スウェーデン）は、それぞれアルビ、スサンティの3連覇を阻んでの優勝だった。

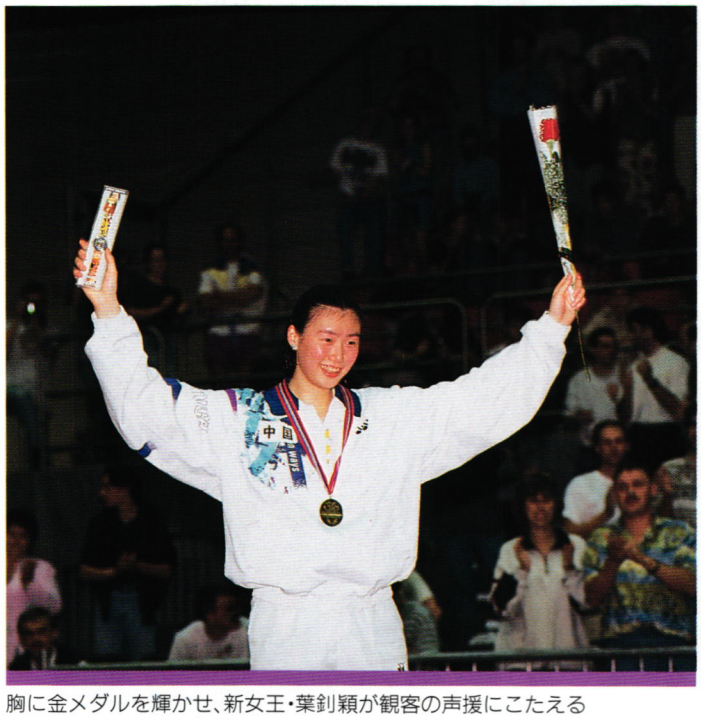
スディルマンカップ＆世界選手権

5月17日～28日★
スイス・ローザンヌ／マレースポーツスタジアム

男女混成の国別対抗戦、スディルマンカップでは中国がインドネシアを下し初優勝。続いて行なわれた個人の世界選手権でも中国の女子エース、葉釗穎がスサンティのＶ２を阻み世界チャンピオンに。かつてのバドミントン王国が「復権」に向けて大きく前進した。



インドネシアに圧勝を収め、初の栄冠を獲得した中国チーム



胸に金メダルを輝かせ、新女王・葉釗穎が観客の声援にこたえる



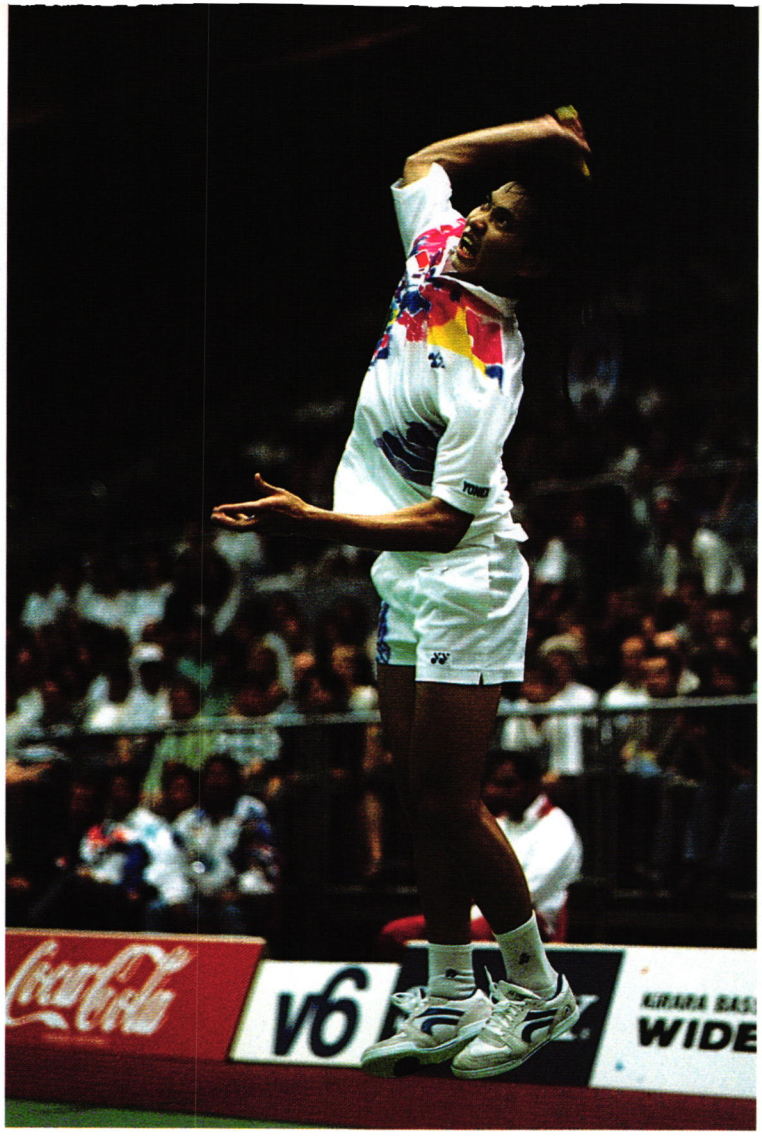
Ｖを決め跳びあがって喜ぶスバグジャ（左）
と祈りを捧げるマイナキー（インドネシア）



全英に続くビッグタイトル獲得を果たした
吉永雅（背中）／張恵玉（韓国）



インタビューを受けるルンド（右）／トムセンに
祖国デンマークのファンが群がる



Men's Singles

時代をリードするハイパースマッシュ

ハイパースマッシュで新時代を切り拓いたインドネシアの若きエース。俊敏かつしなやかな動き、そして抜群の反射神経を駆使して華麗にシャトルを追い、ハイジャンプ一番。矢のようなスマッシュをあらゆるアングルへ向けて連射し、イニシアチブを握る。苦しい態勢も一撃で有利に転化させるアグレッシブなスタイルは世界のファンを魅了。95年には世界選手権を制し名実ともトップの座を確立、五輪へ一歩リードした。

ヘリアント・アルビ

1972年1月21日生まれ　インドネシア　175cm、68kg　右利き　ジャルームクドゥースクラブ所属　趣味・音楽鑑賞　主な成績　'95韓国オープン優勝、ジャパンオープン優勝、全英オープン2位、世界選手権優勝、マレーシアオープン3位、インドネシアオープン3位、香港オープン優勝、ワールドランキング1位

HERYANTO ARBI

Birthdate : January 21, 1972
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 175cm, Weight : 68kg
Hobbies : Music
World Ranking : 1

Men's Singles

帰ってきた執念のミラクルレシーブ

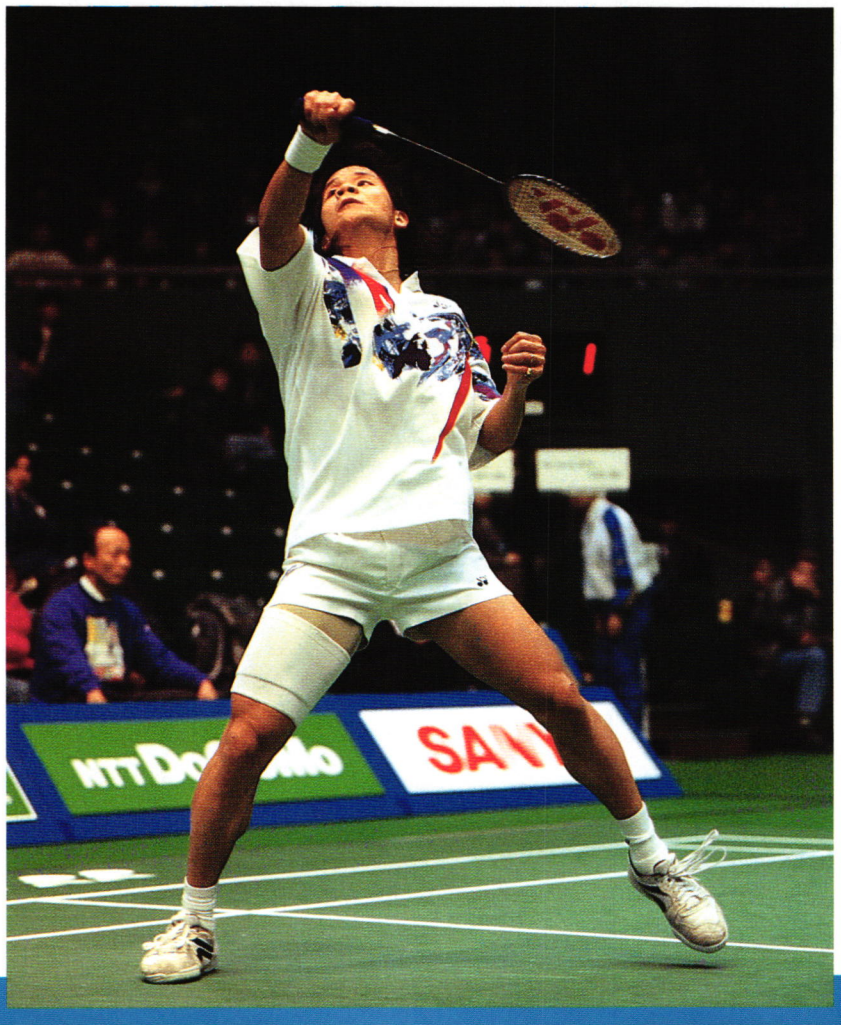
アルビ最大のライバル。プレースタイルは対照的で、強固なレシーブが売り。身長・リーチには恵まれないが、どんな球にも恐るべき執念で食らいつき、ネット前につけば変幻自在にシャトルをコントロール。長いラリーのスタミナ勝負に持ち込み相手の戦意を削り取っていく。エネルギーに満ちたそのパフォーマンスが災いしてか95年前半は左足の負傷で不振に陥るが、後半から力強く復調。再び同僚アルビと覇権を争う。

アーディ・B・ウィラナタ

1970年2月10日生まれ　インドネシア　171cm、67kg　右利き　学生　趣味・サッカー、映画、音楽鑑賞　主な成績　'92バルセロナ五輪2位、'95ジャパンオープン3位、マレーシアオープン2位、インドネシアオープン優勝、ワールドカップ3位、GPファイナル2位、ワールドランキング5位

ARDY B. WIRANATA

Birthdate : February 10, 1970
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 171cm, Weight : 67kg
Hobbies : Football, Movies, Music
World Ranking : 5



Ladies' Singles

神秘のスピリット維持し五輪へラストスパート

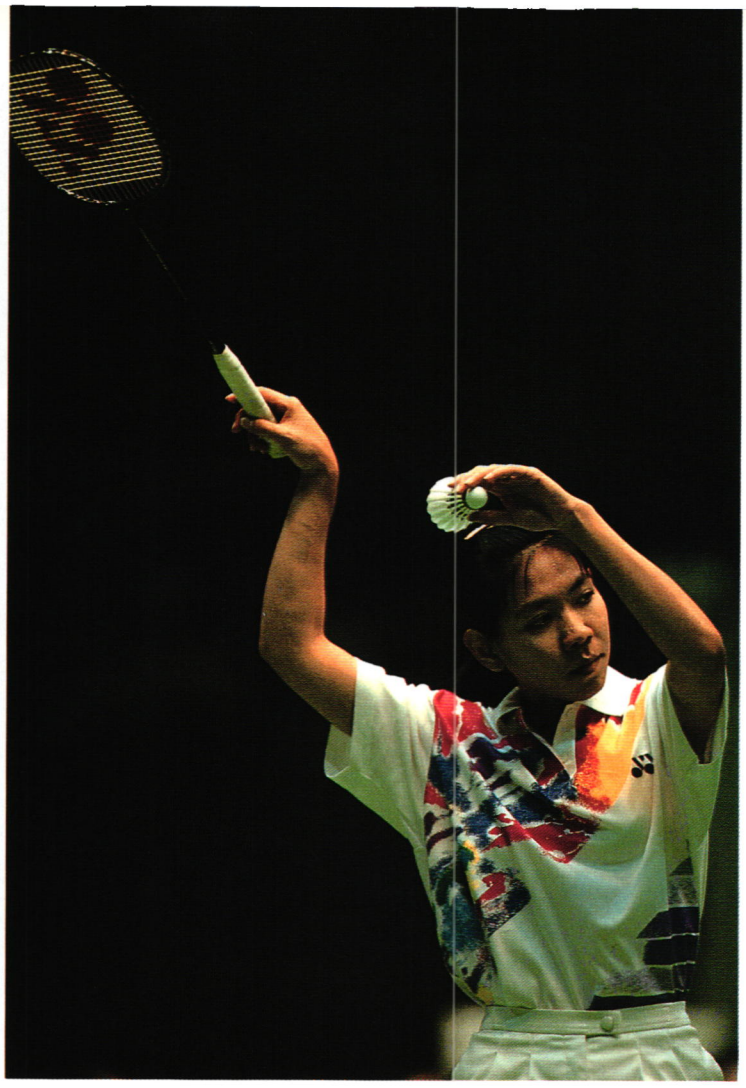
スレンダーな体からは想像もつかないスピリチュアルなプレーヤー。驚異的な集中力と持久力はプライドの高さに支えられたもの。一撃必殺のパワーこそ欠くが、エンドレスに繰り出す正確無比のクリアーで相手を心理的に追い込み自滅を誘う。バレエで鍛えた柔軟な四肢で操るネットプレーも魔術のよう。最近は神がかり的な強さにやや陰りが見えてきたが、最終目標の五輪連覇へ向け攻撃力アップをはかりつつある。

スシ・スサンティ

1971年2月11日生まれ　インドネシア　161cm、53kg　右利き　ジャヤラヤクラブ所属　趣味・音楽&映画鑑賞　主な成績　'92バルセロナ五輪優勝、'95韓国オープン優勝、ジャパンオープン優勝、全英オープン3位、世界選手権3位、マレーシアオープン優勝、インドネシアオープン優勝、ワールドカップ2位、中国オープン3位、ワールドランキング2位

SUSI SUSANTI

Birthdate : February 11, 1971
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 161cm, Weight : 53kg
Hobbies : Music, Movies
World Ranking : 2





Ladies' Singles

「女王」の称号をスサンティから奪取

95年の世界選手権でスサンティ攻略に成功、「女王」の座を奪い取った中国のヒロイン。その武器は伸びやかな肢体を生かした攻撃。オーバーヘッドの優美なフォームは、ヒットの瞬間までコースも球種も読ませない。チャンスに応じてクリアー、カット、スマッシュと効果的に使い分け、ダイナミックにコートを支配する。スサンティに勝った自信は大きく、課題の精神面も充実。いま、まさしく「旬」の状態にあり。

葉釗穎（イエチャオイン）

1974年5月7日生まれ　中国　175cm、60kg　右利き　学生　趣味・音楽鑑賞　主な成績　'95ジャパンオープン3位、スウェーデンオープン優勝、アジア選手権優勝、世界選手権優勝、マレーシアオープン3位、シンガポールオープン3位、全米オープン優勝、ワールドカップ優勝、香港オープン3位、中国オープン優勝、GPファイナル優勝、ワールドランキング3位

YE ZHAOYING

Birthdate : May 7, 1974
Country : China
Plays : Righthanded
Height : 175cm, Weight : 60kg
Hobbies : Music
World Ranking : 3

Men's Singles

辛口に醸成された大味ハードヒッター

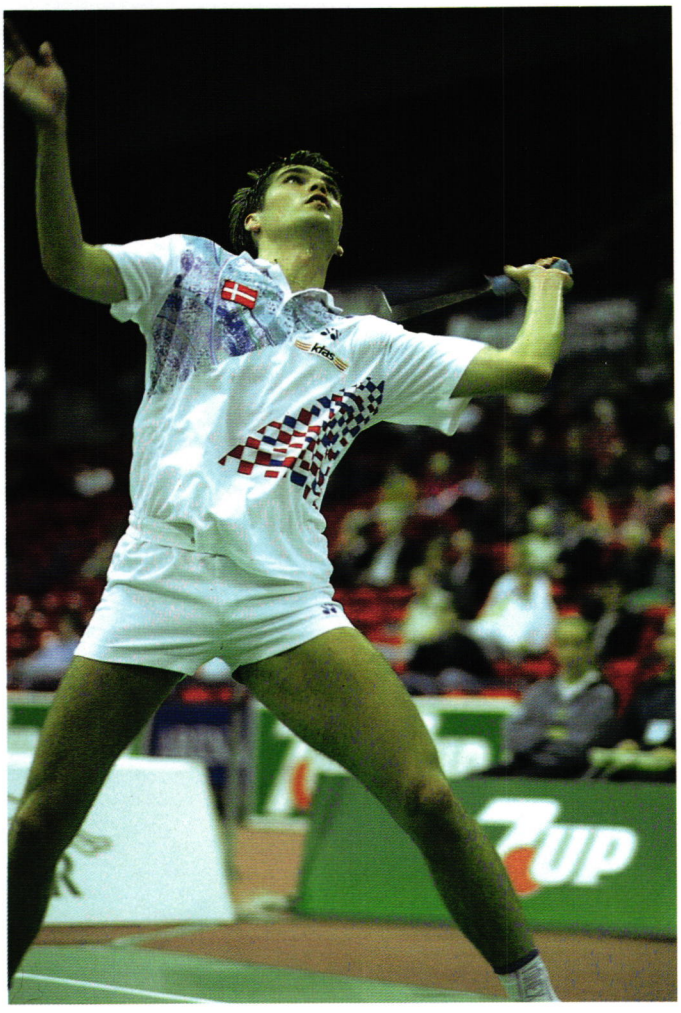
29歳にして全英オープンを制覇。年齢を重ねて円熟味を増すワインのようなサウスポー。長身から斧を振り下ろすようなスマッシュの迫力は健在だが、エースに至るまでのプロセスに変化の跡をうかがわせる。決め急がずにもうひとつ大きく回して待つ。ねばられてもていねいに応戦する。大味ながら淡白さにやや難があった強打者は、年月とともに焦りや諦めという甘さを薄め、ほどよく落ちついた大人の辛口に醸成された。

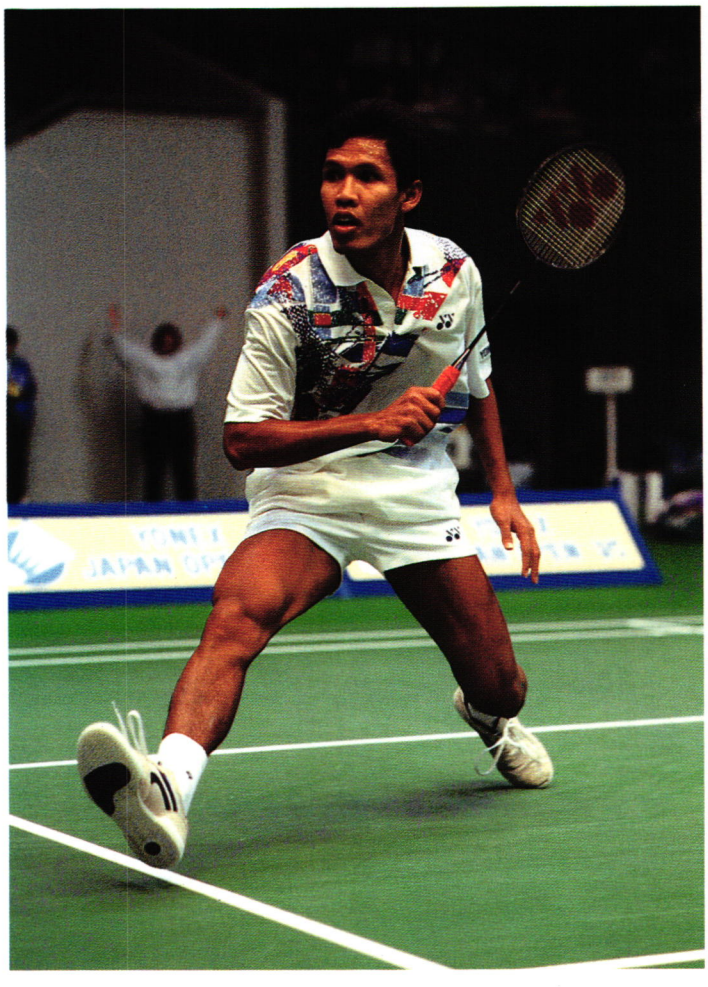
ポールエリク・ホイヤーラーセン

1965年9月20日生まれ　デンマーク　189cm、74kg　左利き　リレロードクラブ所属　趣味・釣り　主な成績　'92バルセロナ五輪8強、'95韓国オープン3位、全英オープン優勝、世界選手権3位、デンマークオープン優勝、ドイツオープン2位、中国オープン2位、ワールドランキング4位

POUL-ERIC HOYER-LARSEN

Birthdate : September 20, 1965
Country : Denmark
Plays : Lefthanded
Height : 189cm, Weight : 74kg
Hobbies : Fishing
World Ranking : 4





Men's Singles

揺るぎない型を持つ古豪の堅実ラリー

バルセロナ五輪の選に漏れた屈辱をアトランタで晴らすべく、現役に執着。以来、29歳の今日まで世界上位のポジションをキープしてきた古豪も、ついに勝負の年を迎えた。勇気あふれる横っ飛びレシーブで相手のリズムを乱し、前後左右に揺さぶり、チャンスとみるやカサにかかって攻め込む。実直な人柄そのままに、若いころから努力の積み重ねで築いてきた堅実ラリーの型は、野望を遂げるまで揺らぎそうもない。

ジョコ・スプリアント

1966年10月6日生まれ　インドネシア　174cm、68kg　右利き　ビマンタラタンカスクラブ所属　趣味・音楽鑑賞、ギター演奏　主な成績　'95ジャパンオープン2位、インドネシアオープン2位、シンガポールオープン優勝、ワールドカップ優勝、GPファイナル優勝、ワールドランキング2位

JOKO SUPRIANTO

Birthdate : October 6, 1966
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 174cm, Weight : 68kg
Hobbies : Music, guitar
World Ranking : 2

Ladies' Singles

魔物に立ち向かう韓国のエース

五輪でスサンティと決勝を争ってから3年半。その間つねに「雪辱」を念頭に、初代金メダリストをピタリとマーク。そして今年、再び世界最大のイベントでスサンティと顔を合わせようとしている。「技」も「体」も負けないだけのものを持ちながら、ギリギリの場面で発揮されるスサンティの「心」の強さには幾度も屈してきた。コートに潜む、見えない魔物の存在。それを克服したとき、彼女は頂点に立っているはずだ。

方 銖賢（バンスーヒョン）

1972年9月13日生まれ　韓国　170cm、57kg　右利き　オリリー化粧品所属　趣味・音楽&映画鑑賞　主な成績　'92バルセロナ五輪2位、'95韓国オープン2位、ジャパンオープン2位、スウェーデンオープン3位、アジア選手権3位、世界選手権3位、マレーシアオープン2位、インドネシアオープン2位、シンガポールオープン2位、全米オープン2位、カナダオープン優勝、香港オープン優勝、中国オープン2位、ワールドランキング1位

BANG SOO HYUN

Birthdate : September 13, 1972
Country : Korea
Plays : Righthanded
Height : 170cm, Weight : 57kg
Hobbies : Music, Movies
World Ranking : 1





Ladies' Singles

美貌と強気で魅せる北欧のアイドル

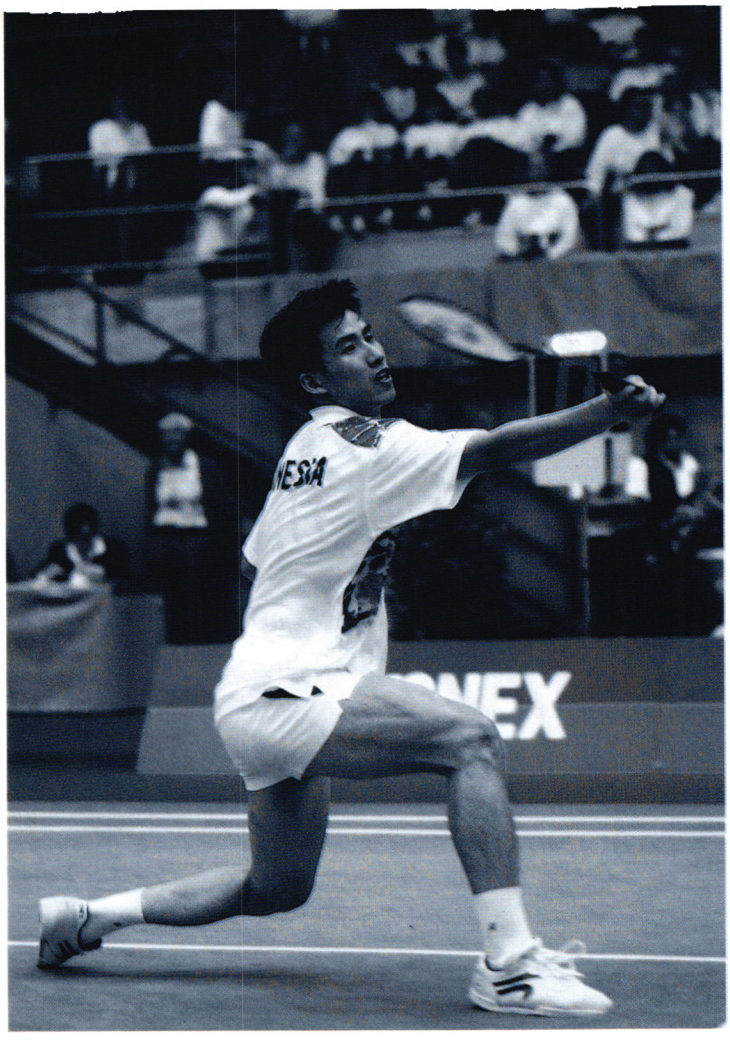
フランス人形のような顔が、コートに立つと一変。頬を赤く染め、闘志をむきだしにしてシャトルを追い回す。長いリーチをいっぱいに使ったハイバックは女子とは思えないほど強力。フォア奥からスリークオーターぎみのスイングで沈めるカットも相手の意表を突くに十分。感情の起伏が激しく、調子づいて実力以上のパフォーマンスを発揮したり、ミスに逆上して自滅したり。美貌も含め「魅せる」プレーで人気を集める。

カミラ・マーチン

1974年3月23日生まれ　デンマーク　175cm、57kg　右利き　ヘイイピェルグクラブ所属　趣味・読書、音楽鑑賞　主な成績　'95スイスオープン優勝、全英オープン2位、デンマークオープン3位、ドイツオープン優勝、GPファイナル3位、ワールドランキング8位

CAMILLA MARTIN

Birthdate : March 23, 1974
Country : Denmark
Plays : Righthanded
Height : 175cm, Weight : 57kg
Hobbies : Reading, Music
World Ranking : 8



Men's Singles

フィアンセと誓う 五輪アベック連覇

ミスが少なく確実性の高いラリーを展開するオールラウンドプレーヤー。同胞アルビやウィラナタほど強烈な個性が露出しないのは、個々のストロークの完成度の高さにある。名手ほどファインプレーは少なく、パフォーマンスも目立たないもの。もっとも、若いころから故障がちの面もあり、調子の波が大きいのが難点。97年春のスサンティとの結婚を前に、もうひとつの誓い、五輪アベックV2を胸に秘めてコートに立つ。

アラン・ブディ・クスマ

1968年3月29日生まれ　インドネシア　179cm、70kg　右利き　ジャルームスラバヤクラブ所属　趣味・音楽鑑賞　主な成績　'92バルセロナ五輪優勝、'95ジャパンオープン3位、マレーシアオープン優勝、インドネシアオープン3位、ワールドカップ2位、香港オープン2位、ワールドランキング3位

ALAN BUDI KUSUMA

Birthdate : March 29, 1968
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 179cm, Weight : 70kg
Hobbies : Music
World Ranking : 3

Men's Singles

長短自在、タフネス 自慢の小さな強打者

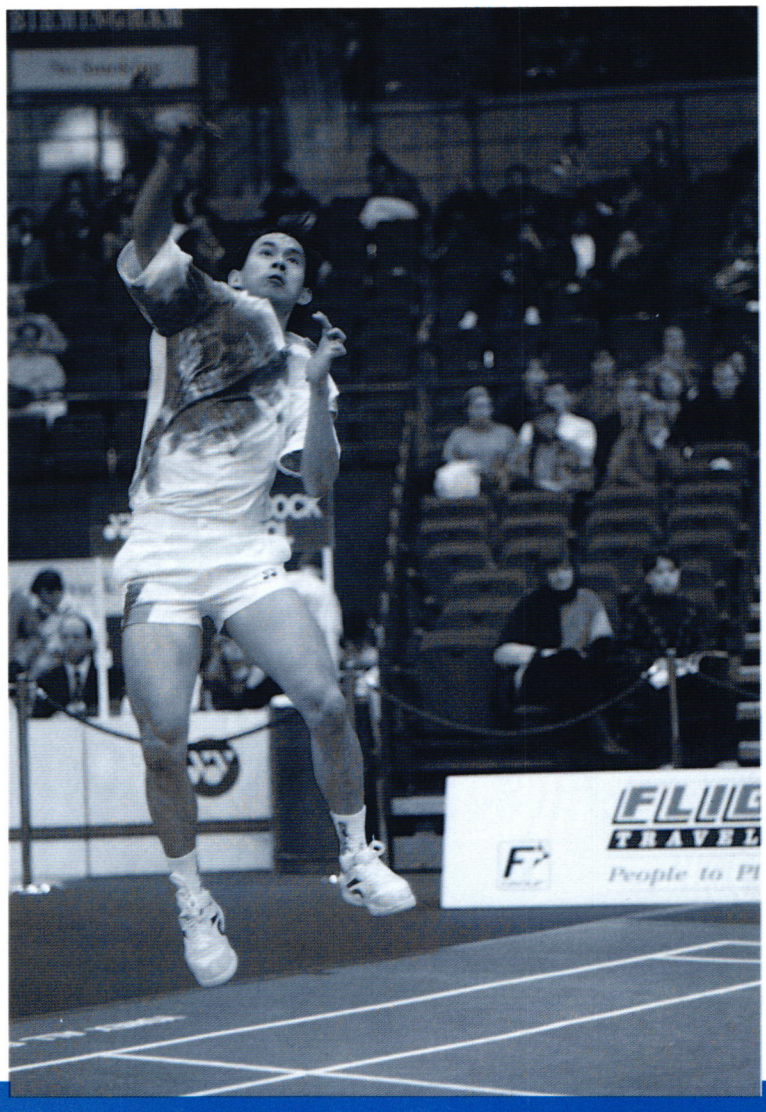
バルセロナ五輪銅メダリスト。日本ではもうひとつ知名度に欠けるが、バドミントン王国インドネシアのシングルス5人衆のひとりとして、長く世界の上位で健闘する実力派だ。小柄な体を跳躍させ、速い攻撃で積極的にラリーを断ち切る。そのプレースタイルは陸上競技でいえば短距離ランナーだが、豊富なスタミナと執着心も併せ持ち、マラソンラリーもかなりいける。昨年、女子の名選手サルウェンダと結婚した。

ヘルマワン・スサント

1967年9月24日生まれ　インドネシア　170cm、63kg　右利き　ビマンタラタンカスクラブ所属　趣味・音楽鑑賞　主な成績　'92バルセロナ五輪3位、'95中華台北オープン優勝、全英オープン3位、シンガポールオープン2位、全米オープン優勝、ワールドランキング6位

HERMAWAN SUSANTO

Birthdate : September 24, 1967
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 170cm, Weight : 63kg
Hobbies : Music
World Ranking : 6





Ladies' Singles

頑強プレーに数奇な半生がオーバーラップ

中国からスウェーデンに移住して5年、全英オープンでついにスサンティを下し優勝というサクセスストーリーの具現者。28歳のベテランだが、まだまだ気力、体力とも充実。シングルスに専念するようになったことも最近好調の大きな要因にあげられる。サウスポーから放つ幻惑的なカットは中国仕込み。詰めの迫力は北欧的。コート上で表現する逞しいプレーには、逆境に抵抗し、乗り越えた半生がオーバーラップする。

林 小 青（リンシャオチン）

1967年8月15日生まれ　スウェーデン　167cm、57kg　左利き　オーラクラブ所属　趣味・音楽鑑賞　主な成績　'95中華台北オープン優勝、韓国オープン3位、ジャパンオープン3位、スイスオープン2位、スウェーデンオープン2位、全英オープン優勝、マレーシアオープン3位、インドネシアオープン3位、ワールドカップ3位、デンマークオープン優勝、香港オープン3位、タイオープン優勝、GPファイナル3位、ワールドランキング4位

LIM XIAOQING

Birthdate : August 15, 1967
Country : Sweden
Plays : Lefthanded
Height : 167cm, Weight : 57kg
Hobbies : Music
World Ranking : 4

Ladies' Singles

驚異の変則フォームで躍り出た新プリンセス

インドネシアに出現した驚異のホープ。現在、高校1年生にして世界ランキング上位のポジションに定着した。得意技はバク転寸前まで上体をのけぞらせて打つオーバーヘッド。体の柔らかさを存分に生かしたアクロバチックなフォームだが、この体勢からバラエティに富んだ球を繰り出すのだから、バドミントンの常識を超えている。ハートの強さも大人顔負けで、末恐ろしいとはこの選手のためにあるような言葉だ。

ミア・アウディナ

1979年8月22日生まれ　インドネシア　160cm、55kg　右利き　ジャヤラヤクラブ所属　趣味・読書、音楽鑑賞、ショッピング　主な成績　'95全英オープン3位、ワールドカップ3位、ドイツオープン2位、香港オープン2位、ワールドランキング6位

MIA AUDINA

Birthdate : August 22, 1979
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 160cm, Weight : 55kg
Hobbies : Reading, Music
World Ranking : 6



Men's Doubles

世界を席巻する豪快コンビネーション

これぞ本物というべきエキサイティングなダブルスを堪能させてくれるハードヒッターコンビ。世界1位の座を2年間守り続け、全盛時代を驀進中。攻撃時に見せる快速コンビネーション、守りに回ってもドライブレシーブを放ちつつ強引に前へ出ていく姿には王者の自信があふれている。チャンスメーカーはもっぱらクールなスバグジャで、巧みな配球でチャンスを切り拓いてはワイルドなマイナキーの豪打を引き立てる。

リッキー・スバグジャ

1971年1月27日生まれ　インドネシア
172cm、63kg　右利き　ビマンタラタンカスクラブ所属　趣味・サッカー

レキシー・マイナキー

1968年3月9日生まれ　インドネシア
172cm、60kg　右利き　ビマンタラタンカスクラブ所属　趣味・映画鑑賞

主な成績　'92バルセロナ五輪8強、'95韓国オープン優勝、ジャパンオープン優勝、全英オープン優勝、世界選手権優勝、シンガポールオープン優勝、全米オープン3位、ワールドカップ優勝、ワールドランキング1位



REXY MAINAKY
Birthdate : March 9, 1968
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 172cm, Weight : 60kg
Hobbies : Films
World Ranking : 1

RICKY SUBAGDJA
Birthdate : January 27, 1971
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 172cm, Weight : 63kg
Hobbies : Football



THOMAS LUND
Birthdate : August 2, 1968
Country : Denmark
Plays : Righthanded
Height : 188cm, Weight : 78kg
Hobbies : Squash, Tennis, Golf
World Ranking : 4

JON HOLST-CHRISTENSEN
Birthdate : June 16, 1968
Country : Denmark
Plays : Righthanded
Height : 174cm, Weight : 73kg
Hobbies : Music, Cricket

Men's Doubles

打倒アジアを期すヨーロッパ最強ペア

打倒アジアへ飽くなきチャレンジを続ける欧州最強ペア。いかにも欧州のダブルスらしいパワフルな攻撃が身上だ。見上げるような上背のルンドがネット前に立ちはだかり、長いリーチで相手の返球をことごとくカット。奥へ逃げてもホルストクリステンセンが豪快なジャンピングスマッシュで襲いかかる。お互い負傷に泣かされ続けているが、好調なときの集中打の迫力は圧巻。アジア勢の技術に今年はどう対抗するか。

ヨン・ホルストクリステンセン

1968年6月16日生まれ　デンマーク
174cm、73kg　右利き　リレロードクラブ所属　趣味・音楽鑑賞、クリケット

トーマス・ルンド

1968年8月2日生まれ　デンマーク
188cm、78kg　右利き　カスドルプマクレピークラブ所属　趣味・スカッシュ、テニス、ゴルフ

主な成績　'95韓国オープン2位、スイスオープン優勝、世界選手権2位、デンマークオープン優勝、ドイツオープン優勝、中国オープン2位、GPファイナル3位、ワールドランキング4位

Ladies' Doubles

ダブルス王国の伝統を受け継ぐ忍耐コンビ

ダブルス王国の伝統を受け継ぎ世界のトップに立つ韓国のエースペア。吉永雅はバルセロナ五輪銅メダリスト、張恵玉は18歳の新鋭。典型的な韓国のレシーブ型ダブルスで、小柄ながら豊富な練習量で培った忍耐力をベースに、鉄壁の守りを誇る。技術面ではコンパクトなスイング、試合運びでは大事な局面でのポイントゲットのうまさに見るべきものがあるが、ピンチを耐え抜き長丁場を制していく気迫がなによりの持ち味。



吉永雅（キルヨンア）

1970年4月11日生まれ　韓国　161cm、61kg　右利き　釜山市役所　趣味・映画鑑賞

張恵玉（ジャンヘオク）

1977年2月9日生まれ　韓国　160cm、55kg　右利き　忠清南道庁所属　趣味・クラシック鑑賞、読書

主な成績　'95韓国オープン優勝、全英オープン優勝、世界選手権優勝、マレーシアオープン2位、シンガポールオープン2位、全米オープン優勝、カナダオープン優勝、香港オープン優勝、中国オープン2位、タイオープン優勝、GPファイナル2位、ワールドランキング1位

JANG HYE OCK

Birthdate : February 9, 1977
Country : Korea
Plays : Righthanded
Height : 160cm, Weight : 55kg
Hobbies : Classical Music, Reading
World Ranking : 1

GIL YOUNG AH

Birthdate : April 11, 1970
Country : Korea
Plays : Righthanded
Height : 161cm, Weight : 61kg
Hobbies : Films



Ladies' Doubles

中国の新兵器は高性能レーダーと大砲を装備

テンポのいい波状攻撃で頭角を現した中国期待のコンビ。冷静に戦況を見極め突破口を探るレーダー役は、長身の葛菲。轟音とともに大砲を飛ばすのは願俊。葛菲がネット前から多彩に仕掛け、願俊がコート後方から絶叫を放ちながら強打を送り込む。トップ&バックの陣型でいったんリズムに乗れば、相手コートにシャトルが沈むまで執ような猛攻を繰り返す。韓国ペアとの我慢比べで牙城を攻めくずせるかが焦点。

葛菲（ゲーフェイ）

1975年10月9日生まれ　中国　170cm、58kg　右利き　学生　趣味・カンフー&コメディ映画鑑賞

願俊（グージュン）

1975年1月3日生まれ　中国　165cm、62kg　右利き　学生　趣味・音楽鑑賞

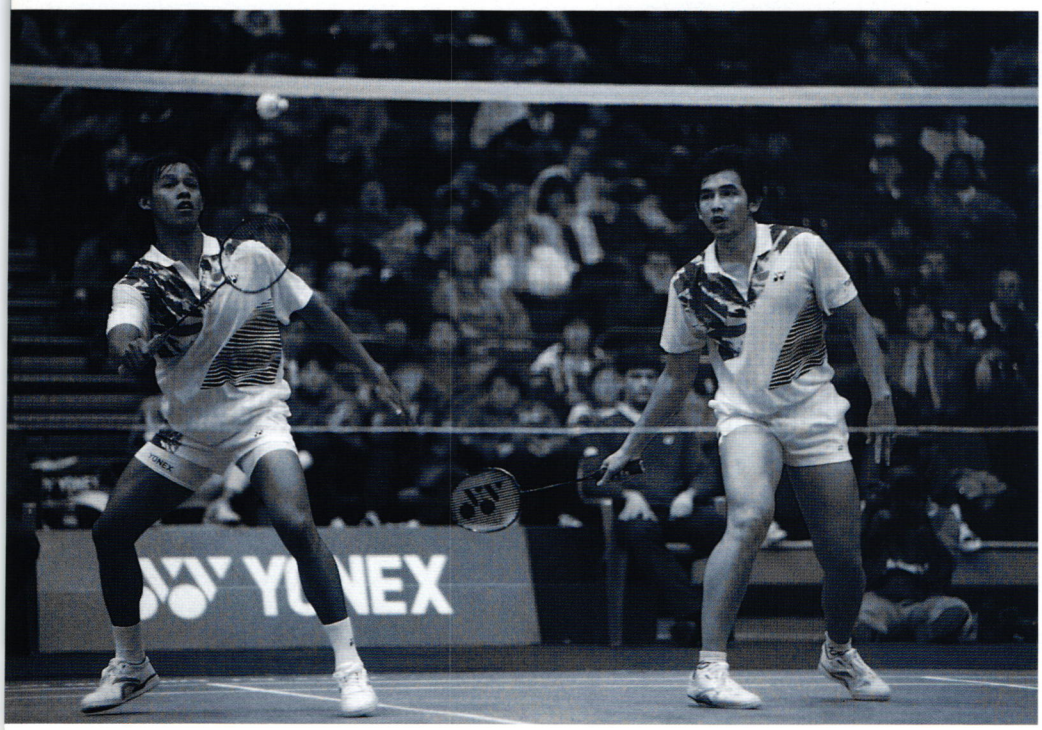
主な成績　'95韓国オープン2位、ジャパンオープン優勝、アジア選手権優勝、インドネシアオープン優勝、シンガポールオープン優勝、全米オープン3位、中国オープン優勝、タイオープン2位、GPファイナル優勝、ワールドランキング2位

GU JUN

Birthdate : January 3, 1975
Country : China
Plays : Righthanded
Height : 165cm, Weight : 62kg
Hobbies : Music
World Ranking : 2

GE FEI

Birthdate : October 9, 1975
Country : China
Plays : Righthanded
Height : 170cm, Weight : 58kg
Hobbies : Films



Men's Doubles

したたかに、しなやかに 技と力の絶妙ハーモニー

大将グナワンのしたたかなペースメーカーぶりとオーバーアクション。黒豹バンバンのしなやかな体を跳躍させて放つスマッシュの切れ味。熟練の技巧とみなぎる精力がミックスされた絶妙のコンビプレーで観客を沸かせる。各大会の準決勝、決勝でよくぶつかる同僚スバグジャ／マイナキーとのスリリングな打撃戦は有名。昨年一児の父となったグナワンの体力的衰えを、バンバンがいかにカバーしていくかが今後の課題。

ルディ・グナワン

1966年12月31日生まれ　インドネシア
184cm、80kg　右利き　ジャルームクドゥースクラブ所属　趣味・音楽鑑賞、ショッピング

バンバン・スプリアント

1969年 8 月20日生まれ　インドネシア
173cm、68kg　右利き　ジャヤラヤクラブ所属　趣味・テレビ&映画鑑賞

主な成績　'95韓国オープン 3 位、ジャパンオープン 2 位、全英オープン 3 位、マレーシアオープン 3 位、インドネシアオープン優勝、全米オープン優勝、香港オープン 2 位、GPファイナル 2 位、ワールドランキング 3 位

BAMBANG SUPRIANTO
Birthdate : August 20, 1969
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 173cm, Weight : 68kg
Hobbies : Watching TV and Films
World Ranking : 3

RUDY GUNAWAN
Birthdate : December 31, 1966
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 184cm, Weight : 80kg
Hobbies : Music, Shopping

Men's Doubles

金属音がたまらない マレーシア新生ダブルス

マレーシアの新たなエースペア。1年前のこの大会から組みはじめたばかりだが、互いにその前からトップレベルにあり、すぐに世界の上位へ駆け上がった。ベテラン、チーの金属音を響かせて打ち出す破壊的なスマッシュは日本でもおなじみ。小柄なサウスポーのヤップは、バネ仕掛けの人形のように真正面を向いた変則フォームから威勢よく連打。徹底した攻撃型のダブルスだけに、インドネシア勢との激突が興味深い。

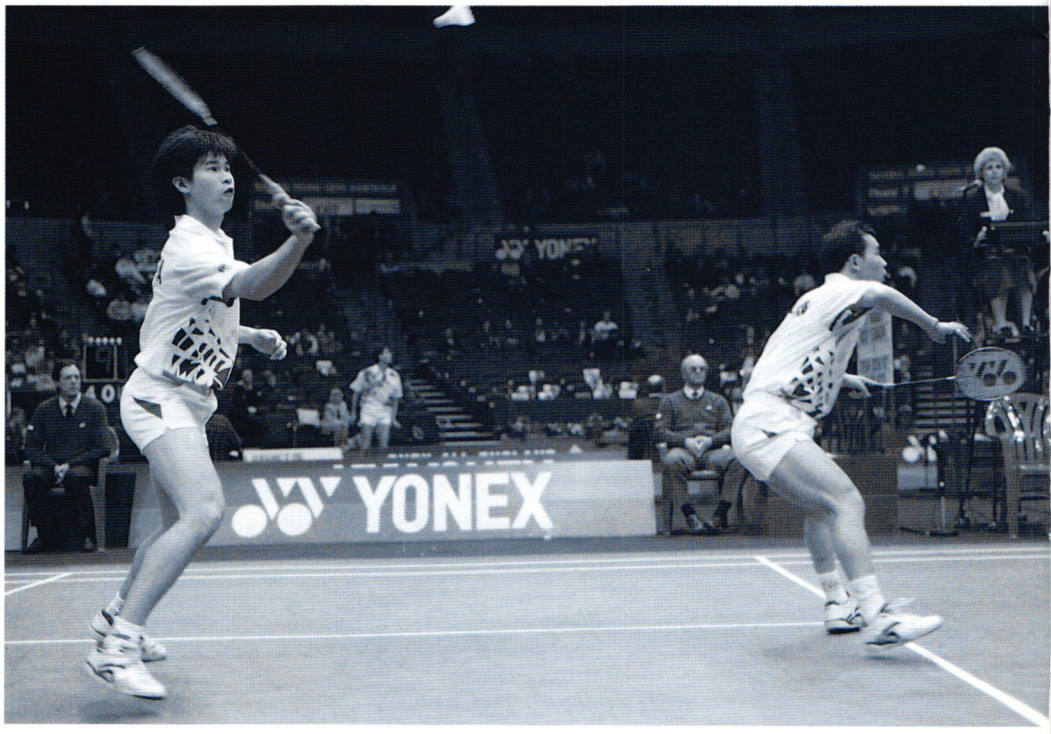
チー・スーンキット

1968年 1 月 9 日生まれ　マレーシア
180cm、68kg　右利き　プロプレーヤー
趣味・ビデオ&音楽鑑賞、水泳

ヤップ・キムホック

1970年 8 月 2 日生まれ　マレーシア
161cm　左利き　プロプレーヤー

主な成績　'95ジャパンオープン 3 位、スイスオープン 3 位、全英オープン 3 位、アジア選手権優勝、世界選手権 3 位、マレーシアオープン 2 位、ワールドカップ 3 位、香港オープン 3 位、タイオープン 2 位、GPファイナル優勝、ワールドランキング 5 位



CHEAH SOON KIT
Birthdate : January 9, 1968
Country : Malaysia
Plays : Righthanded
Height : 180cm, Weight : 68kg
Hobbies : Music, Videos, Swimming
World Ranking : 5

YAP KIM HOCK
Birthdate : August 2, 1970
Country : Malaysia
Plays : Lefthanded
Height : 161cm

Ladies' Doubles

銀メダルコレクター返上へ 4度目の正直ねらう

ヨネックスジャパンオープンでは3年連続準優勝、95年の世界選手権でも準優勝。メジャー大会で決勝へ進みながら涙を呑むケースが多く「シルバーコレクター」的存在に甘んじているが、ひたむきなプレーは見る者の胸を打つ。女子には珍しく、つないで待つより自ら力強くラリーを寸断していくタイプ。大柄なフィナルシが後衛から、小柄なタンピが前衛からと、タッチの速い連係攻撃がフル回転したときの決定率は高い。

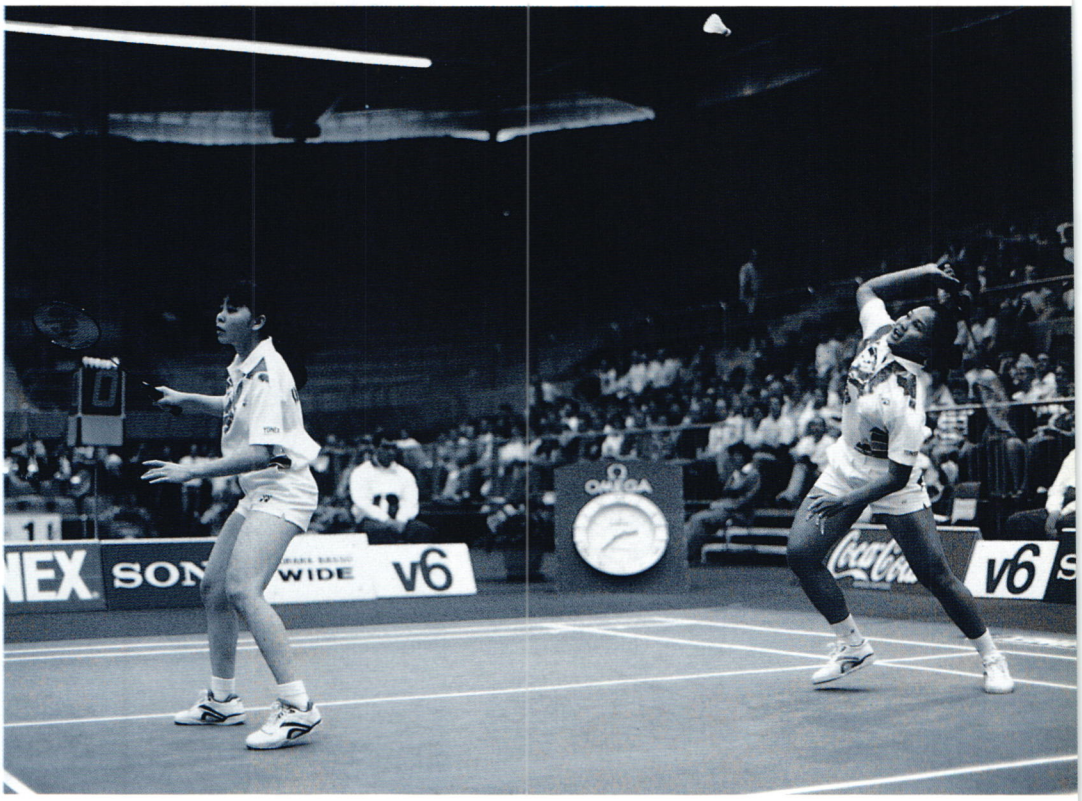
フィナルシ

1972年2月8日生まれ　インドネシア
165cm、60kg　右利き　ジャヤラヤクラブ所属　趣味・歌、観光、映画鑑賞

リリ・タンピ

1970年5月19日生まれ　インドネシア
157cm、51kg　右利き　プリタジャヤクラブ所属　趣味・ショッピング、観光

主な成績　'92バルセロナ五輪8強、'95韓国オープン3位、ジャパンオープン2位、世界選手権2位、シンガポールオープン3位、全米オープン3位、ワールドカップ優勝、ワールドランキング10位

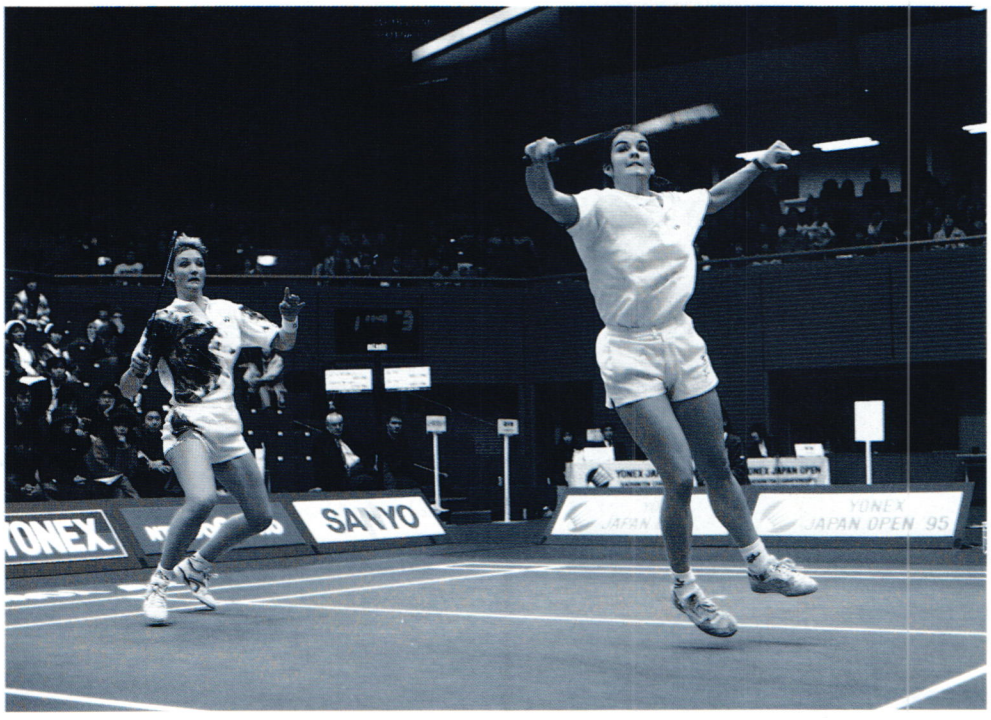


LILI TAMPI

Birthdate : May 19, 1970
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 157cm, Weight : 51kg
Hobbies : Shopping, Sightseeing
World Ranking : 10

FINARSIH

Birthdate : February 8, 1972
Country : Indonesia
Plays : Righthanded
Height : 165cm, Weight : 60kg
Hobbies : Singing, Sightseeing, Films



JULIE BRADBURY

Birthdate : February 12, 1967
Country : England
Plays : Righthanded
Height : 175cm
World Ranking : 6

JOANNE WRIGHT

Birthdate : November 17, 1972
Country : England
Plays : Righthanded
Height : 168cm

Ladies' Doubles

新旧噛み合って 発祥の地を支える

バドミントン発祥の地イングランドにあって現在、唯一世界の上位で活躍するペア。とくに久々にあらわれた若く知的なホープ、ライトには大きな期待が寄せられている。経験豊かなブラドベリーが懸命に立ち回ってラリーをつなぎ、ライトの瞬発力を生かすのが必勝パターン。長身ブラドベリーの固いディフェンス、混合ダブルスでも磨かれた前衛ライトのパワフルかつ勘のいいダッシュは、アジア勢に脅威を与えるに十分。

ジュリー・ブラドベリー

1967年2月12日生まれ　イングランド
175cm　右利き

ジョアンヌ・ライト

1972年11月17日生まれ　イングランド
168cm　右利き　プロプレーヤー

主な成績　'95ジャパンオープン3位、スイスオープン3位、全英オープン3位、マレーシアオープン優勝、ワールドカップ3位、香港オープン2位、GPファイナル3位、ワールドランキング6位

Men's Singles

五輪連続出場に照準定める男子のエース

ホープと呼ばれ続けてきた元気者も今年で26歳。日本のエースとして、バルセロナに続く五輪出場を期す。現時点での世界ランクは単76位、複26位と当確ラインぎりぎりで、気の抜けないところ。ウィラナタばりの精力的なレシーブに爽快なジャンピングスマッシュ。コート内を疾駆するスピードは決して世界のトップにもひけをとらない。明るいキャラクターだけに、ファンの声援に気をよくすれば、なにかやってくれそう。

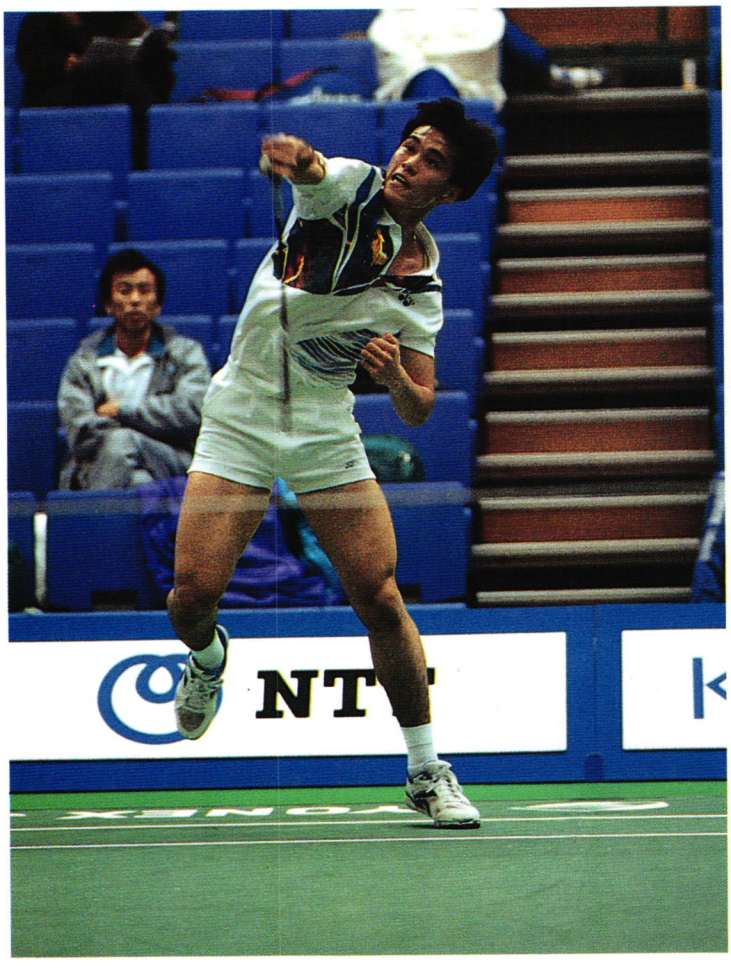
町田文彦

1969年3月17日生まれ　埼玉県出身　172cm、69kg　右利き　ＮＴＴ東京　趣味・ドライブ、洗車、ドリフト　主な成績　'94全日本社会人単3位、アジア大会8強、全日本総合単優勝、'95全日本社会人単2位、全日本総合単複優勝、ワールドランキング76位

FUMIHIKO MACHIDA

Birthdate : March 17, 1969
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 172cm, Weight : 69kg
Hobbies : Drive





Men's Singles

屈辱をバネに巻き返しはかるスリムな強打者

端正なマスクにスリムな長身。一見優男ながらコートでは闘志を前面に押し出したエネルギッシュなプレーを披露する。果敢にジャンプしては背を弓なりにそらせ、十分にパワーを込めて放つスマッシュをメインに、鋭くコースを突いてエースをねらう速攻型。ややプレッシャーに弱い面もあるが、相手が強いほど思い切りのよさを発揮する。昨年1度はナショナルチームを外れたが、屈辱をバネに復帰。巻き返しをはかる。

須賀隆弘

1971年1月24日生まれ　埼玉県出身　178cm、70kg　右利き　ＮＴＴ東京　趣味・フィッシング　主な成績　'94全日本社会人単優勝、アジア大会16強、全日本総合単3位、'95全日本社会人単優勝、全日本総合3位

TAKAHIRO SUKA

Birthdate : January 24, 1971
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 178cm, Weight : 70kg
Hobbies : Fishing



Ladies' Singles

実績ナンバー1誇る日本の「女王」

3年連続全日本チャンピオンの座を守り、94年の広島アジア大会ではスサンティを破って銀メダルに輝くなど実績ナンバー1を誇る日本の「女王」。現在も世界ランク18位と国内のライバル勢を一歩リードする。細い体に似合わず地道な筋トレで蓄えた体力を頼りに、俊敏な動きでコート全域をカバー。派手さはないが状況判断能力にすぐれ、ハイクリアーを主体に手堅いラリーを構築しながら確実にポイントゲットしていく。

水井妃佐子

1972年3月29日生まれ　奈良県出身　165cm、54kg　右利き　フジチュー　趣味・ピアノ　主な成績　'94ジャパンオープン単16強、マレーシアオープン単8強、シンガポールオープン単3位、全日本社会人単3位複3位、アジア大会単2位、全日本総合単優勝複2位、'95ジャパンオープン単複16強、世界選手権複16強、マレーシアオープン複8強、全米オープン単8強、カナダオープン単8強、全日本社会人単優勝複2位、デンマークオープン単3位、全日本総合単優勝、複3位、ワールドランキング単18位、複24位

HISAKO MIZUI

Birthdate : March 29, 1972
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 165cm, Weight : 54kg
Hobbies : Piano
World Ranking : LS18, LD24

Men's Singles

偉大な姉しのぐセンスで世界へステップ

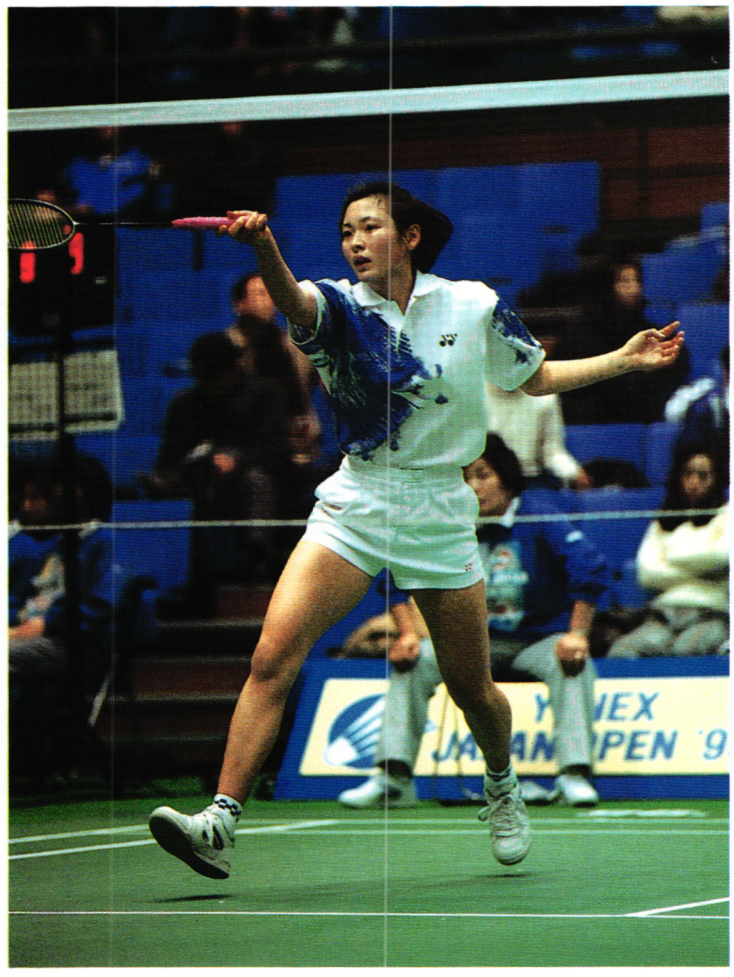
妃佐子とともに姉妹で五輪出場をねらう20歳のホープ。世界ランキングも20位と姉に迫りつつある。姉妹でのダブルスもこなすが、メインはやはりシングルス。体格とセンスでは姉を上回るものを持ち、球威を生かした力強い攻撃で押していくタイプだ。海外遠征を重ねて着実な進境を遂げ、95年の世界選手権では日本勢唯一の16強入り。体力、スピードを増し、試合運びにも幅が出てきただけに、大きな飛躍を期待。

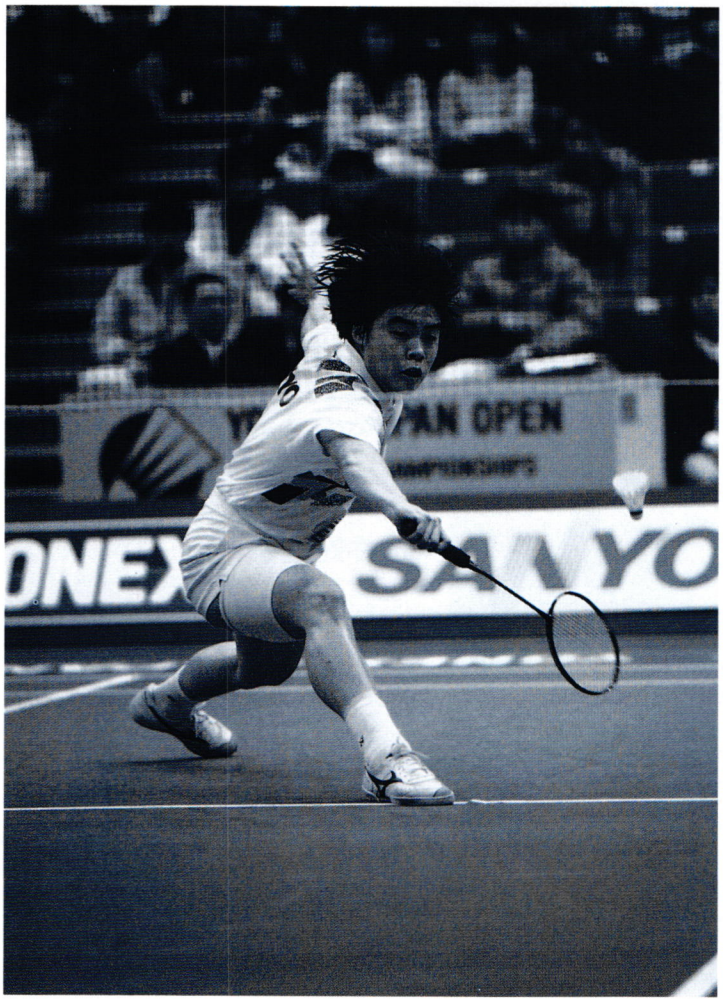
水井泰子

1975年9月19日生まれ　奈良県出身　167cm、58kg　右利き　フジチュー　趣味・音楽鑑賞、電話、ショッピング　主な成績　'94ジャパンオープン単16強、全日本社会人単2位複3位、全日本総合複2位、'95ジャパンオープン単複16強、世界選手権単複16強、マレーシアオープン複8強、全日本社会人単3位複2位、デンマークオープン単8強、全日本総合単複3位、ワールドランキング単20位、複24位

YASUKO MIZUI

Birthdate : September 19, 1975
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 167cm, Weight : 58kg
Hobbies : Music, Shopping
World Ranking : LS20, LD24





Ladies' Singles

我慢比べに活路を見いだす努力型

水井姉妹を懸命に追い上げる国内第3のエース。体格、センスには決して恵まれていないことを自覚し、人の3倍の練習量で補うというスタンスを保ち続ける努力の人。自らウィラナタに憧れるというとおり、ゲームでは旺盛な体力と執着心で厳しい球にも徹底的に食らいつき、我慢比べで活路を見いだしていく。国際舞台ではスピードの差に戸惑ってきたが、最近の大会では中国の強豪を食うなど徐々に戦果をあげつつある。

井田貴子

1972年12月13日生まれ　埼玉県出身
159cm、57kg　右利き　三洋電機　趣味・映画鑑賞　主な成績　'94全日本社会人優勝、アジア大会8強、'95ジャパンオープン16強、全英オープン16強、デンマークオープン8強、全日本総合2位、ワールドランキング24位

TAKAKO IDA

Birthdate : December 13, 1972
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 159cm, Weight : 57kg
Hobbies : Films
World Ranking : 24

Men's Doubles

次代のエースペアへ挑戦続ける「新鮮組」

94年末の選考会で2人そろって初のナショナルチーム入り、この1年間で急速な成長を示す「新鮮組」。日体大時代から組み、卒業後は所属こそ変わったものの海外遠征でコンビ継続。世界の厚い壁に果敢な挑戦を続けている。単複兼ねる林は強打にこだわるスマッシャー。ダブルス専業の今井は速いタッチでチャンスをつくる切り込み役。持ち前のイキのいい攻撃で、新時代のエースペアに名乗りをあげようとしている。

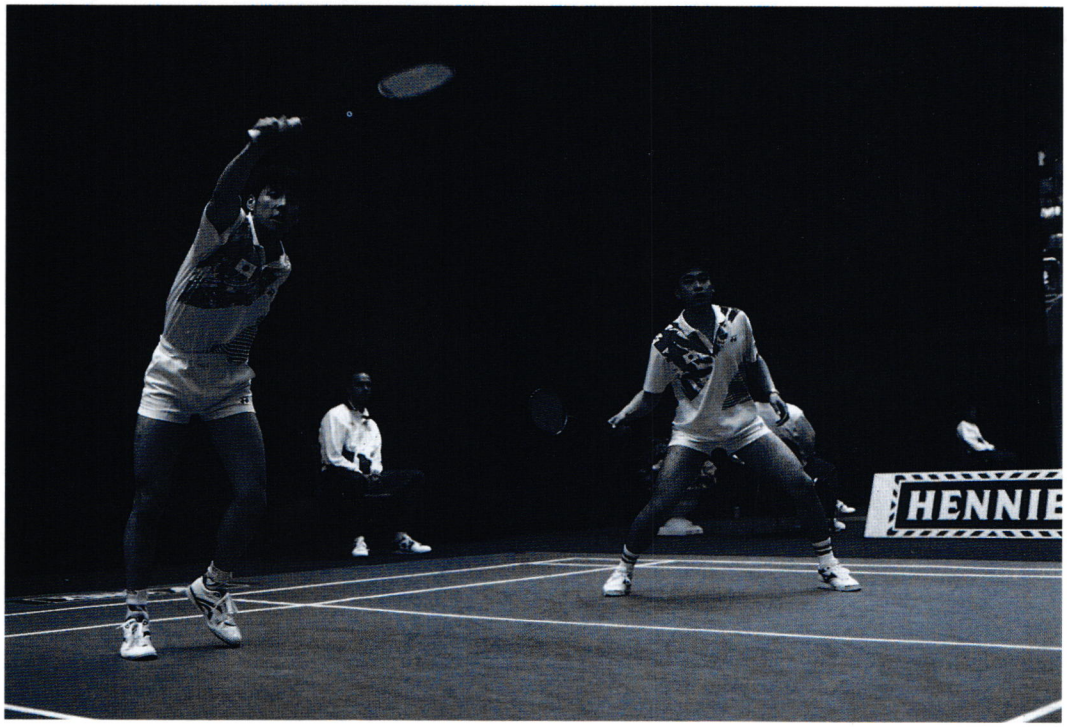
今井紀夫

1972年11月25日生まれ　富山県出身
178cm、75kg　右利き　トナミ運輸　趣味・ドライブ

林　貴昭

1973年3月26日生まれ　長崎県出身
177cm、68kg　右利き　日本ユニシス　趣味・ドライブ

主な成績　'94全日本学生3位、全日本総合3位、'95カナダオープン3位、全日本総合8強、ワールドランキング32位

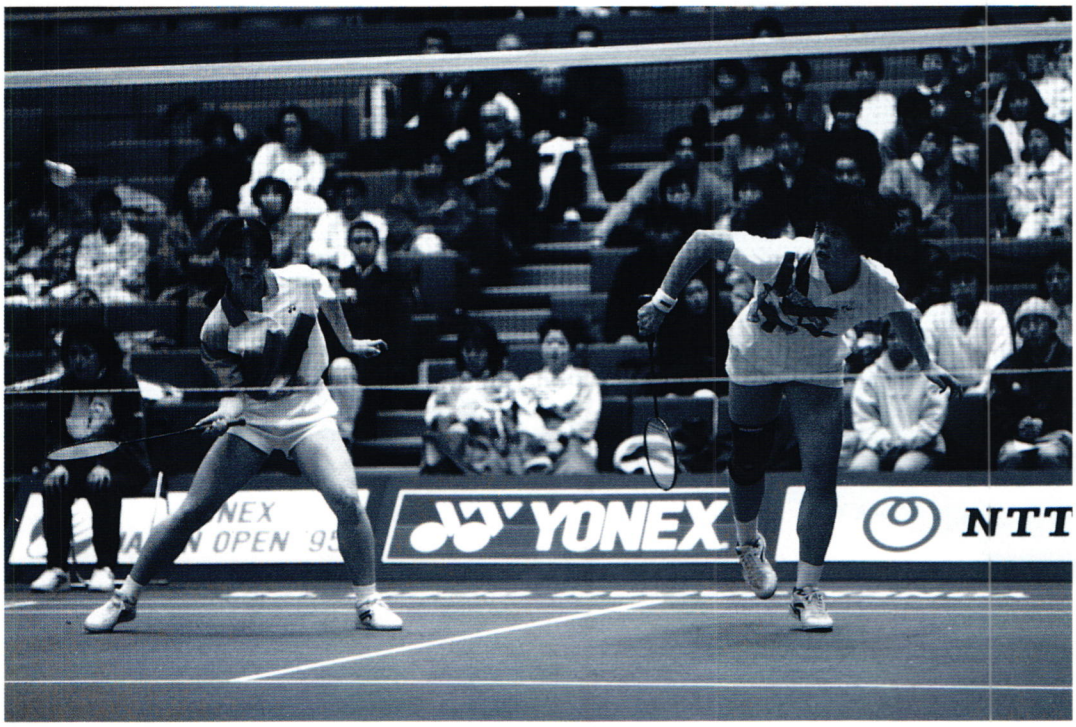


TAKAAKI HAYASHI

Birthdate : March 26, 1973
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 177cm, Weight : 68kg
Hobbies : Drive
World Ranking : 32

NORIO IMAI

Birthdate : November 25, 1972
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 178cm, Weight : 75kg
Hobbies : Drive



Ladies' Doubles

安定度の高さで アトランタへ最短距離

日本勢で世界ランキング最高位にいるダブルス。バルセロナ五輪代表でもある松尾が、４年後輩の阪本と組みはじめたのは、94年末の全日本総合から。この大会でいきなり優勝を飾り、国内トップに立った。経験十分の松尾が強気のリードで若い阪本をうまく動かし、攻めても守っても安定度は高い。阪本の着実な成長に伴い実績も上げていき、最近の国際大会ではたびたび上位入賞。アトランタへ一歩一歩接近している。

松尾知美

1968年８月15日生まれ　熊本県出身　169cm、68kg　右利き　ＮＴＴ東京　趣味・ショッピング

阪本雅子

1972年10月10日生まれ　熊本県出身　163cm、56kg　右利き　ＮＴＴ東京　趣味・音楽鑑賞、読書

主な成績　'94全日本総合優勝、'95中華台北オープン８強、全英オープン16強、アジア選手権８強、世界選手権16強、マレーシアオープン８強、シンガポールオープン８強、全米オープン８強、カナダオープン３位、デンマークオープン８強、ドイツオープン３位、タイオープン８強、全日本総合優勝、ワールドランキング11位

MASAKO SAKAMOTO

Birthdate : October 10, 1972
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 163cm, Weight : 56kg
Hobbies : Music, Reading
World Ranking : 11

TOMOMI MATSUO

Birthdate : August 15, 1968
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 169cm, Weight : 68kg
Hobbies : Shopping

Ladies' Doubles

最後のチャンスに かける姉妹ペア

バルセロナの星といわれながら五輪出場を逸した宮村愛子が、妹の亜貴子とともに最後のチャンスにかける。ペアを組んでまだ１年半だが、姉妹ならではの息のあったコンビネーションでたちまち台頭。世界ランキングでも12位と松尾／阪本を猛然と追い上げている。互いの長身から繰り出す集中攻撃の鋭さは世界レベル。愛子の天性の素質に加え亜貴子の進境も著しく、世界の強豪相手に華麗に渡り合ってくれそうだ。

宮村愛子

1971年８月11日生まれ　熊本県出身　172cm、59kg　右利き　サントリー　趣味・音楽鑑賞、ショッピング

宮村亜貴子

1974年10月14日生まれ　熊本県出身　173cm、58kg　右利き　サントリー　趣味・サッカー観戦、音楽鑑賞

主な成績　'94全日本社会人優勝、'95インドネシアオープン３位、シンガポールオープン８強、全日本社会人優勝、ドイツオープン３位、全日本総合２位、ワールドランキング12位



AIKO MIYAMURA

Birthdate : August 11, 1971
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 172cm, Weight : 59kg
Hobbies : Music, Shopping
World Ranking : 12

AKIKO MIYAMURA

Birthdate : October 14, 1974
Country : Japan
Plays : Righthanded
Height : 173cm, Weight : 58kg
Hobbies : Watching Football, Music



新春スペシャル対談

日本を支えた男女エーストリオの

今だから話せる

YONEX JAPAN OPEN!

日本のエースとして毎年会場を沸かせてくれた男子の松野修二（ＮＴＴ東京）、松浦進二（フジチュー）、そして女子の陣内貴美子（ヨネックス）の３人が、ヨネックスジャパンオープン'96開幕を前に、久しぶりに集合。今だから話せるジャパンオープンやバルセロナオリンピックの思い出とともに、現役の選手たちへ先輩として熱いエールを送っていただきました。

バルセロナオリンピックはピークの延長線上にあった

―こうしてみなさんでお会いになるのは久しぶりなんじゃないですか？

陣内　久しぶりですねえ。なんか松浦くん、ちょっと太ったんじゃない（笑）？

松浦　これでも最近、痩せてきたんだよ。

――ちょうど４年前、バルセロナオリンピックを前にしていたときの１月というと、毎日顔を合わせていたでしょう。

松野　正月返上で練習してましたね。

陣内　男子はいいんですよ。ほとんどオリンピックに行けるっていうのはわかってたし。私らのほうは３組ですごくせりあってたでしょう。自分としてはオリンピックまででやめようと思っていたから、ジャパンオープンもこれが最後。もう必死でしたね。

――松野さんと松浦さんは、もうオリンピックには行けるという気持ちでしたか？

松浦　オリンピックというより、とりあえずひとつひとつの試合をがんばろうと。これだけたくさんの大会に出て、出れないことはないだろうとは思ってましたけどね。

松野　もともとバドミントンはオリンピック種目になかったですからね。だから全英や世界選手権で成績残すとか、各オープンで上位に残ることがぼくらの目標でした。そうしているうちに、オリンピックというものができたわけですよ。もちろん憧れはあったけど、もうピークを過ぎてたのが残念でしたね。

陣内　私は92年のバルセロナっていうのは考えられなかったんです、年齢的に。だから90年のユーバー杯（日本開催）が終わったらやめようと思ってたんです。ちょうど10年前に東京でユ杯があったときが16歳で、それから10年ひとくぎりでちょうどいいかな、と。宮村とか水井とか出てきて、新旧交替の時期でもあったし。でもやっぱりオリンピックっていうのは誰でも行きたいですよね。それと、たまたま宮村とかもケガしてたんですよ。それで、もし出られるのであれば、と……。

――そしてオリンピック出場が正式に決まったときは、どんな気持ちになりましたか？

松野　行くと決まったら、やっぱり改めて緊張しましたよ。これが最後だなって思うじゃないですか。つぎ（のオリンピック）はないわけですからね。

――陣内さんにとっては、長い道のりだったのでは……。

陣内　長かったですよ。だって、１回やめようと思ってから１年と何カ月ですからね。ランキングが22位まで落ちたこともありましたし。感動したっていうより、ホッとしたっていうのが本音でしたね。

――松野／松浦はマレーシアのシデク兄弟と銅メダルをかけて試合したんでしたね。

松浦　その前の試合が香港とすごいせったんですよ。結果的には２－０で勝ったんですけど、１ゲーム目リードされて余裕がなくなったんです。１ゲームでも落としてたら負けてたんじゃないかと思いますね。

松野　格下の相手には負けたくなかったですからね。ましてやそれが入賞（５位）をかけた試合だったし。自分たちより上の相手だったら思い切りやれるんですけど。

陣内　見るからに緊張してたよね。松野くんの球が松浦くんの鼻に当たったり（笑）。

松野　いや、それはよくあるんですよ。ぼくは普段どおりにやってるけど、普段動かない松浦が動くから当たる（笑）。

――陣内さんは惜しいところで入賞を逃がしてしまいましたね。

陣内　試合前は男子より女子のほうが有望視されていたじゃないですか。私もうまくいけば入賞できるかなと思ってたんですよ、正直いって。でも、ベスト８入りを前にして、中国と当たっちゃって。勝てない相手じゃなかったんですけど……。

――力を出し切れなかった？

陣内　そんなことないですよ。でもたしかに緊張はしてましたね。いままででいちばん緊張した。ほかの選手もみんな緊張してましたよ。スシもそうだし。絶対この人は緊張しないだろうっていう人もガチガチでしたから。

松野　４年に１度の大会ですからね。

ジャパンオープンでは３人揃って華麗なるデビュー？

――さて、そのオリンピック選考の重要なポイントとなるジャパンオープンですが、みなさん長く出場されて思い出も多いのでは？

松野　ナショナルチームに入ってから、ずっと出させていただきましたからね。日本でやる大会だから、上位に入りたいという気持ちは強かったです。

松浦　ぼくは初めて出たときのことをよく覚えてますけど、ケガしたんですよコイツ（松野）が。ちょうどあのとき成人式で、ぼくらもそうだったんですけど、みんなは着物とかスーツとか着て歩いてるのに、なんでオレらだけジャージ着て練習せなあかんのやろうと思いながらやってたんですよ。そのうえ松野がブチッてね。

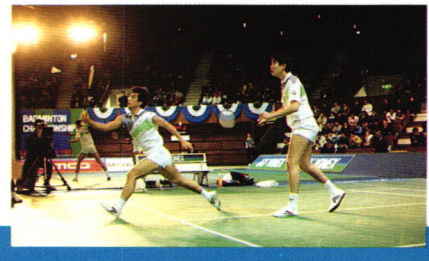
松野　でも、ちゃんと一つ勝ったんですよ。

陣内　私が最初に出たのは16歳のときだったんですけど、そのときの世界チャンピオンのベラワティに１回戦で当たって、勝っちゃったんです。それで徳田（敦子）さんにすごくほめられて。勝ったほうがつぎに徳田さんとやることになってたんです（笑）。で、徳田さんにスッテンコロリン負けたら、今度はメチャクチャいわれちゃいました（笑）。

――華麗なるデビューですね。

陣内　大金星で新聞にも載ったんです。名前先行でしたね。高校２年生の冬でしたから。その年にナショナルチームに入ったんですけど、コートに入るのは10年早いって、筋トレばかりやらされてました。あとはご飯の支度したり洗濯したり、雑用ばかり。６～７年は下積みでしたね。長かったですよ。

――毎年１月になると、みなさんジャパンオープンで日本のエースの使命を背負わされ、



あっさり勝たずにハラハラさせて試合を盛り上げた（？）松野（左）／松浦のダブルス



松野修二

まつの・しゅうじ●1963年9月11日生まれ／山梨県出身／法大卒／ＮＴＴ東京所属／身長172cm／右利き／松浦進二とのダブルスで全日本総合10回優勝のほかシングルスでも89、91年と2回優勝。松浦とともに日本を代表するダブルスとして一時代を築き、全英、ジャパンオープン、バルセロナ五輪など数々の国際大会で入賞。現在ナショナルチームは退いたがＮＴＴ東京で現役を続行。



松浦進二

まつうら・しんじ●1964年2月15日生まれ／滋賀県出身／法大卒／フジチュー所属／身長183cm／右利き／法大からのパートナー松野修二とのダブルスで83年および85～93年全日本総合優勝。シングルスでも86、88、90年と3回優勝。日本のエースとして世界の舞台で活躍、87年の全英で3位、87、90年のジャパンオープンで3位、バルセロナ五輪では日本勢唯一の5位入賞。現在全日本男子コーチ。



陣内貴美子

じんない・きみこ●1964年3月12日生まれ／熊本県出身／熊本中央女子高卒／ヨネックス所属／身長163cm／右利き／16歳でナショナルチーム入りし、女子のエースに成長。全日本総合ダブルス優勝3回、90年ジャパンオープン2位、91年台北オープン優勝、全英2位の実績を残す。92年バルセロナ五輪後に引退。現在は各地で講習会を開くほか、テレビのスポーツキャスターとしても活躍中。

プレッシャーも強かったのでは。

陣内　日本で海外のトップ選手を見られる唯一の大会ですからね。この大会を見れば、日本の選手が世界でどのくらいの位置にいるかがわかるんです。だからお客さんの前でいいプレーをして成績を残したいという気持ちは強かったですね。そのおかげで、普段取れないような球も取れてましたけど。やっぱりお客さんの声援は大きな励みになりますね。

松野　日本で応援されるのはありがたかったですよ。外国で向こうの地元選手とやると、観客はみんな相手の応援にドッと集まる。それが日本だと、ぼくらにみんな集まってくれるんだから、うれしいですよね。

松浦　ぼくらの試合って、けっこうラリー続くでしょう。だからおもしろいんじゃないですか。勝つときだってあっさり勝たないから（笑）。場を盛り上げるというか。

松野　でも、負けたときにはやっぱり申し訳ないなって思いますね。ジャパンオープンだとくに。だから試合前は緊張しますよ。お客さんに納得してもらえるような試合して負けたのならいいけど「なんだこんなものか」って思われるのはいやですからね。それに日本の選手がベスト4まで残ってるかどうかで土日のお客さんの入りも違いますもんね。

セコいポイントの取り方も実戦で覚えていってほしい

――10年以上この大会に出続けて、現在は外から見る立場になり、いかがでしょう。

陣内　出たい？

松野　出たくはないけど、がんばってほしいと思いますよね。いつまでも男子は松野と松浦っていわれているようじゃいけないんで。でもまあ、外から見ると楽勝じゃないかって思えても、自分が実際にやるとなると強く見えるんですよね、相手が。

――女子は最近いかがでしょう。

陣内　たしかにスピードは速くなりましたよね。動きは男性に近くなったと思います。いまは自分がやってないから、比べることはできませんけど。でも、昔のほうが個性のある人が多かったかな。いまはほとんどみんな同じスタイルでやってるように見えちゃって、外国選手の顔もなかなか覚えられなくて。

松浦　男子も町田（文彦）なんか見てるとイケるような気がするんです。スピードとかキレでは負けてませんから。そこからあとちょっとがむずかしいところなんですけどね。

陣内　勝ち方がわからないっていうのはあると思うんですよ。松・松がまだ現役バリバリで町田くんと一緒にやってたら、町田くんもゲームの運び方とか勝ち方とかを間近で学べるんでしょうけど。いまの町田くんは、なんとか自分で勝っていくしかないから……。

松浦　インドネシアとか中国で地元の選手に勝つのはむずかしいけど、日本でだったらイケそうな気がするんですよね。ジャパンオープンではそのメリットを最大限に生かしてほしい。

陣内　シングルスでは本当の実力がないとなかなか勝てないと思う。でもダブルスだったら2人で頭を使えば弱点もカバーできるじゃないですか。だからダブルスも考え方次第では、もっともっとイケるんじゃないかって思うんです。それをまだ選手自身が気づいてないだけで……。

松浦　技術を身につけることも大切だけど、たとえばごまかして勝つとか、そういうことも実戦で覚えてほしいと思いますね。セコいポイントの取り方とかね。

松野　ごまかしとかは相手にプレッシャーがかかってるから効くんですよ。プレッシャーを与えてこそ、相手もミスしてくれる。その点、いまの選手はまともすぎるというか。力の差があったら、まともにいっては勝てませんからね。

松浦　たとえば練習でも、けっこうみんな球は速いんだけど、かわされると取れない。

陣内　いいんですよ、そうやって訓練してあげれば。松野、松浦にプレッシャーをかけられるのも、彼らにとっては練習なんだから。2人はずーっとそうやって言い続けなきゃいけないの（笑）。

松野　やめた人間がうるさいこといいますけど、勝ってぼくらを見返してほしいですね。ぼくらもそう言われるのが悔しくてがんばってきたんですから。

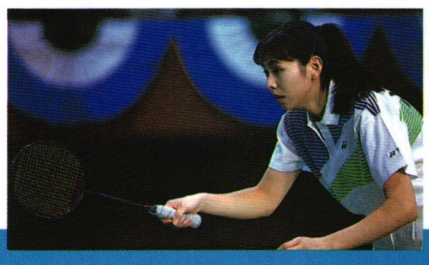
――最後になりましたが今年のジャパンオープンのみどころを聞かせてください。

陣内　スサンティはたぶん今年のオリンピックが最後になると思うんです。この大会で勝って弾みをつけたいでしょうから、その辺に注目してほしいですね。女子ダブルスでは日本勢も優勝争いにからみそうで楽しみです。宮村／宮村とか、松尾／阪本とか。

松野　ぼくは、言わせてもらえば外人選手は見なくていいから、日本人のプレーを見てほしいですね（笑）。それは冗談ですけど、お客さんには外国人が強いとか、あまり先入観を持たないでほしいんです。みんなが強いとは限りませんから。それとオリンピックイヤーだからいつもとはまた違った見方があるんじゃないかな。ぼくは男子ダブルスがおもしろそうだと思います。できればベスト4の4組が全部違う国だったらおもしろいなと。インドネシアだけじゃなくて、ヨーロッパ、中国、韓国という具合にね。そのなかにひとつでも日本が入ってほしい。

松浦　ぼくはミックスで復帰した朴柱奉（韓国）に注目したいですね。昔と全然体型もスピードも変わってないですから。できれば男子ダブルスにも出て、どれくらいやれるかっていうのを見せてほしい。

陣内　選手にとってはオリンピックに出るためにひとつでもランキングを上げるチャンスだし、緊迫した試合展開が見られると思うんです。そんな試合が見られることは、お客さんにとってもまたチャンスだと思います。この機会にぜひ、ひとりでも多くの方にバドミントンを見ていただきたいですね。もちろん私も友人を招待するつもりです。



16歳で世界チャンピオンを破ってデビュー以後、毎年ジャパンオープンで人気を集めた陣内

PREVIEW

[展望]ヨネックスジャパンオープン'96

アトランタへカウントダウン！ 世界の強豪がラストスパート

3枠を激しく争うインドネシア5人衆 女子は3強の時代から混戦模様に突入

バドミントンの年頭を飾るビッグイベントとして世界の数あるトーナメントの中でも注目度が高いヨネックスジャパンオープン。今年は賞金総額も昨年に続いてアップし15万$と、ついに伝統のヨネックス全英オープンを超えた。しかも今年はオリンピックイヤー。例年以上にハイレベルな戦いが予想される。

バドミントンがオリンピックの正式種目になったのは、4年前のバルセロナ大会から。今年のアトランタ大会では、男女シングルスと男女ダブルスに混合ダブルスも加え、計5種目で金メダルが争われる。

アトランタオリンピック代表選手の選考期間は、95年4月1日から96年3月31日まで。この12カ月の間に行なわれるIBF（国際バドミントン連盟）公認の各大会の成績を、ポイントで集計したランキングによって決定される。

出場権は男女シングルスの上位32名、男女ダブルスと混合ダブルスの上位20組に与えられるが、1国から出場できるのは、ランキング16位までが3名／3組、64位までは2名／2組、65位以下は1名／1組。このため、選手層が厚く世界ランキングの上位を占めるアジアの国々では「国内3枠」をめぐっての順位争いが厳しい。選考期間もあと3カ月を切っただけに、かかるポイントの高いヨネックスジャパンオープンは、オリンピックをめざす世界の上位ランカーたちにとり、きわめて大事な大会なのだ。

とくに男子シングルスで上位6人のうち5人までを占めるインドネシアでは、この5人衆が3枠をかけて各メジャー大会で代わる代わる優勝するような激しい順位争いを演じている。

インドネシア5人衆の中で現在トップに立つのは、ヨネックスジャパンオープ



インドネシアのライバル同士、アルビ（右）とウィラナタ。昨年は準決勝で対戦しアルビが快勝したが、今年はウィラナタがどう巻き返すか



97年春に結婚が決まったクスマ（左）とスサンティ。4年前のバルセロナに続きアトランタでも五輪アベック優勝をねらう

ンのディフェンディングチャンピオンでもある、ヘリアント・アルビ。おなじみのハードスマッシュを武器に、95年はトーナメント4勝をマーク。5月スイスで行なわれた世界選手権でも優勝し、念願の世界チャンピオンの肩書きを手に入れた。しかし95年後半はやや調子を落とし気味で、12月のグランプリファイナルは欠場している。

そのグランプリファイナルを制したのは、2位のジョコ・スプリアント。4年前のバルセロナ五輪出場を逃がした悔しさをバネに現役を続ける29歳のベテランは、95年も3勝を挙げ健在を証明している。3位はバルセロナの金メダリスト、アラン・ブディ・クスマ。97年初めに決まったスシ・スサンティとの結婚を前に五輪アベックV2をねらう。

さらに現在3枠から外れてはいるものの、5位にはアーディ・ウィラナタ、6位にはヘルマワン・スサントとバルセロナ銀・銅メダリストの実力者がピタリと追い、上位3強といえども、まったく油断できない状況。とくに1年前までトップに立っていた人気者、ウィラナタはどう巻き返してくるか。

このインドネシア5人衆の中に4位で食い込んでいるのが、デンマークのポールエリク・ホイヤーラーセンだ。昨年は29歳にしてアルビを破り、ヨネックス全英オープン初制覇。サウスポーからの強打と円熟味を増した試合運びは、インドネシア攻略の可能性も十分。

一方、女子は1年前までスシ・スサンティを軸に、韓国の方銖賢、中国の葉釗穎の間で3強時代が築かれてきたが、五輪が近づくにつれ変化を見せはじめている。バルセロナ五輪で決勝を争ったスサンティと方銖賢に加え、ヨネックス全英オープンでスサンティを破り初優勝したスウェーデンのベテラン林小青、世界選手権でスサンティを破った葉釗穎、その葉釗穎を10月の香港オープンで破ったインドネシアの16歳、ミア・アウディナと役者がそろい、混戦模様に突入。このうち、年間7勝の葉釗穎が、現在もっとも勢いに乗っている。

男子ダブルスでは1年間トップを守り続けてきたインドネシアの最強ペア、スバグジャ／マイナキーが優勝候補No.1。最近取りこぼしも増えてきたとはいえ、総合力ではまだ他を寄せつけない。女子ダブルスは中国の葛菲／顧俊と韓国の吉永雅／張恵玉の我慢比べが焦点か。

日本勢では、五輪出場圏内にいる女子シングルスの水井妃佐子、泰子姉妹、女子ダブルスの宮村愛子、亜貴子姉妹、松尾／阪本らの上位進出が期待される。



デンマークのエースに成長したマーチン。さわやかな笑顔とエキサイティングなプレーで今年も日本のファンを沸かせてくれそう



日本女子の期待をになう水井妃佐子。今年はベスト8の壁突破に期待がかかる



95年男子ダブルスでトップの座を守り抜いたスバグジャ（右）／マイナキー。爆発的な攻撃力を武器に大会V2をめざす

IBF公認1995年主要トーナメント優勝者一覧

〈1月〉
●中華台北オープン
MS ヘルマワン・スサント(INA) LS 林小青(SWE)
MD カントノ/アントニウス(INA) LD R・オルセン/キルケゴール(DEN)
●韓国オープン
MS ヘリアント・アルビ(INA) LS スシ・スサンティ(INA)
MD スバグジャ/マイナキー(INA) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
●ジャパンオープン
MS ヘリアント・アルビ(INA) LS スシ・スサンティ(INA)
MD スバグジャ/マイナキー(INA) LD 葛菲/顧俊(CHN)
〈3月〉
●スイスオープン
MS イエンス・オルソン(SWE) LS カミラ・マーチン(DEN)
MD ホルストクリステンセン/ルンド(DEN) LD R・オルセン/キルケゴール(DEN)
●スウェーデンオープン
MS 朴星宇(KOR) LS 葉釗穎(CHN)
MD ヨーンソン/アクセルソン(SWE) LD 金美香/金信英(KOR)
●全英オープン
MS ポールエリク・ホイヤーラーセン(DEN) LS 林小青(SWE)
MD スバグジャ/マイナキー(INA) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
〈4月〉
●アジア選手権(中国)
MS アラン・ブディ・クスマ(INA) LS 葉釗穎(CHN)
MD チー・スーンキット/スー・ベンキャン(MAS) LD 葛菲/顧俊(CHN)
〈5月〉
●世界選手権(スイス)
MS ヘリアント・アルビ(INA) LS 葉釗穎(CHN)
MD スバグジャ/マイナキー(INA) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
〈7月〉
●マレーシアオープン
MS アラン・ブディ・クスマ(INA) LS スシ・スサンティ(INA)
MD ティーラウィワタナ/トングサリ(THA) LD プラドベリー/ライト(ENG)
●インドネシアオープン
MS アーディ・ウィラナタ(INA) LS スシ・スサンティ(INA)
MD グナワン/スプリアント(INA) LD 葛菲/顧俊(CHN)
●シンガポールオープン
MS ジョコ・スプリアント(INA) LS 林小青(SWE)
MD スバグジャ/マイナキー(INA) LD 葛菲/顧俊(CHN)
〈8月〉
●全米オープン
MS ヘルマワン・スサント(INA) LS 葉釗穎(CHN)
MD グナワン/スプリアント(INA) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
●カナダオープン
MS 李光珍(KOR) LS 方銖賢(KOR)
MD 河泰権/姜京珍(KOR) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
●ロシアオープン
MS H・ヘンドラワン(INA) LS リディア・ジャエラウィジャヤ(INA)
MD ホルストクリステンセン/ルンド(DEN) LD 彭新勇/陳穎(CHN)
〈9月〉
●ワールドカップ(インドネシア)
MS ジョコ・スプリアント(INA) LS 葉釗穎(CHN)
MD スバグジャ/マイナキー(INA) LD フィナルシ/タンピ(INA)
〈10月〉
●シドニーオープン
MS ヌヌン・スバンドロ(INA) LS 韓晶娜(CHN)
MD デービス/ハリム(INA) LD 彭新勇/張瑾(CHN)
●デンマークオープン
MS ポールエリク・ホイヤーラーセン(DEN) LS 林小青(SWE)
MD ホルストクリステンセン/ルンド(DEN) LD スチュアローリドセン/トムセン(DEN)
●ドイツオープン
MS ジョコ・スプリアント(INA) LS カミラ・マーチン(DEN)
MD ホルストクリステンセン/ルンド(DEN) LD エリサ/レシアナ(INA)
〈11月〉
●香港オープン
MS ヘリアント・アルビ(INA) LS 方銖賢(KOR)
MD 河泰権/姜京珍(KOR) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
●中国オープン
MS 董炯(CHN) LS 葉釗穎(CHN)
MD 蒋欣/黄展忠(CHN) LD 葛菲/顧俊(CHN)
●タイオープン
MS 董炯(CHN) LS 林小青(SWE)
MD 蒋欣/黄展忠(CHN) LD 吉永雅/張恵玉(KOR)
●スコットランドオープン
MS ピーター・ノウルズ(ENG) LS カトリーヌ・ベントソン(SWE)
MD ポンティング/ロバートソン(ENG) LD C・ベントソン/M・ベントソン(SWE)
〈12月〉
●グランプリファイナル(シンガポール)
MS ジョコ・スプリアント(INA) LS 葉釗穎(CHN)
MD チー・スーンキット/ヤップ・キムホック(MAS) LD 葛菲/顧俊(CHN)

※MS＝男子シングルス、LS＝女子シングルス
MD＝男子ダブルス、LD＝女子ダブルス
〈国名略称〉CHN＝中国、DEN＝デンマーク、
ENG＝イングランド、INA＝インドネシア、
KOR＝韓国、MAS＝マレーシア
SWE＝スウェーデン、THA＝タイ



革新の中空一体成型だから、

強靭、スー

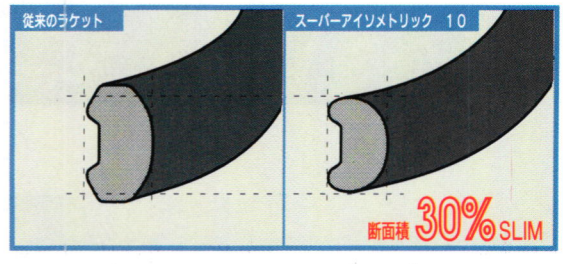
新・発・売

SUPER ISOMETRIC 10

●スーパーアイソメトリック 10　￥20,000 メーカー希望小売価格（消費税別）●フレーム・フルラケットケース付
●素材／オールカーボンフレーム・スーパースリムカーボンシャフト●サイズ／3U4,5 2U4,5

このスピード・スマッシュ。

パースリム。



フレームと内蔵T型ジョイントを同時に成型した
中空一体成型だから強度とねじれに自信のスーパースリム。
エアロダイナミクスを突きつめフレームの断面積を30%スリム化。
空気抵抗の激減でスマッシュスピードががぜん向上。

より高速なスピードスマッシュを実現するには、どうしたらよいのか。その答えがこのラケット、スーパーアイソメトリック10です。フレーム断面積を30%も小さくして、空気抵抗を10%も削減したスーパースリム。その結果、スマッシュのスピードがはるかに高速化。トッププレイヤーの熱い期待に応えます。さらに、新製法の中空一体成型でフレームと内蔵T型ジョイントを一体化。強度はもちろん面安定性にも一段と飛躍があります。形は人気のアイソメトリック。スウィートスポットが大きく、スマッシュ、レシーブ性能で際立つ反発性能を発揮します。

ヨネックス株式会社
東 京／TEL. 03-3836-1221(代)　仙台／TEL. 022-232-1221(代)
大 阪／TEL. 06-768-7261(代)　福岡／TEL. 092-472-8751(代)
名古屋／TEL. 052-323-5541(代)

YONEX®

YONEX JAPAN OPEN '95 HIGH LIGHT

ヨネックスジャパンオープン'95ハイライト
1995年1月24日㈫〜29日㈰
東京・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館



オリンピックを翌年にひかえ、出場権争いの幕が切って落とされた95年。ヨネックスジャパンオープンは、選考期間である4月からの大会でシードを獲得するための重要な大会となりました。会場となった東京・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館には世界18カ国総勢207名が集結し、5日間に渡り熱戦を展開。3種目でインドネシアが頂点に立ち、その実力を日本のファンにアピールしました。数々のドラマが生まれたヨネックスジャパンオープン'95。ここではたくさんの印象的な場面を写真で振り返ってみましょう。



●大会初日、注目選手の記者会見が恵比寿ガーデンプレイス・ウエスティンホテル東京で行なわれました。左からマーチン選手（デンマーク）、水井妃佐子選手（フジチュー）、そしてスサンティ選手、クスマ選手、ウィラナタ選手のインドネシア勢



●続いて催されたウエルカムレセプション。笑顔がこぼれるのはインドネシア勢です。最強ペアのスバグジャ選手（左から2人目）&マイナキー選手（右から3人目）の姿もあります



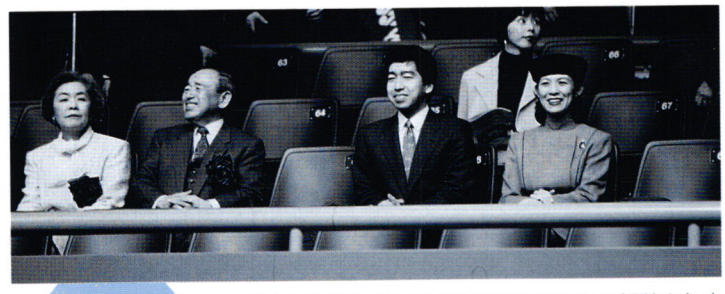
●パーティのお楽しみはたくさんのごちそう。マーチン選手もウィラナタ選手もお皿いっぱいに乗せていました



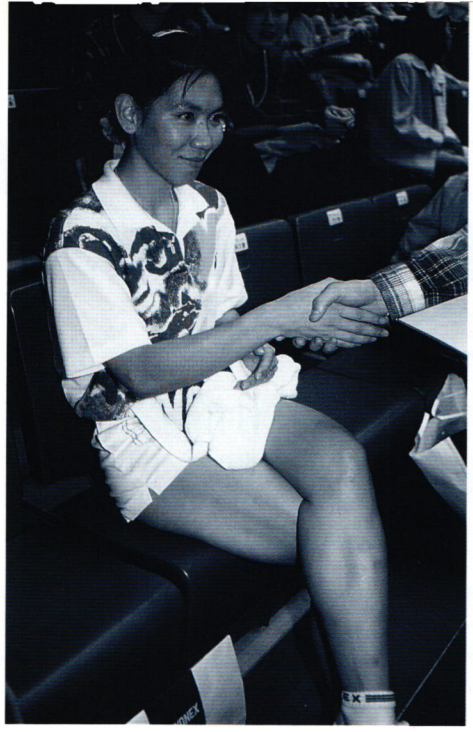
●タイのサクラピー選手（左）と松野選手（NTT東京）。年齢がひとつ違いの2人、会話もはずんでいますが、何語かな？



●例年会場となる代々木第2体育館が改修工事のため、95年の舞台は駒沢オリンピック公園総合運動場体育館に移りましたが、ファンの人気は変わらず

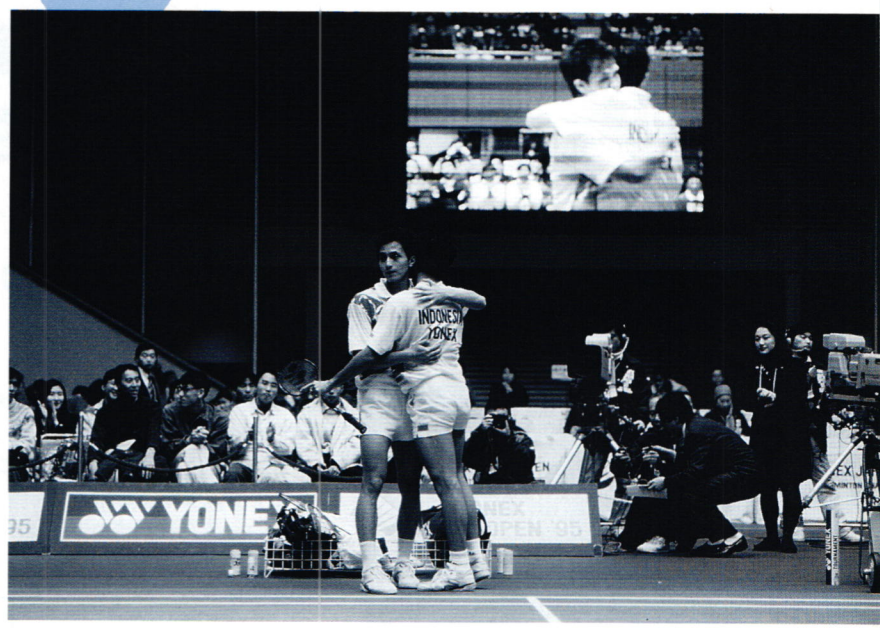


●バドミントンが大変お好きだという高円宮両殿下もご観戦されました。元全日本チャンピオンの陣内貴美子さん（後）に熱心にプレーのご質問をされていました。左はヨネックス・米山社長夫妻



●女子シングルスで2連覇を飾ったスサンティ選手。ファンの握手攻めにも笑顔で応えていました

●前年の男子ダブルスで、急造ペアながら優勝したスバグジャ選手（左）が本来のパートナー・マイナキー選手と組んで初めてジャパンオープンを制した瞬間。オーロラビジョンには抱き合う2人が大きく写し出されました

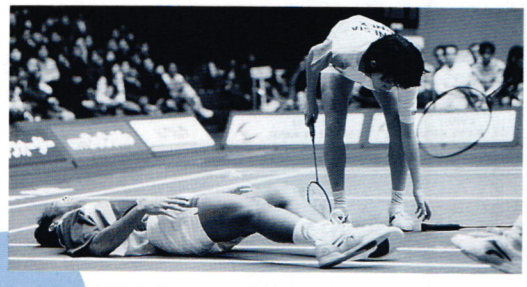




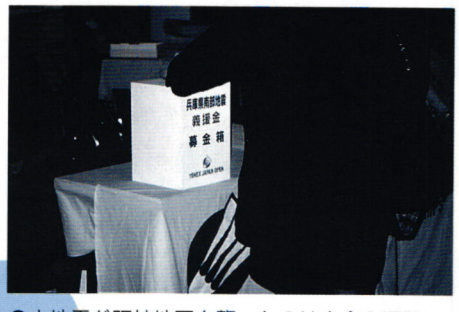
●男子シングルスの王座を奪回したアルビ選手(右)。同じインドネシアのライバル、ウィラナタ選手とは準決勝で好勝負を演じました。寮もホテルも同じ部屋という2人、コートサイドでも仲のよさをうかがわせていました



●こちらは準々決勝での死闘のあと。インドネシア対決は両者互いに足をつるアクシデント。試合後コートにのびたのはリョー・ティオンピン選手、フィアンセのスサンティ選手に靴ひもをといてもらうのはクスマ選手。勝ったのは、先輩のクスマ選手でした



●これも熱戦ならではのアクシデント。ミックスダブルス決勝でインドネシアのヘリアント選手が足を痛めてバッタリ。パートナーのティムール選手も心配そうでしたが、そのあとしっかりプレーを続行



●大地震が阪神地区を襲ったのは大会1週間前のことでした。会場では義援金が募られ21万円が集まりました



●コートの外でも熱い戦い。ウエアーやラケットを求める人でヨネックスブースも大にぎわいでした



●レキシー・マイナキー選手（左）と並ぶのは、熊本のYKK九州で活躍中のお兄さん、リオニー選手です。白い歯がまぶしいツーショットでした

ヨネックスジャパンオープン 公式大会使用球「トーナメント」

限り無く正確な飛距離、飛行曲線
精緻を極めた高性能水鳥球

バルセロナオリンピックに続いて、７月開催の
アトランタ五輪でも唯一の公式使用球に



高性能を支える厳密な品質管理

バドミントンのスマッシュは、初速350km/hを突破し、あらゆるスポーツの中でも最高速に達します。そして、相手コートに届くまでのわずかの間に急激に減速します。(スマッシュでは、わずか0.2秒で相手コートの中央に到達)この、シャトルコックの緩急豊かな動きこそバドミントンの醍醐味と言えます。つまり、シャトルコックの精巧さが好試合を演出する大きな要因となるのです。

正確な飛距離・飛行曲線がシャトルコックの命

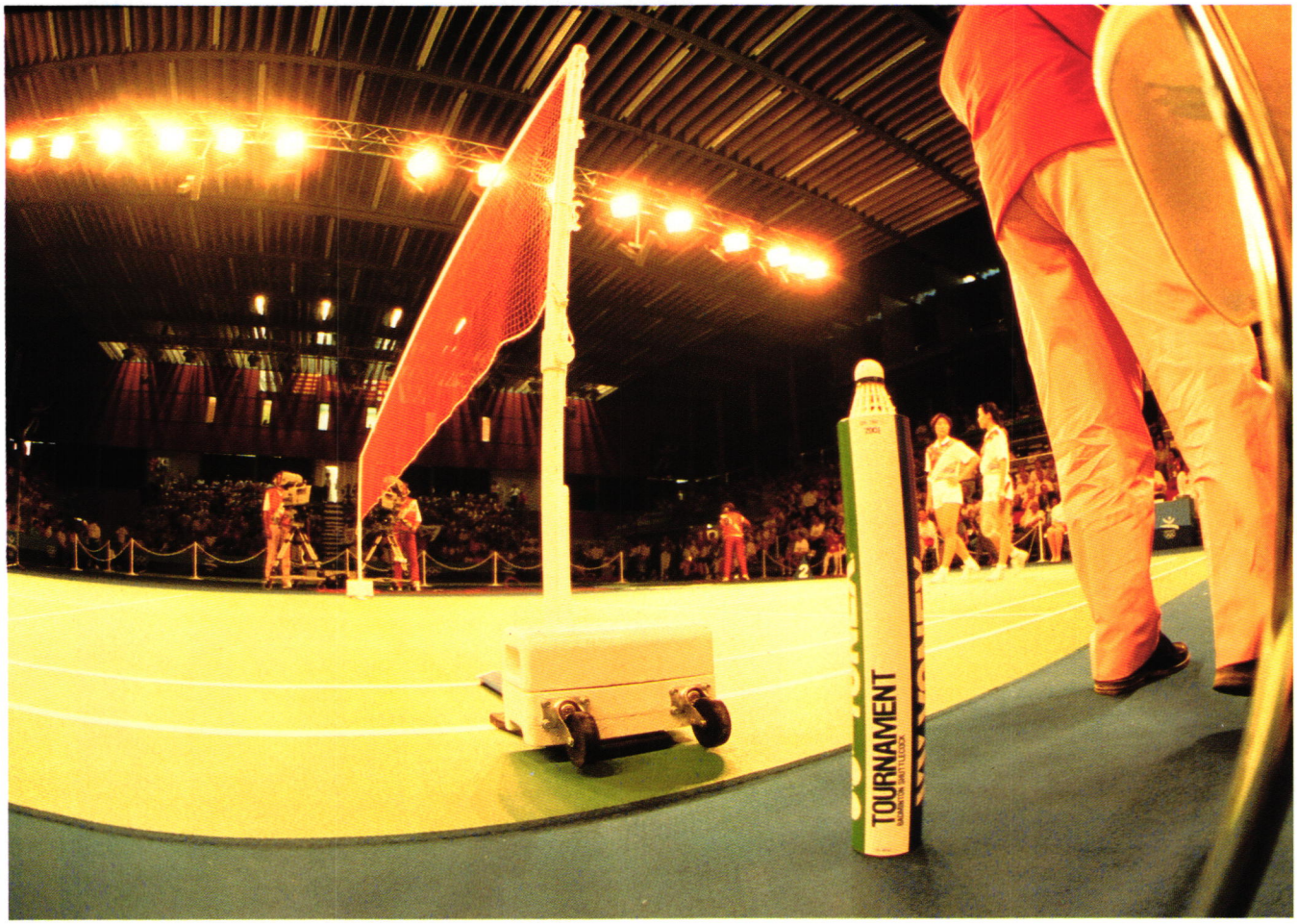
16枚のガチョウの羽根とコルクで構成されたシャトルの重量はおよそ５ｇ。打球時、羽根は瞬間的にすぼまり、正確に回転しながら飛行。同時に羽根は段々と広がり急速に減速します。

シャトルは生きた羽根であり、気温・湿度の変化に敏感に反応し飛びに微妙な影響をあたえます。気温が上昇すると空気密度は低く空気抵抗が減少します。１度違うだけで４～５cmもの飛距離差が生じるなど極めて繊細で、品質管理に最大の注意を要します。

世界チャンピオンのヘリアント・アルビ（インドネシア）選手に代表されるようにジャンピングスマッシュは破壊力十分で、シャトルには物凄い衝撃がかかります。

したがって、シャトルはデリケートな中にも相当の耐久性が要求されます。わずかなラリーでつぶれていたのでは、スマッシュ側に有利に働くからです。

国際経験豊富な陣内貴美子さんはこうした点について、「海外の大会で使われるシャトルには、確かに耐久面で今一つのものがありますね。こうしたシャトルでは、早く打ったほうが得で、少しでも上



1992年バルセロナオリンピックでは高性能を実証。改めて世界No.１を印象づけた

がったら選手はバシバシ打ってきます。」今大会の公式使用球はヨネックス『トーナメント』。IBFの公認球として1899年以来の伝統を誇る最高峰の全英選手権をはじめ6割以上の主要大会で使用され、前回、初めて正式種目に採用されたバルセロナ五輪はもとより、今夏のアトランタオリンピックでも唯一の公式使用球に決定している。

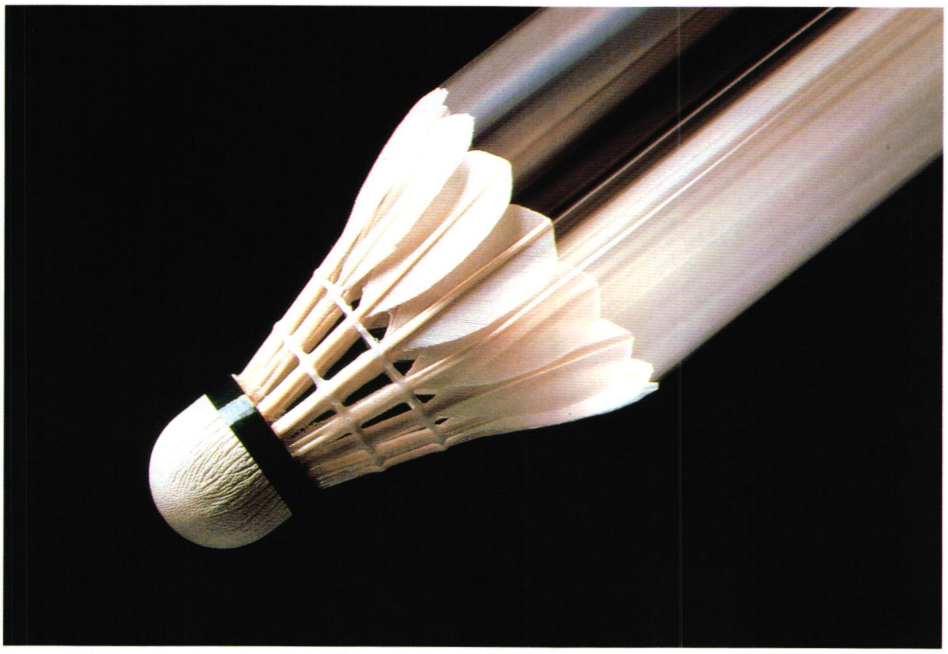
'95全英チャンピオンのホイヤー・ラーセン（デンマーク）選手は「（トーナメント）は世界一のシャトルだね。耐久性に優れ、長いラリーでも少しもフィーリングを損なうことはない。ゲーム中に交換しても、どれも均一だからチェックに神経を使う必要がないのが嬉しい。」など、トップ選手の信頼は極めて厚い。

ヨネックスは全世界の気温・湿度に合わせ大会球を供給

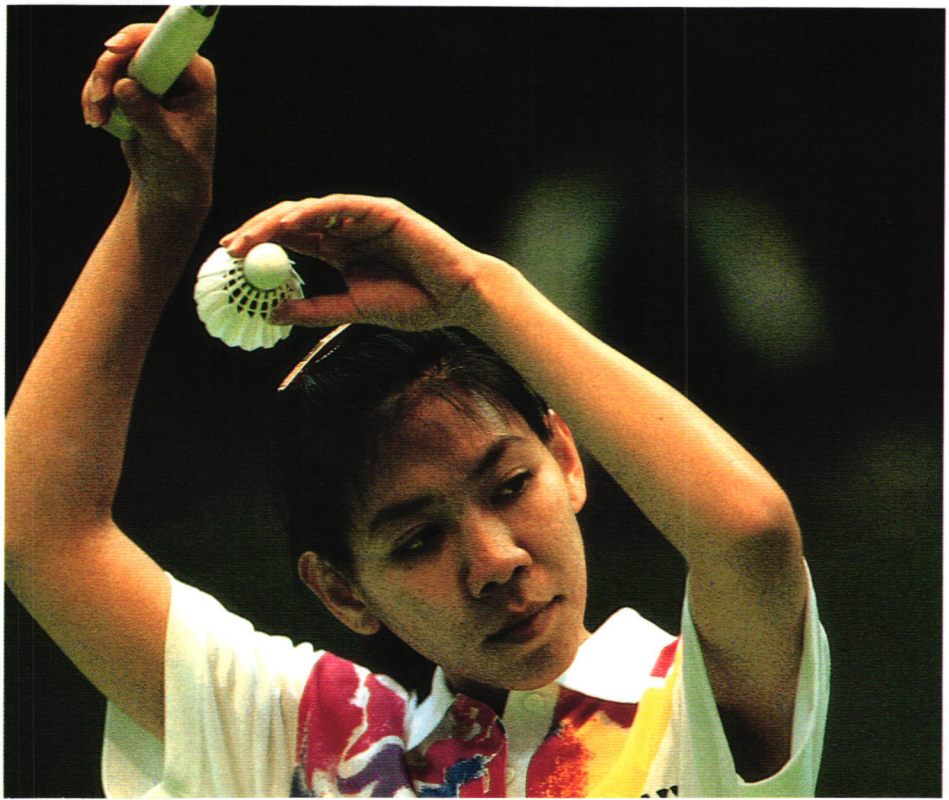
耐久性、バランス性、品質管理の面など、ヨネックスは世界唯一の『メイド・イン・ジャパン』として総合的に不動の評価を得ているのだ。

こうした凄さを支えるのがヨネックスに保管される膨大なデータ。各国の気象データを保有するだけでなく、世界の主要大会開催の体育館、日本各地の体育館の温度・湿度を把握。

ちなみに、主要大会では5度刻みの幅で使用球を選択し、最も適正なシャトルコックを提供するなど、綿密なシャトルコックの製造技術と品質管理が最大限の能力を引き出す源となっているのです。

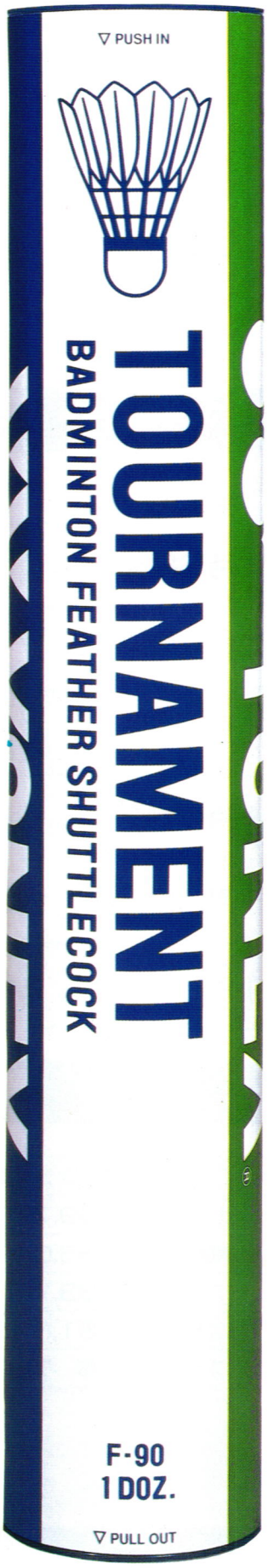


トップ選手の「ヨネックス水鳥球」に対する信頼は極めて高い

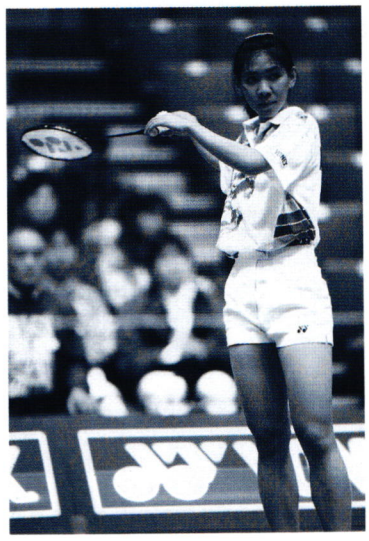


トーナメント使用の主要公式大会

- 全英オープン
- ヨネックスジャパンオープン
- 世界選手権、ワールドグランプリファイナル
- 全米オープン
- ドイツオープン
- トマス杯、ユーバー杯



YONEX JAPAN OPEN '96
BADMINTON CHAMPIONSHIPS



ヨネックスジャパンオープン'96

競　技　日　程

期　日	種　目	開　場・開　始
1月16日㊋	男女シングルス、男女ダブルス予選	9:00開場　9:30開始 ※両国・NTT東京体育館でも同時開催
1月17日㊌	男子ダブルス、女子シングルス1～2回戦、混合ダブルス予選	9:00開場　9:30開始
1月18日㊍	男子シングルス、女子ダブルス、混合ダブルス1～2回戦	9:00開場　9:30開始
1月19日㊎	各種目3回戦～準々決勝	9:00開場　9:30開始
1月20日㊏	各種目準決勝	11:00開場　12:00開始
1月21日㊐	各種目決勝	11:00開場　12:00開始

賞金総額 $150,000

	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	混合ダブルス
優　勝	$9,750	$7,500	$10,500	$9,000	$6,000
準優勝	$6,000	$5,250	$ 7,500	$6,000	$4,500
ベスト4	$3,750	$3,000	$ 4,500	$3,750	$3,000
ベスト8	$1,875	$1,500	$ 2,250	$1,875	$1,500
ベスト16	$ 750	—	—	—	—

THE WINNERS

YONEX JAPAN OPEN 1982〜1995
ヨネックスジャパンオープン歴代優勝者

● MS＝MEN'S SINGLES ● LS＝LADIES' SINGLES ● MD＝MEN'S DOUBLES ● LD＝LADIES' DOUBLES ● MIX＝MIXED DOUBLES

1982

● MS	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
● LS	Li Lingwei	李　玲　蔚	China
● MD	Kartono	カルトノ	Indonesia
	R. Heryanto	R.ヘリヤント	
● LD	Nora Perry	N.ペリー	England
	Jane Webster	J.ウェブスター	
● MIX	Michael Tredgett	M.トレジェット	England
	Nora Perry	N.ペリー	

1983

● MS	Han Jian	韓　　健	China
● LS	Han Aiping	韓　愛　平	China
● MD	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
	Stefan Karlsson	S.カールソン	
● LD	Gillian Gilks	G.ギルクス	England
	Gillian Clark	G.クラーク	
● MIX	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
	Nora Perry	N.ペリー	England

1984

● MS	Morten Frost	M.フロスト	Denmark
● LS	Zheng Yuli	鄭　昱　鯉	China
● MD	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
	Stefan Karlsson	S.カールソン	
● LD	Karen Beckman	K.ベックマン	England
	Gillian Gilks	G.ギルクス	
● MIX	Martin Dew	M.デュー	England
	Gillian Gilks	G.ギルクス	

1985

● MS	Zhao Jianhua	趙　剣　華	China
● LS	Wu Jianqiu	呉　建　秋	China
● MD	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Kim Moon Soo	金　文　秀	
● LD	Kim Yun Ja	金　練　子	Korea
	Yuh Sang Hee	柳　尚　希	
● MIX	Billy Gilliland	B.ギリランド	Scotland
	Gillian Gowers	G.ゴワーズ	England

1986

● MS	Yang Yang	楊　　陽	China
● LS	Li LingWei	李　玲　蔚	China
● MD	Razif Sidek	R.シデク	Malaysia
	Jalani Sidek	J.シデク	
● LD	Wu Dixi	呉　迪　西	China
	Lin Ying	林　　瑛	
● MIX	Billy Gilliland	B.ギリランド	Scotland
	Nora Perry	N.ペリー	England

1987

● MS	Xiong Guobao	熊　国　宝	China
● LS	Li Lingwei	李　玲　蔚	China
● MD	Liem Swie King	リム・スイ・キン	Indonesia
	Eddy Hartono	E.ハルトノ	
● LD	Lin Ying	林　　瑛	China
	Guan Weizhen	関　渭　貞	
● MIX	Lee Deuck Choon	李　得　春	Korea
	Chung Myung Hee	鄭　明　煕	

1988

● MS	Nick Yates	N.イエーツ	England
● LS	Han Aiping	韓　愛　平	China
● MD	Tian Bingyi	田　乗　毅	China
	Li Yongbo	李　永　波	
● LD	Chung Myung Hee	鄭　明　煕	Korea
	Chung So Young	鄭　素　英	
● MIX	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭　明　煕	

1989

● MS	Yang Yang	楊　　陽	China
● LS	Li Lingwei	李　玲　蔚	China
● MD	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Lee Song Bok	李　相　福	
● LD	Gillian Clark	G.クラーク	England
	Jilie Mundy	J.ムンディー	
● MIX	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭　明　煕	

1990

● MS	Morten Frost	M.フロスト	Denmark
● LS	Huang Hua	黄　　華	China
● MD	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Kim Moon Soo	金　文　秀	
● LD	Yao Fen	姚　　芬	China
	Lai Caiqin	頼　彩　勤	
● MIX	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭　明　煕	

1991

● MS	Ardy Wiranata	A.ウィラナタ	Indonesia
● LS	Huang Hua	黄　　華	China
● MD	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Kim Moon Soo	金　文　秀	
● LD	Gillian Clark	G.クラーク	England
	Gillan Gowers	G.ゴワーズ	
● MIX	Park Joo Bong	朴　柱　奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭　明　煕	

1992

● MS	Ardy Wiranata	A.ウィラナタ	Indonesia
● LS	Susi Susanti	S.スサンティ	Indonesia
● MD	Chen Kang	陳　　康	China
	Chen Hongyong	陳　紅　勇	
● LD	Hwang Hye Young	黄　恵　英	Korea
	Chung So Young	鄭　素　英	
● MIX	Thomas Lund	T.ルンド	Denmark
	Pemille Dupont	P.デュポン	

1993

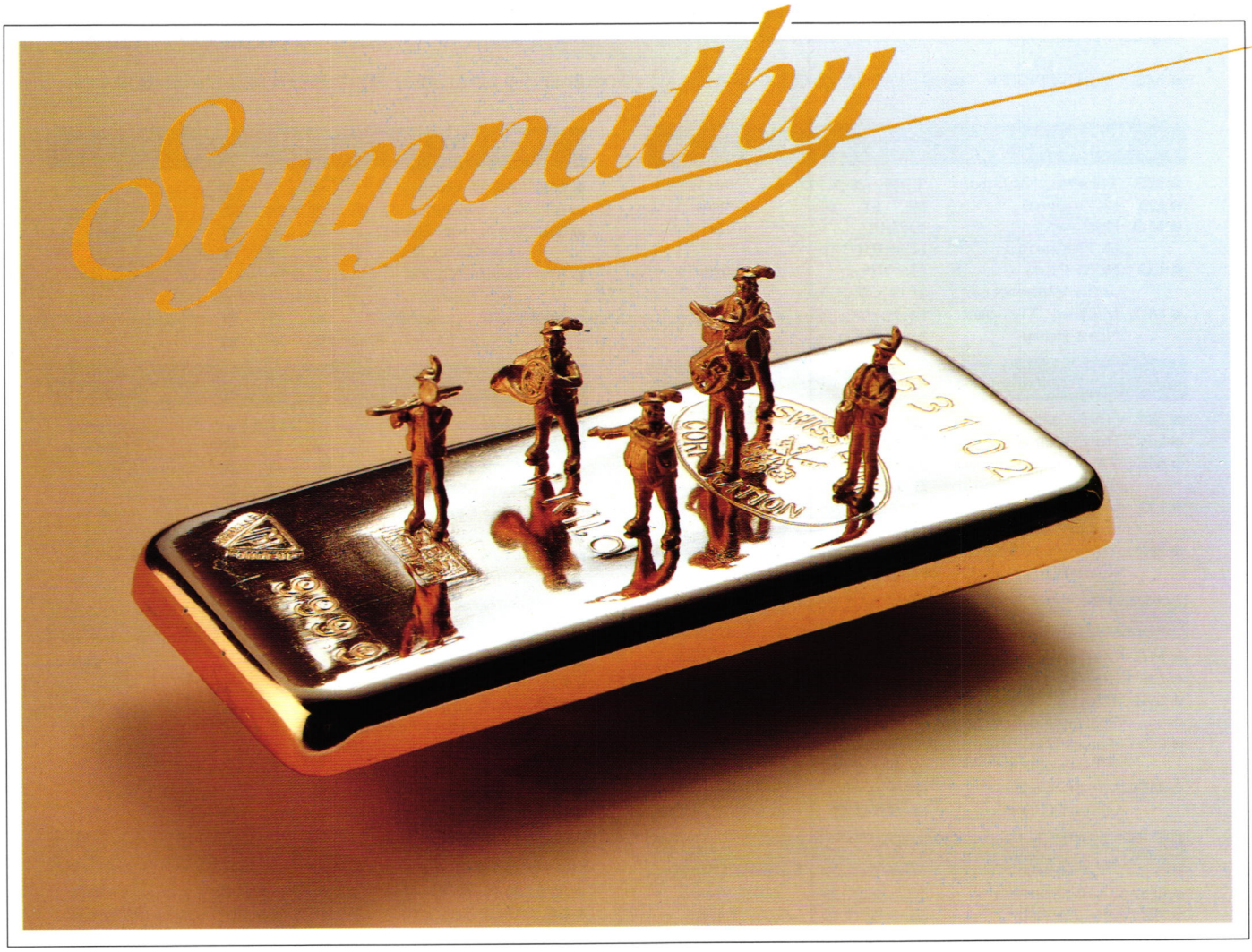
● MS	Heryanto Arbi	H.アルビ	Indonesia
● LS	Ye Zhaoying	葉　釗　穎	China
● MD	Chen Kang	陳　　康	China
	Chen Hongyong	陳　紅　勇	
● LD	Chung So Young	鄭　素　英	Korea
	Gil Young Ah	吉　永　雅	
● MIX	Thomas Lund	T.ルンド	Denmark
	Catrine Bengtsson	C.ベントソン	Sweden

1994

● MS	Ardy Wiranata	A.ウィラナタ	Indonesia
● LS	Susi Susanti	S.スサンティ	Indonesia
● MD	Ricky Subagdja	R.スバグジャ	Indonesia
	Deny Kantono	D.カントノ	
● LD	Chung So Young	鄭　素　英	Korea
	Gil Young Ah	吉　永　雅	
● MIX	Jon Holst-Christensen	J.ホルストクリステンセン	Denmark
	Catrine Bengtsson	C.ベントソン	Sweden

1995

● MS	Heryanto Arbi	H.アルビ	Indonesia
● LS	Susi Susanti	S.スサンティ	Indonesia
● MD	Ricky Subagdja	R.スバグジャ	Indonesia
	Rexy Mainaky	R.マイナキー	
● LD	Ge Fei	葛　　菲	China
	Gu Jun	願　　俊	
● MIX	Thomas Lund	T.ルンド	Denmark
	Marlene Thomsen	M.トムセン	



充実の響感

素晴らしい旋律を約束するオーケストラの妙味。
統一された音がつくり出す美しいハーモニーは、まさに芸術と呼べるものです。
金もまた、人間にとって芸術と同じく価値のあるものです。
その輝きはもちろん、永遠の資産として
揺らぐことのない存在感は、金だからこその魅力です。
時を選ばずに満足を与える、
これ以上の感動はないでしょう。
これからの人生計画に欠かせない金の力。
充分に引き出し、潤いをもたらせるパートナーとして、
フジチューが、そのお手伝いをさせて
いただきます。

Gold School

フジチューでは、
貴金属アナリストや経済ジャーナリストを
講師とする勉強会「ゴールド・スクール」を
毎月一回、全営業所で開催しております。
営業所により、開催の日時が異なりますので、
その都度ご案内させていただきます。
お気軽にご参加下さい。

●金に関する資料のご請求、ゴールドスクールに関するお問い合わせは…
☎ 0120-06-8151

お客様とともに　東京工業品取引所取引員　CFA-1104
フジチュー株式会社 企画室
大阪市中央区船越町2丁目3番7号　〒540
営業網：東京・金沢・岡山・広島



三協アルミ

better to BEST

暮らしにいちばんの快適さをお届けしたい。
住宅用建材からビル用建材まで。
三協アルミの技術です。

三協アルミニウム工業株式会社
本社: 〒933 富山県高岡市早川70 スポーツ推進室 TEL 0766-20-2386

COMPETITORS

MENS 男子

●AUSTRALIA ●オーストラリア
Craig Booley クライグ・ブーリー
Murray Hocking マーレイ・ホッキング
Y. Feng Shen Y・フェン・シェン
Peter Blackburn ピーター・ブラックバーン
Paul Staight ポール・ステート
Paul Stevenson ポール・スティーブンソン

●AUSTRIA ●オーストリア
Hannes Fuchs ハンス・フックス
Juergen koch ユルゲン・コッホ

●BELARUS ●ベラルーシ
Mikhail Korchouk ミカイル・コルチョク
Vitalii Chmakov ヴィタリ・シュマコフ

●BULGARIA ●ブルガリア
Todor Velkov トドール・ベルコフ
Boris Kesov ボリス・ケソフ

●CANADA ●カナダ
Iain Sydie イアン・サイディ
Mike Beres マイク・ベアーズ
Anil Kaul アニル・コール
Darryl Yung ダリル・ユング
Brent Olynyk ブレント・オリニク
Brian Moody ブライアン・ムーディ

●CHINA ●中国
Dong Jiong 董 炯
Sun Jun 孫 俊
Chen Gang 陳 剛
Hu Zhilan 胡芝蘭
Lin Liwen 林立文
Yu Lizhi 余立志
Jiang Xin 蔣 欣
Huang Zhanzhong 黄展忠
Ge Cheng 葛 成
Tao Xiaoqiang 陶暁強
Liu Jianjun 劉堅軍
Chen Xingdong 陳興東

●CHINESE TAIPEI ●中華台北
Fung Permadi ファン・ペルマディ
Liu En Hong 劉恩宏
Chiang Hong Li 江宏立
Wu Chun Sheng 呉俊笙
Chang Jeng Shyuang 張政雄
Ding Jyh Cherng 丁至誠
Lin Gwo Chyng 林國欽
Wang Chia Cherng 王嘉成
Chen Chin Shien 陳欽賢
Lee Mou Chou 李謀周
Feng Horng Yun 馮宏雲
Horng Shin Jeng 洪欣正
Huang Chuan Chen 黄全成
Liao Kuo Mao 廖國茂
Lin Liang Chun 林亮君
Tu Tung Sheng 杜東昇
Yong Shyh Jeng 楊仕政
Lee Sung Yuan 李松遠

●DENMARK ●デンマーク
Poul-Erik Hoeyer Larsen ポールエリク・ホイヤーラーセン
Peter Rasmussen ピーター・ラスムセン
Thomas Stuer-Lauridsen トーマス・スチュアローリドセン
Martin Lundgaard マーチン・ルンドゴール
Søren B. Nielsen ソレン・B・ニールセン
Jim Laugesen ジム・ローゲセン
Peter Janum ピーター・ヤナム
Jon Holst-Christensen ヨン・ホルストクリステンセン
Thomas Lund トーマス・ルンド
Henrik Svarrer ヘンリック・スバレル
Michael Soegaard ミカエル・ソゴール
Jens Eriksen イエンス・エリクセン
Christian Jakobsen クリスチャン・ヤコブセン
Thomas Stavngaard トーマス・スタウンゴール

●ENGLAND ●イングランド
Darren Hall ダーレン・ホール
Peter Knowles ピーター・ノウルズ
Chris Hunt クリス・ハント
Simon Archer サイモン・アーチャー
Neil Cottrill ニール・コトリル
John Quinn ジョン・クイン
Julian Robertson ジュリアン・ロバートソン
Nick Ponting ニック・ポンティング

●FRANCE ●フランス
Etienne Thobois エティエンヌ・トボア
Bertrand Gallet ベルトランド・ギャレ
Jean-Frederic Massias ジャン-フレドリク・マシアス
Manuel Dubrulle マニュエル・デュブリューユ
Vincent Laigle バンサン・レグル

●GERMANY ●ドイツ
Michael Helber ミハイル・エルバー
Michael Keck ミハイル・ケック
Kai Mitteldorf カイ・ミッテルドルフ
Uwe Ossenbrink ウベ・オッセンブリンク
Hwan Kin Meng Horatius ホアン・キン・メン・ホラシアス

●GHANA ●ガーナ
George Nana Yeboah ジョージ・ナナ・イエボー
Charles Nii Williams チャールズ・ニー・ウィリアムス
Harry Aperko Boateng ハリー・アペルコ・ボーテング
Frederick Baffour Opoku フレデリック・バッファー・オポク

●HONG KONG ●香港
Tam Kai Chuen 譚啓銓
Tim He ティム・ヒー
Chan Siu Kwong 陳兆光
Ma Che Kong 馬智江
Chow Kin Man 周倹民

●INDONESIA ●インドネシア
Haryanto Arbi ヘリアント・アルビ
Joko Suprianto ジョコ・スプリアント
Ardy B. Wiranata アーディ・B・ウィラナタ
Hermawan Susanto ヘルマワン・スサント
Alan Budi Kusuma アラン・ブディ・クスマ
Gunawan ルディ・グナワン
Bambang Suprianto バンバン・スプリアント
Antonius B. Irianto アントニウス・B・イリアント
Deny Kantono デニー・カントノ
Ricky Subagdja リッキー・スバグジャ
Rexy Mainaky レキシー・マイナキー
Tony Gunawan トニー・グナワン
Rudy Wijaya ルディ・ウィジャヤ
Trikus Heryanto トリクス・ヘリアント
Flandy Limpele フランディ・リンペレ

●ITALY ●イタリア
Gianmarco La Rosa ジャンマルコ・ラ・ロサ
Enrico La Rosa エンリコ・ラ・ロサ
Andreas Pichler アンドレアス・ピチュラー
Christian Hinteregger クリスチャン・インテレジェール

●JAPAN ●日本
Fumihiko Machida 町田 文彦
Shinji Bitoh 尾藤 伸治
Takaaki Hayashi 林 貴昭
Seiichi Watanabe 渡辺 清一
Takahiro Suka 須賀 隆弘
Norio Imai 今井 紀夫
Keita Masuda 舛田 圭太
Hidetaka Yamada 山田 英孝
Akihiro Kishida 岸田 明宏
Yuzo Kubota 久保田雄三
Kenji Tsuneyama 常山 兼二
Hideaki Motoyama 本山 秀昭
Shinji Ohta 太田 慎二
Takuya Takehana 竹鼻 拓也
Akihiro Imai 今井 彰宏
Kazuhiro Honda 本田 和裕
Shigeru Fukuda 福田 茂
Koji Takahashi 高橋 幸治
Koji Miya 宮 康二
Eiji Takahashi 高橋 英治
Hideka Fujiwara 藤原 瑛佳
Hideyuki Munesue 棟居 秀行
Takuya Katayama 片山 卓哉
Yuzo Kubota 久保田雄三
Atsuhito Kidani 気谷 篤人
Koji Ohyama 大山 宏司
Yasuhiro Hirano 平野 泰宏
Sinnosuke Murata 村田真之助
Daisuke Yoshikawa 吉川 大助
Masahiro Yabe 矢部 正博
Motoki Yamaura 山浦 元樹
Hidenori Ishibashi 石橋 秀法
Naoshige Kataoka 片岡 直茂
Hideyoshi Okayama 岡山 秀義
Tadashi Ohtsuka 大束 忠司
Norinao Nakamura 中村 憲尚
Takanori Aoki 青木 孝徳
Teruyuki Sawada 沢田 晃幸
Tomokazu Umaki 馬木 智一
Toru Matsumoto 松本 徹
Hiroyuki Yamaguchi 山口 博之
Yuji Yoshikawa 吉川 勇司
Naohiko Atsuta 熱田 尚彦
Yu Hirata 平田 悠
Hiroshi Shimizu 清水 裕
Kimihiko Obuki 小吹 公彦

●KAZAKHSTAN ●カザフスタン
Igor Dmitrief イゴール・ドミトリエフ

●KOREA ●韓国
Lee Kwang Jin 李光珍
Ahn Jae Chang 安哉昌
Hwang Sun Ho 黄善鎬
Lee Dong Soo 李東秀
Ha Tae Kwon 河泰権
Kim Dong Moon 金東文
Park Joo Bong 朴柱奉

●MALAYSIA ●マレーシア
Rashid Sidek ラシッド・シデク
Ong Ewe Hock オン・ユーホック
Pang Chen パン・チェン
Yong Hock Kin ヨン・ホックキン
Lo Ah Heng ロ・アヘン
Abdul Saman Ismail アブドルサマン・イスマイル
Soo Beng Kiang スー・ベンキャン
Tan Kim Her タン・キムハー
Cheah Soon Kit チー・スーンキット
Yap Kim Hock ヤップ・キムホック
Choong Tan Fook チューン・タンフック
Lee Wan Wah リー・ワンワー
Rosman Razak ロスマン・ラザク
Chew Choon Eng チュー・チューンエン
Yap Yee Guan ヤップ・イーガン
Yap Yee Hup ヤップ・イーハップ

●MALDIVE ●モルジブ
Moosa Nashid ムーサ・ナシド

●NETHERLANDS ●オランダ
Jeroen van Dijk ジャロエン・ファン・ダイク
Pierre Pelupessy ピエール・ペルプシー
Joris van Soerland ヨリス・ファン・スールランド
Ron Michels ロン・ミシェルス

●RUSSIA ●ロシア
Andrei Antropov アンドレイ・アントロポフ
Pavel Uvarov パベル・ウバロフ
Nickolai Zuef ニコライ・ズエフ

●SINGAPORE ●シンガポール
Abdul Hamid Khan アブドル・ハミッド・カン
Tan Sian Peng タン・シアン・ペン
Patrick Lau Kim Pong パトリック・ロー・キム・ポン

●SWEDEN ●スウェーデン
Jens Olsson イエンス・オルソン
Tomas Johansson トーマス・ヨハンソン
Peter Axelsson ピーター・アクセルソン
Pär-Gunnar Jönsson パー・グナー・ヨーンソン
Jan-Eric Antonsson ヤン・エリク・アントンソン

●SWISS ●スイス
Imay Hendra イマイ・ヘンドラ

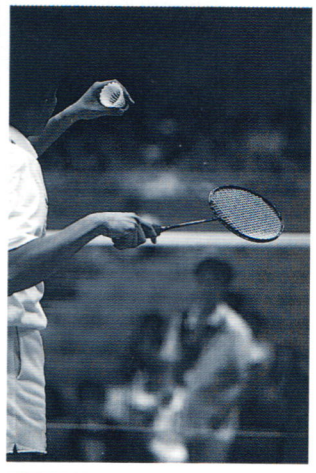
●UGANDA ●ウガンダ
Christopher Musaazi クリストファー・ムサージ
Mugerwa Fred Kiggundu マガーワ・フレッド・キグンド
Abbey Ibrahim Kayongo アベイ・イブラヒム・カヨンゴ
Joseph Mutebi ジョセフ・ムトビ
Musa Kinene ムサ・キネネ

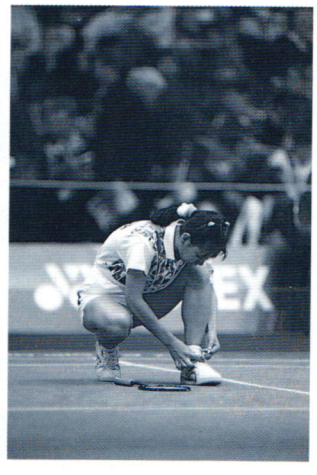
●U.S.A. ●アメリカ
Kevin Han ケビン・ハン
Thomas Reidy トーマス・レイディ

YONEX JAPAN OPEN '96 BADMINTON CHAMPIONSHIPS

LADIES 女子

●AUSTRALIA	●オーストラリア
Yang Song	ヤン・ソン
Lisa Campbell	リサ・キャンベル
Rhonda Cator	ロンダ・カーター
Amanda Hardy	アマンダ・ハーディ
Kellie Lucas	ケリー・ルーカス
●AUSTRIA	●オーストリア
Irina Serova	イリナ・セロワ
●Belarus	●ベラルーシ
Vlada Tcherniavskaia	プラダ・チェルニアフスカア
Tatiana Gerassimovitch	タチアナ・ゲラシモビッチ
●CANADA	●カナダ
Denyse Julien	デニス・ジュリエン
Charmaine Reid	シャーメイン・レイド
Heather Poole	ヘザー・プール
Deng Si-An	デン・シアン
Robbyn Hermitage	ロビン・ヘルミテージ
Milaine Cloutier	ミレイネ・クロウティア
Maria Ong	マリア・オン
Elma Ong	エルマ・オン
●CHINA	●中国
Ye Zhaoying	葉釗穎
Wang Chen	王　成
Han Jingna	韓晶娜
Zhang Ning	張　寧
Yao Yan	姚　燕
Dai Yun	戴　温
Ge Fei	葛　菲
Gu Jun	顧　俊
Qin Yiyuan	秦芒源
Tang Yongshu	唐永淑
Chen Ying	陳　穎
Peng Xinyong	彭新勇
Sun Man	孫　曼
●CHINESE TAIPEI	●中華台北
Chan Ya Lin	詹雅玲
Jeng Shwu Jen	鄭淑仁
Huang Chia Chi	黄嘉琪
Tsai Hwei Min	蔡慧敏
Chen Li Jin	陳儷今
●DENMARK	●デンマーク
Camilla Martin	カミラ・マーチン
Lotte Thomsen	ロッテ・トムセン
Anne Soendergaard	アンヌ・ソエンデルゴール
Marlene Thomsen	マルレーヌ・トムセン
Lisbet Stuer-Lauridsen	リスベット・スチュアローリドセン
Rikke Olsen	リッケ・オルセン
Helene Kirkegaard	ヘレン・キルケゴール
Ann Jorgensen	アン・ヨルゲンセン
Lotte Olsen	ロッテ・オルセン
●ENGLAND	●イングランド
Julie Bradbury	ジュリー・ブラドベリー
Joanne Wright	ジョアン・ライト
Joanne Davies	ジョアン・デービス
Nichola Beck	ニコラ・ベック
Gillian Gowers	ジリアン・ゴワーズ
Sera Hardaker	セラ・ハーデイカー
Joanne Muggeridge	ジョアン・マグリッジ
Kelly Morgan	ケリー・モーガン
Anne Gibson	アンヌ・キブソン
●FRANCE	●フランス
Sandra Dimbour	サンドラ・ダンブール
Sandrine Lefevre	サンドリーヌ・ルフェーブル
Christelle Mol	クリステル・モル
Tatiana Vattier	タチアナ・バティエル
Virginie Delvingt	ビルジニー・デルバン
●GERMANY	●ドイツ
Katrin Schmidt	カトリン・シュミット
Kerstin Ubben	ケルスティン・ウベン
Karen Stechmann	カレン・ステックマン
●HONG KONG	●香港
Ng Ching	呉　青
Zhou Xin	周　昕
Chan Hiu Fung	陳暁峰
Chan Oi Ni	陳愛爾
Tung Chau Man	董秋雯
●INDONESIA	●インドネシア
Susi Sasanti	スシ・スサンティ
Mia Audina	ミア・アウディナ
Yuliani Sentosa	ユリアニ・サントソ
Lidya Djaelawidjaya	リディヤ・ジャエラウィジャヤ
Finarsih	フィナルシ
Lily Tampi	リリ・タンピ
Elisa	エリサ
Zelin Resiana	ゼリン・レシアナ
Minarti Timur	ミナルティ・ティムール
Riseu Rosalina	リセウ・ロサリナ
●ITALY	●イタリア
Maria Luise Mur	マリアルイーズ・ムール
Beate Dejako	ビアテ・デジャコ
Monica Memoli	モニカ・メモリ
●JAPAN	●日本
Hisako Mizui	水井妃佐子
Yasuko Mizui	水井　泰子
Takako Ida	井田　貴子
Yoshiko Ohta	大田　貴子
Masako Sakamoto	阪本　雅子
Tomomi Matsuo	松尾　知美
Aiko Miyamura	宮村　愛子
Akiko Miyamura	宮村亜貴子
Mariko Nakayama	中山真理子
Keiko Takeno	竹野　景子
Chikako Nakayama	中山智香子
Kanako Yonekura	米倉加奈子
Miho Tanaka	田中　美保
Yoshiko Iwata	岩田　良子
Chiemi Ishii	石井知恵美
Yuki Koizumi	小泉　友紀
Mayumi Watanabe	渡邊真由美
Takae Masumo	増茂　孝枝
Miho Tomita	冨田　美保
Hiromi Yamada	山田　裕美
Shinobu Sasaki	佐々木　忍
Haruko Matsuda	松田　治子
Miki Hayashi	林　　美希
Chika Tanifuji	谷藤　千香
Saori Itoh	伊藤さおり
Yumi Akashi	明石　由美
Kirika Kawaguchi	川口　桐香
Keiko Yoshitomi	吉富　桂子
Kana Yasuda	安田　香奈
Ayako Gotoh	後藤　綾子
Megumi Aiyama	相山　恵美
Sachiko Sekimoto	関本　祥子
Junko Yamada	山田　潤子
Kaori Mori	森　かおり
Kumi Ohta	太田　久美
Tamami Nakashima	中島　珠美
Yuko Ohta	太田　裕子
Chihiro Ohsaka	大坂　千尋
Tomoka Yoshioka	吉岡　知香
Naoko Miyake	三宅　直子
Satomi Igawa	井川　里美
Tetsuko Hori	堀　　哲子
Rie Matsumoto	松本　里衣
Eriko Iwamatsu	岩松絵理子
Hiromi Ban	伴　　宏美
●KAZAKHSTAN	●カザフスタン
Irina Gritsenko	イリナ・グリツェンコ
Ludmila Okuneva	ルドミラ・オクネワ
●KOREA	●韓国
Lee Joo Hyun	李宙炫
Gil Young Ah	吉永雅
Jang Hye Ock	張恵玉
Kim Mee Hyang	金美香
Kim Shin Young	金信英
Shim Eun Jung	沈恩婷
Park Soo Yun	朴秀延
Ra Kyung Min	羅景民
●NETHERLANDS	●オランダ
Monique Hoogland	モニカ・ホッグランド
Eline Coene	エリーヌ・コーヌ
Erica van den Heuvel	エリカ・ファンデンヒューベル
●NEW ZEALAND	●ニュージーランド
Rhona Robertson	ローナ・ロバートソン
Tammy Jenkins	タミー・ジェンキンス
●PHILIPPINES	●フィリピン
Amparo Lin	アンパロ・リン
Kennie Asuncion	ケニー・アスンシオン
●RUSSIA	●ロシア
Elena Rybkina	エレナ・リュブキナ
Irina Yakusheva	イリナ・ヤクーシェワ
Marina Yakusheva	マリナ・ヤクーシェワ
●SINGAPORE	●シンガポール
Zarinah Abdullah	サリナ・アブドラ
●SWEDEN	●スウェーデン
Lim Xiao Qing	林小青
Catrine Bengtsson	カトリーヌ・ベントソン
Christine Magnusson	クリスティーヌ・マグヌソン
Margit Borg	マルギット・ボルグ
Maria Bengtsson	マリア・ベントソン
Astrid Crabo	アストリド・クラボー
●SWISS	●スイス
Silvia Albrecht	シルビア・アルブレヒト
Santi Wibowo	サンティ・ウィボウォ
●TRINIDAD AND TOBAGO	●トリニダードトバコ
Debra Oconnor	デブラ・オコナー
●UGANDA	●ウガンダ
Safina Nakijoba	サフィーナ・ナキジョバ
Angella Nassiwa	アンジェラ・ナッシワ
●U.S.A.	●アメリカ
Kathrine Zemmerman	キャサリン・ジマーマン
Erica Von Heiland	エリカ・フォンヘイランド
Gina Gomes	ジーナ・ゴメス
Meiling Okuno	メイリン・オクノ
Linda French	リンダ・フレンチ





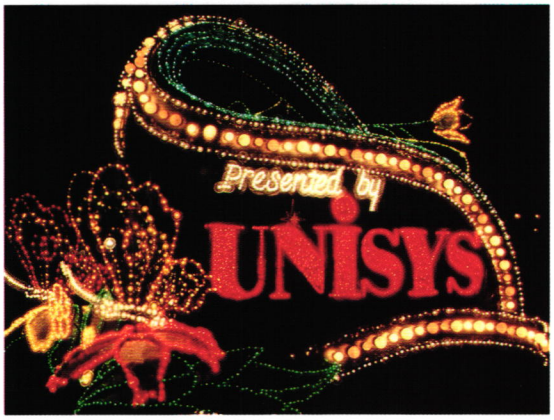
UNISYS

日本ユニシス株式会社
本社 東京都江東区豊洲1-1-1〒135 電話03-5546-4111(大代表)

日本ユニシスのコンピュータが
東京ディズニーランドのシステマティックな運営を
強力にバックアップしています。



日本ユニシスは
「ディズニー・ファンティリュージョン!」を
提供しています。





プレーヤーへ 熱きメッセージ!



当社の得点表示器は、
ヨネックスジャパンオープンはじめ
京都国体より公認採用され、好評を
戴いております。

特 長

1．操作性良好

- バドミントンの競技ルールをマイコンが記憶している為、誤操作が少ない。
- コントロール部が小さく、審判が直接扱える。

2．長寿命、省電力

- 表示素子に高輝度発光ダイオードを使用している為、長寿命でかつ省電力な設計となっています。

3．その他

- 前セットの得点結果も表示します。



株式会社 三ツ葉電機製作所

本社・工場　〒376 桐生市広沢町 1 —2681　Tel.0277(52) 0 1 1 1 （代表）
工場　赤城・鬼石・新里・利根　　営業所　東京・大阪・名古屋・鈴鹿

YONEX JAPAN OPEN '96 BADMINTON CHAMPIONSHIPS

TOURNAMENT OFFICERS

大会役員

●PRESIDENT

大会会長　桜内　義雄　Yoshio Sakurauchi

大会副会長　山口　開生　Haruo Yamaguchi
戸田　清一　Seiichi Toda
綿貫　民輔　Tamisuke Watanuki
村山　幸雄　Yukio Murayama
玉手　庸　Isao Tamate

大会名誉顧問　米山　稔　Minoru Yoneyama

大会顧問　石渡　俊一　岩崎　純三　奥田　敬和　北口　博
沓掛　哲男　倉田　寛之　嶋崎　均　関谷　勝嗣
内藤　健　林　義郎　森　喜朗　山崎武三郎
渡辺　秀央　地崎　昭宇　清藤　六郎　佐々木洋平
菅原　周一　鈴木　辰雄　板垣　隆房　佐藤　信
手塚　克彦　日野　貞夫　大須田良作　高橋　重夫
大山　茂　原　二三雄　吉川　芳男　長浦　音吉
清水規矩雄　岡田　尚壮　大永　武二　塩川　甫
後藤　淳　野呂　昭彦　大竹　健二　栗本藤四郎
田中田鶴子　三宅　祐司　今井　鎮雄　藤田　庸右
石田　真敏　今村　時男　成相　安信　石田　祥史
林　正夫　池上　任　西谷　功　俊成　薫
結城　健輔　四島　司　小原　嘉文　久間　章生
松本　孝一　近藤　稔　新城　敏晴　松本　忠
田名　弘　柳川　覚治　遠井　稔男　杉田　安雄
根岸　知子　武田　昭二　宮永　武司

大会参与　川端　昇市　小宮　淳宏　高倉　正治　宮澤　宏之
組村　明　清水　善一　鈴木　潔　福井　正康
増田　稔

●CHAIRMAN

大会委員長　浅岡　武　Takeshi Asaoka

大会委員　安倍　淳美　大世古吉弘　金子　忍　神沢　暁
北　義一　小飼　栄一　関根　義雄　竹林　克彦
千葉　健夫　濱中　勉　藤本　滋　藤原　和文
油井　秀男　加藤　三夫　福田　武　藤井　一孝
佐藤　清志　杉田　忠光　真壁　幹雄　加藤　信樹
遠藤　宏一　田沢　辰雄　小島　一夫　加藤　勝
牧野　建夫　花岡　牧夫　鈴木　勝之　秋山　真男
本田　務　堺　三徳　河原山晴夫　寺崎　由雄
町田　守正　上原　信彦　和田　直美　澤　長壽
佐藤　武人　四方　光市　野村　安忠　木津　乾
加藤　博司　星野　忠男　藤原　航　津守　幸介
西野　昌明　野本　勝　坂本　真人　横溝　安伸
木原　逸夫　香島　正佳　工藤　勇参　川島　一郎
徳永　英敏　仲村　寛市　山田　章誠　稲石　一雄
山崎　博光　前田　耕作　杉山　郁郎　彌永　正信
石森　敏男　池田　公子　小林　正人　今来　サキ
竹内ヒロ子　稲村　昇　高橋　英夫　高橋　秀男
児嶋　昇　殿川　宣勝　増田　英男　近岡　昭
奥　智在　小林　健二　大井　節子

INTERNATIONAL BADMINTON FEDERATION

国際バドミントン連盟役員

●PRESIDENT

Mme. Lu Shengrong　CHINA

●IMMEDIATE PAST-PRESIDENT

Arthur E. Jones　ENGLAND

●VICE-PRESIDENTS

Tom Bacher　DENMARK
Neil M. Cameron　ENGLAND
Roger Johansson　SWEDEN
Jeffrey E. Robson　NEW ZEALAND
Justian Suhandinata　INDONESIA
H. Roy Ward　AUSTRALIA
Charoen Wattanasin　THAILAND

●MEMBERS OF COUNCIL

Mrs. Riena de Beer-Tertoolen　NETHERLANDS
Martijn Van Dooremalen　NETHERLANDS
Punch Gunalan　MALAYSIA
R. Stanton Hales　USA
Rudy Hartono Kurniawan　INDONESIA
Shu Keung Kan　HONG KONG
Kim Hak Suk　KOREA
Mrs. Audrey E. Kinkead　IRELAND
Vladimir Lifshits　RUSSIA
Mrs. Heather Nielsen　ENGLAND
Tuomo Tennila　FINLAND
Wang Wenjiao　CHINA

●CONTINENTAL REPRESENTATIVES

Cedric A. Baxter　OCEANIA BADMINTON CONFEDERATION
Torsten Berg　EUROPEAN BADMINTON UNION
Mrs. Elizabeth Erichsen　PAN AMERICAN BADMINTON CONFEDERATION
Lau Teng Chuan　ASIAN BADMINTON CONFEDERATION
James Sekajugo　AFRICA BADMINTON CONFEDERATION

●EXECUTIVE DIRACTOR

David Shaw　ENGLAND

TOURNAMENT COMMITTEES

大会運営委員

●CHAIRMAN

委員長　浅岡　武　Takeshi Asaoka

●VICE CHAIRMAN

副委員長　花岡　牧夫　Makio Hanaoka
米山　広作　Kohsaku Yoneyama

●STAFF MEMBERS

委員　千葉　健夫　吉本　貞夫　土田　隆史　松村雄太郎
岡本　進

●REFEREE

レフェリー　Dennis Li(HONG KONG)
デニス・リ(香港)

●DEPUTY REFEREE

ディプティレフェリー　Neil Cameron(ENGLAND)
ニール・キャメロン(イングランド)

●PLAYERS SECRETARY

プレーヤーズセクレタリー　児嶋　昇　Noboru Kojima
ウッドワード悦子　Etsuko Woodward

●DOPING COMMITTEE

ドーピングコミッティ

Chairman　一宮　和夫　Kazuo Ichimiya
伊丹　昭　Akira Itami

●MEDICAL DOCTOR

メディカルドクター　竹内　秀樹　佐々木純一　酒井　裕　荻内　隆司
加納　健一

TOKYO METROPOLITAN BADMINTON ASSOCIATION

東京都バドミントン協会関係競技役員

総務担当　杉山　郁郎　小川　弘　彌永　正信　池田　公子
増田　英男　近岡　昭　殿川　宣勝　竹内ヒロ子

総　務　関城　聖子　毒島正太郎　馬場　猛夫　森脇　壽夫
沖山　和男　佐久間富子　木村仁一郎　海老よしえ
千脇　静枝　岡戸　優　永田紀代枝　横渡千鶴子
高田　知子　佐藤たつ子　中沢　悦子　渡辺宇多子
渡辺　慶子　本間久美子　宮口　一江　山田サト子

会　計　山崎　博光　今来　サキ　小林　健二　大井　節子
奥村　優　明石　町子　大平　ヒサ

競技担当　稲村　昇　小林　正人　石森　敏男　奥　智在

競　技　麻生　了輔　湯橋　健　菅原　幸雄　石田　昭訓
久保田忠宜　簑　栄三　新井　拓　森山美奈子
小松加代子　町田　栄一　関根　忠　平川　卓弘
野方　孝　川田　喜一　村田　俊夫　寺山　光秀
森谷喜久男　小笹　勝司　露木　博保　石森　泰司

審判担当　前田　耕作　高橋　秀男　高橋　英夫

審　判　菅野　英美　高田　昌彦　岡田　時彦　諏訪　洋子
片柳久美子　山田ミヨ子　岩本　道雄　山本千枝子　鶴田　雅子
織田　啓子　小沢　典子　中野　正一　藤井　晃　大村　政子
野中アサノ　秋葉　明子　川嶋三津子　住母家美紀　山本　昭治
三浦　順子　宮田　富子　大野美恵子　石井　美穂　太田美佐子
酒井喜久子　西原　明美　伊草　幸子　沼田　昭子　田中　伴幸
木下　睦子　浜名　容子　横山美恵子　木村　伸一　河内　鈴香
松木三枝子　中村　三男　野田　貞幸　竹内富美枝　井口　淳子
宮本　容子　鳥越　俊孝　大西喜美子　塚原美津子　福田　聡子
伊藤　成子　橋本　道子　鈴木八重子　塩沢はるみ　森田　洋子
南雲あや子　石田　純　大戸さつき　寺崎　敬子　亀山　熙子
笠原千代子　西村はる恵　松永　健　今野　雄悟　高橋　君枝
本橋多恵子　鈴木　悦子　真砂野熙子　塚田　敦子　乾　よし子
児玉　美和　高木　道子　関口　照美　野津山恵美子　遠藤　京子
依田　文宏　河野　厚子　徳永　芳男　富永美津子　松原　和子
太田　泰子　春日　光江　多紀ゆき子　鈴木　恒雄　田村タツヨ
菅田みち子　宮崎美江子　浅田　邦子　皆川ゆき子　祐成　常久
内田紀江子　小林多寿子　西村　孝子　小林みよ子　関場　武
湯村　治夫　小美野佐保子　工藤　公子　浜口　登　宮路　秀憲
鈴木　文男　谷畑紀久子　原　正人　保田　秀行　小竹　次郎
永田喜美子　小野　智広　瀬川　佳子　美川　久子　崎山　行子
関口　邦雄　秋元みや子　服部　雅子　村本ひろみ　森　麗子
山下　史郎　森谷　克巳　遠藤　靖子　内山加奈子　伊東　昭美
島添　朱美　柿沢　豊　小野　園枝　樋地　正秀　工藤　みほ
笠井喜代子　川島　弘子　土田　吉宏　木村　和美　青木　芳子
橘　佳代　永松　綾子　仲沢　勝江　矢野　節子　石井喜恵子
高木　実　岡田　恭子　原　早苗　御山　好夫　鈴木　忍
安藤　悦子　富田　英子　百丸和香子　永田寿美子　小椋美沙子
横田美江子　仁藤　絹子　戸島　栄子　荒木　香代　今野モト子
福島アイ子　吉岡　恵子　切替　洋美　小川　誠一　安部　優
石井三千男　森田　孝子　菱沼　由恵　高橋　幸枝　荻原　卓子
蓮見　正宏　土方　良江　益頭　和雄　斉藤　佳子　井上なるみ
福田　晴世　川畑　裕美　千葉　昌恵　大庭　弘子　沼澤さゆり
溝口ひろみ　佐々木洋子　荒谷　勝造　山村　永　近藤志津子
田口　昌子　荒谷　文枝　原　すみ江
山田順一郎　今井　正男　三王　知治　鄭　景碩

ラケット変遷史

ウッドからカーボンまで――バドミントンの「進化」をたどる。

ウッド時代から現在のカーボン全盛期へと至るまでのプロセスには、アルミやスチールその他の素材など、様々な新素材への挑戦が繰り返されてきました。そのめざすところはなによりもまず、ラケットによるプレーの進歩です。とりわけ、現在の初速350kmを上回るスピードを生み出すパワーと、それを支える軽量化の面では、めざましい進歩を遂げています。

ウッドラケットの時代には124～135gが当たり前だったのが、いまでは90gさえも切るようになりました。軽ければ軽いほど、ラケットは扱いやすくなるはず。ということはつまり、誰もがラケットの進化に伴ってプレー自体のレベルもアップさせてきたことになります。でも果たして本当にそうなのでしょうか。

「軽ければいいというものではありません」と語るのは、かつて世界の舞台でも活躍した、元全日本チャンピオンです。

「軽いラケットは、本来ならパワーのある人が使うべきもの。軽いラケットで生きた球を打つためには、それだけのスイング力が必要なんです。ラケットにある程度の重さがなければ、力のある球は打てません。力のない人は、むしろ重めのラケットを使うべきだと思いますね」

実際、日本のトップクラスの選手たちが使用しているラケットも、95～100gあたりが一番多いといいます。

ラケットの軽量革命が最初に起きたのは、1968年のアルミシャフトを採用したB－7000の登場からということになるのでしょうが、当時はそれでもウッドにこだわる人のほうが多かったのも事実です。

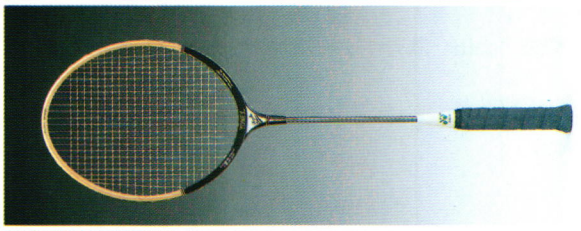
代表的な例では、四條畷学園が、アルミラケットB-8000を駆使して初のインターハイ制覇を果たし、名門への第一歩を踏みだしました。

この時代を代表する日本のプレーヤーといえば、真先にあげられるのが相沢／竹中ペアでしょう。ワンピースのスカート姿でさっそうと登場、世界最高峰の全英オープンで優勝するなど人気を博した美人ペアは、もっぱらB-9000を愛用していました。

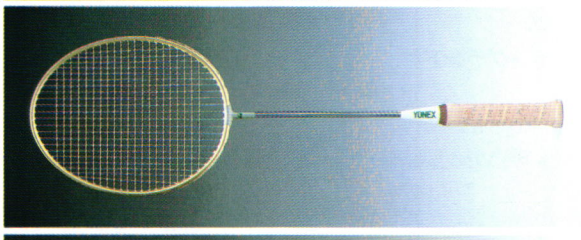
また68年から76年にかけて全英オープン7連覇を含め通算8回優勝という、とんでもない記録を残したハードヒッター、インドネシアの「神様」ことルディ・ハルトノの御用達



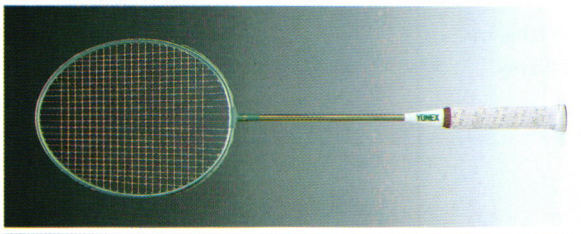
B-2000
(1960年代前半発売)
ウッドフレーム／スチールテーパーシャフト
ヨネックス創成記のラケット。当時新興勢力だった中央大学がこのラケットを使用し、初のインカレ優勝を果たしたことはいまでも語り種。



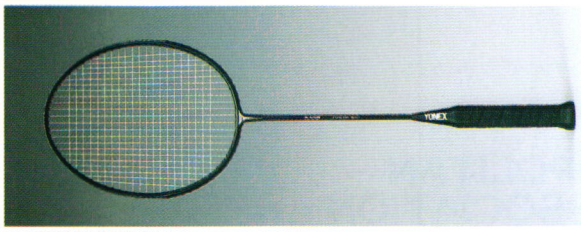
B-6000
(1968年発売)
ウッドフレーム／スチールロングテーパーシャフト
6000番の愛称で親しまれたヒット商品。140～150gと当時としては軽量に加え、抜群の耐久力をセールスポイントに、15年を越すロングランヒットを誇った。



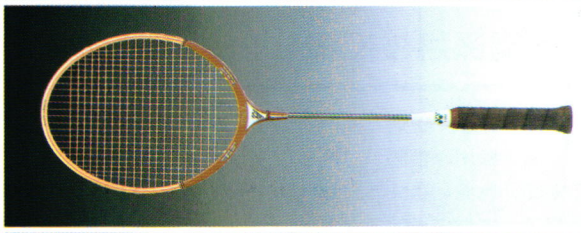
B-7000
(1968年発売)
アルミフレーム／スチールシャフト
衝撃的なゴールドカラーとともに、国産初の金属製ラケットとして登場。フレームとシャフトをT型ジョイントで連結し、アルミとスチールの合体に成功した。



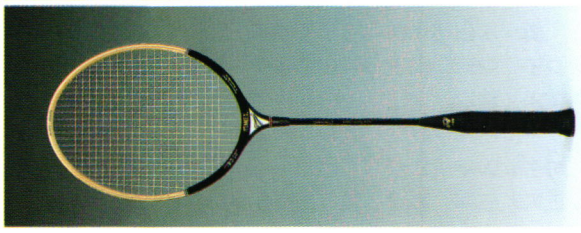
B-8000
(1969年発売)
アルミフレーム／アルミロングテーパーシャフト
パワーのない人や女性を対象に開発された、7000の姉妹品。フレーム、シャフトともアルミを採用、シャフトの柔らかいしなりを実現。



B-8100
(1974年発売)
特殊合金フレーム／スリムスチールロングシャフト
これぞ名品ブラッキー。7000と8000の長所が合体、一段とスリムかつパワフルに進化して人気爆発。振り抜きのよさで世界中に浸透した。



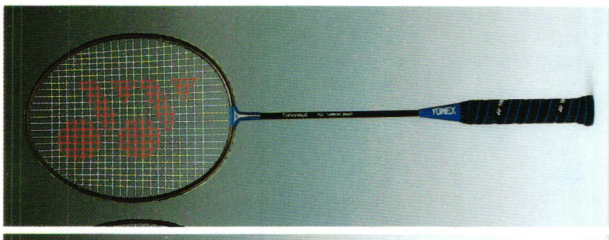
B-9100
(1974年発売)
ウッドフレーム／スリムステンレスロングシャフト
打球感にこだわる人に根強い支持を得ていた、ウッド&スチール製の最後のヒット商品。シャフトが細いハードヒッター用で、かのルディ・ハルトノも愛用。



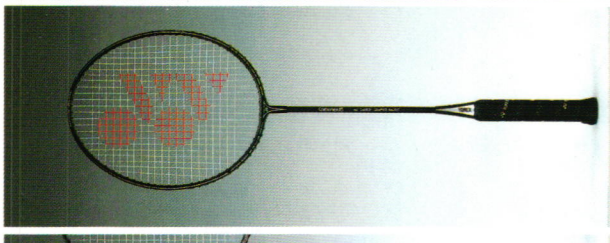
CAB-3
(1977年発売)
ウッドフレーム／カーボンテーパーシャフト
シャフトに新素材カーボンを採用し、バドミントンラケットに革命をもたらした。120 ～125 gの軽量化に成功、柔らかく高反発のカーボンはその後の主流となる。

6000番にブラッキーに9100番……。思わず「懐かしい！」とつぶやいて、ご自分の青春時代を思い出してしまった方もいらっしゃるのではないでしょうか。

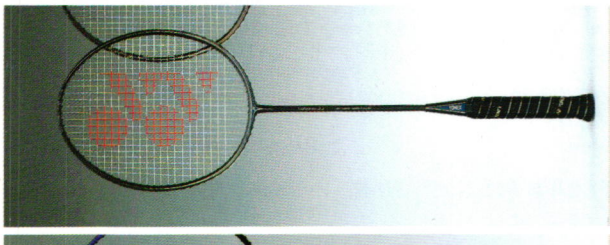
このコーナーでは、世界をリードするラケットメーカー、ヨネックスの過去30年間の代表的な製品をサンプルに、ラケット変遷の歴史をたどってみます。



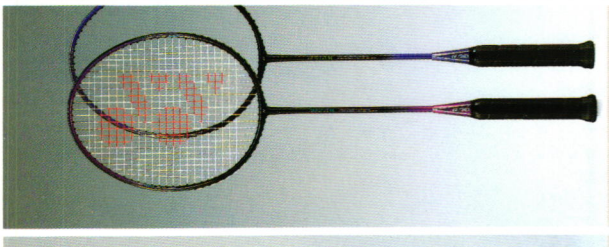
CAB-8
(1978年発売)
特殊アルミ合金フレーム／フルカーボンロングシャフト
CAB－3発売の翌年、今度はカーボンシャフトにアルミフレームを連結して登場。バドミントンラケットとしては初めて100gを切る超軽量化に成功した。



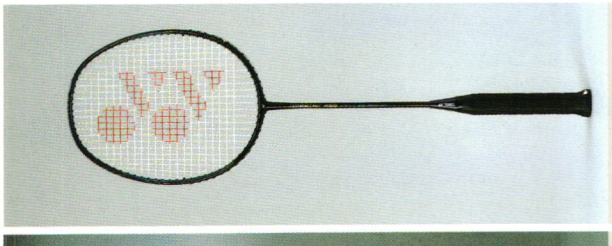
CAB-15
(1982年発売)
オールカーボンフレーム／オールカーボンロングシャフト
ロングセラーを誇ったCAB-8の登場から4年を経て、待望のオールカーボンが実現。いよいよカーボン時代の到来を告げたラケット。



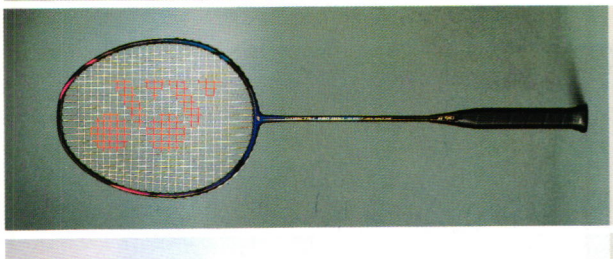
CAB-20
(1984年発売)
オールカーボンフレーム／オールカーボンシャフト
世界特許を獲得した内蔵T型ジョイントを採用。シャフトとフレームをつなぐジョイントを内蔵させることで空気抵抗を軽減させ、振り抜きが段違いに向上した。



エアロータス66
(1992年発売)
カーボンフレーム／カーボンシャフト
厚ラケブームの火付け役、エアロータス70(88年発売)の後継モデル。フレームを従来よりも薄く幅広に設計、フレーム自体にしなりをもたらすことで、さらなる空気抵抗の軽減を実現した。



アイソメトリック450
(1993年発売)
オールカーボンフレーム／スーパースリムカーボンシャフト
新形状アイソメトリック。ストリングのタテとヨコの長さを均等にすることで、従来の丸いラケットよりスイートスポットを上方に拡大させた。



アイソメトリックプロ800
(1994年発売)
オールカーボンフレーム／高弾性カーボンシャフト
アイソメトリックよりタテのストリングを長くし、スイートスポットがさらに拡大。より高い打点からのスマッシュを可能にした。



スーパーアイソメトリック7
(1995年発売)
オールカーボンフレーム／オールカーボンシャフト
新理論SPT（スマッシュパワー理論）で初速がアップ。面安定性にすぐれ、ヘッドがきいてスマッシュが鋭く沈む。

も、同シリーズのB-9100でした。

当時ウッドにこだわった人は、その理由としてやはり、打球感のよさを強調します。「弾くというのではなく、ヘッドでシャトルを持っていける感じがよかった。ウッドはストリングを強く張れないぶん、ガットの反発にゆとりがあるから、シャトルが当たっている時間が長い」

と前出の元チャンピオンもいいます。

しかし、インドネシアの強豪たちがスピード重視のラケットワークで活躍するようになって、徐々に流れは変わります。そう「ブラッキー」時代の到来です。

ダブルスではチュンチュン／ワジュディやクリスチャン／チャンドラといったペアが、目にも止まらぬ早業で頂点に立てば、シングルスでは「人間速射砲」リム・スイキンが台頭。ハルトノ後の新たな時代を築きます。

70年代後半、高反発、高弾性のカーボンの登場によってラケットの軽量化には拍車がかかり、さらに空気抵抗の軽減をはかった内蔵ジョイントや厚ラケ、スイートスポットの拡大をはかった新形状ラケットなど、ここ数年の急速な進化には驚かされるばかりです。

ラケットが扱いやすくなったことで、誰もがバドミントンを楽しみやすくなったことは確かなようです。反面、機能の高さに頼って、つい見落とされがちな部分もあるのではないでしょうか。

たとえば、基本であるグリップの握り方はしっかりできていますか。また、ストリングを必要以上に強く張りすぎては、かえってシャトルは飛びません。

ラケットの性能がいくら向上したといっても、勝つためのバドミントンは、いつの時代も変わりません。私たちはラケットの特性を考えるとき、現代の科学に感謝すると同時に今一度、自分のプレーそのものを見つめなおすべきでしょう。

アルビもアーディもスサンティも、プレースタイルそのものは昔の名選手たちと変わりません。自分のプレーを理解しているからこそ、科学の恩恵にも授かれるのです。

IBF世界ランキング

1995年11月27日・イングランド事務局発表

男子シングルス

			ポイント	出場回数
1	ヘリアント・アルビ	(インドネシア)	335.26	9
2	ジョコ・スプリアント	(インドネシア)	283.47	9
3	アラン・ブディ・クスマ	(インドネシア)	282.28	9
4	ポールエリク・ホイヤーラーセン	(デンマーク)	278.90	11
5	アーディ・B・ウィラナタ	(インドネシア)	257.71	11
6	ヘルマワン・スサント	(インドネシア)	257.52	10
7	董炯	(中国)	253.97	11
8	朴星宇	(韓国)	236.67	10
9	H・ヘンドラワン	(インドネシア)	206.73	9
10	李光珍	(韓国)	199.29	14
11	ファン・ペルマディ	(中華台北)	197.05	12
12	ラシッド・シデク	(マレーシア)	194.88	13
13	金学均	(韓国)	187.25	13
14	孫俊	(中国)	180.18	9
15	マルレフ・マイナキー	(インドネシア)	168.75	8
16	ピーター・ラスムセン	(デンマーク)	168.51	17
17	安哉昌	(韓国)	168.50	15
18	インドラ・ウィジャヤ	(インドネシア)	162.26	8
19	イエンス・オルソン	(スウェーデン)	156.90	12
20	ジャロエン・ファンダイク	(オランダ)	146.33	16
21	陳剛	(中国)	144.27	9
22	胡芝蘭	(中国)	139.56	10
23	リョー・ティオンピン	(インドネシア)	136.78	8
24	ジョージ・リマロディ	(インドネシア)	134.53	9
25	トーマス・ヨハンソン	(スウェーデン)	134.41	14

女子シングルス

			ポイント	出場回数
1	方銖賢	(韓国)	333.18	13
2	スシ・スサンティ	(インドネシア)	325.00	9
3	葉釗穎	(中国)	324.98	13
4	林小青	(スウェーデン)	301.07	15
5	王成	(中国)	248.42	8
6	ミア・アウディナ	(インドネシア)	245.06	11
7	羅景民	(韓国)	230.11	15
8	カミラ・マーチン	(デンマーク)	223.82	13
9	韓晶娜	(中国)	217.14	10
10	張寧	(中国)	212.55	10
11	金志炫	(韓国)	199.23	15
12	姚燕	(中国)	197.61	10
13	リディヤ・ジャエラウィジャヤ	(インドネシア)	169.73	9
14	ユリアニ・サントソ	(インドネシア)	155.47	11
15	李宙炫	(韓国)	145.11	15
16	戴温	(中国)	142.43	6
17	メイルワティ	(インドネシア)	140.16	8
18	水井妃佐子	(日本)	138.57	15
19	エレナ・リュブキナ	(ロシア)	130.65	13
20	水井泰子	(日本)	128.86	15
21	チンダナ	(インドネシア)	126.93	8
22	カトリーヌ・ベントソン	(スウェーデン)	126.46	11
23	サリナ・アブドラ	(シンガポール)	125.99	12
24	井田貴子	(日本)	124.45	15
25	ソムハルタイ・ジャルーンシリ	(タイ)	121.00	12

男子ダブルス

			ポイント	出場回数
1	スバグジャ／マイナキー	(インドネシア)	329.22	10
2	黄展忠／蒋欣	(中国)	318.68	9
3	グナワン／スプリアント	(インドネシア)	310.86	10
4	ホルストクリステンセン／ルンド	(デンマーク)	310.43	9
5	チー・スーンキット／ヤップ・キムホック	(マレーシア)	299.45	11
6	T・グナワン／R・ウィジャヤ	(インドネシア)	274.76	10
7	カントノ／アントニウス	(インドネシア)	270.26	10
8	柳鏞成／金東文	(韓国)	246.99	8
9	トングサリ／ティーラウィワタナ	(タイ)	229.35	13
10	C・ウィジャヤ／ストリスナ	(インドネシア)	226.44	10
11	アクセルソン／ヨーンソン	(スウェーデン)	223.59	14
12	姜京珍／河泰権	(韓国)	205.96	7
13	ヤップ・イーハップ／ヤップ・イーガン	(マレーシア)	198.47	8
14	スー・ベンキャン／タン・キムハー	(マレーシア)	186.03	14
15	ハント／アーチャー	(イングランド)	179.65	13

女子ダブルス

			ポイント	出場回数
1	吉永雅／張恵玉	(韓国)	362.70	13
2	葛菲／願俊	(中国)	354.35	11
3	スチュアローリドセン／トムセン	(デンマーク)	281.15	10
4	秦芸源／唐永淑	(中国)	272.00	10
5	エリサ／レシアナ	(インドネシア)	256.57	13
6	ブラドベリー／ライト	(イングランド)	247.44	13
7	金美香／金信英	(韓国)	236.86	15
8	キルケゴール／リッケ・オルセン	(デンマーク)	236.27	14
9	陳穎／彭新勇	(中国)	224.95	5
10	フィナルシ／タンピ	(インドネシア)	209.78	10
11	松尾知美／阪本雅子	(日本)	192.30	17
12	宮村愛子／宮村亜貴子	(日本)	183.73	12
13	オルセン／ヨルゲンセン	(デンマーク)	180.82	11
⋮				
24	水井妃佐子/水井泰子	(日本)	123.66	14

混合ダブルス

			ポイント	出場回数
1	金東文／吉永雅	(韓国)	302.85	12
2	ヘリヤント／ティムール	(インドネシア)	281.07	10
3	陶暁強／王暁圓	(中国)	240.11	7
4	ルンド／トムセン	(デンマーク)	238.13	6
5	ミシェルズ／ファンデンヒューベル	(オランダ)	232.65	8
6	フランディ／リセウ	(インドネシア)	225.17	8
7	劉堅軍／孫曼	(中国)	209.51	5
8	ポンティング／ライト	(イングランド)	201.65	14
9	アーチャー／ブラドベリー	(イングランド)	200.73	12
10	ケック／ステックマン	(ドイツ)	188.72	9
11	アントンソン／クラボー	(スウェーデン)	186.75	13
12	ホルストクリステンセン／リッケ・オルセン	(デンマーク)	176.03	6
13	ソゴール／リッケ・オルセン	(デンマーク)	175.61	6
14	陳興東／彭新勇	(中国)	170.00	3
15	ヤコブセン／ロッテ・オルセン	(デンマーク)	169.08	11



物流の合理化とシステム化をはかる、マルチネットワークステーション。

人から人への物の流れを、もっと速く、もっと確実に、そしてもっと簡単に。物流を通じて社会とかかわるトナミでは、さまざまな情報システムを有機的に結び付けるマルチネットワークステーションを開発。商品輸送と情報サービスを一体化したトータルシステムとして物流に関するあらゆる領域をカバーしています。単にモノを運ぶ企業から、モノと情報を一体化しコントロールする総合物流企業へ。独自の情報システムをベースに、新しい価値と夢を生み出しています。

安全、迅速、確実に、地域に密着したまごころ輸送 ——— 宅配システム
住まい、オフィス、店舗などあらゆる引越しをお手伝い ——— 引越システム
航空輸送と鉄道輸送のスピーディーな輸送ネットワーク —— 通運・航空システム
納品の代行から商品管理、商品加工まで幅広いサービス — 納品代行システム
製品の入出庫から在庫、輸配送までをトータルに管理 —— 流通倉庫システム
保険の申込から保険金支払までを企業にかわってすべて代行 —— 保険システム
代金回収情報の通知から決裁状況の管理までを一括代行 —— 銀行システム
VANを活用した貨物照会・応答、運輸管理などのサービス提供 ———
トナミ トータル オンラインシステム

情報の顔をいっぱい持つトナミが、
人の夢をいっぱい創ります。



いま、物流革新を未来に広げています。——— 総合物流企業

TONAMI

トナミ運輸株式会社

本社：富山県高岡市昭和町3-2-12
TEL(0766)21-1073 FAX(0766)21-3640

1996
主要国際大会スケジュール

1 JANUARY
～14　台北オープン　★★★★★
～21　ヨネックスジャパンオープン　★★★★★
～28　韓国オープン　★★★★★

2 FEBRUARY
17～24　トマス&ユーバー杯ヨーロッパ予選
（チェコ・プラハ）
18～25　トマス&ユーバー杯アジア予選
（ニュージーランド・オークランド）

3 MARCH
2/28～3　スイスオープン　★★★★
～10　スウェーデンオープン　★★★
～17　ヨネックス全英オープン　★★★★★
～31　ポーランドオープン　★★

4 APRIL
14～21　ヨーロッパ選手権（デンマーク・ヘルニング）
未定　アジア選手権

5 MAY
17～26　トマス&ユーバー杯（香港）

8 AUGUST
7/24～1　アトランタオリンピック
～25　マレーシアオープン　★★★★★★

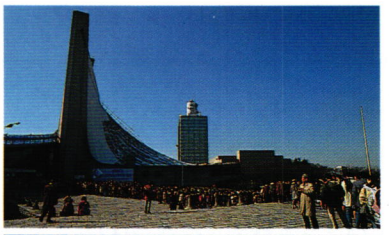
9 SEPTEMBER
～1　インドネシアオープン　★★★★★★
～8　シンガポールオープン　★★★★★★
～22　ヨネックスカナダオープン　★★
～29　ヨネックス全米オープン　★★

10 OCTOBER
～6　オランダオープン　★★
～13　ロシアオープン　★★
～20　デンマークオープン　★★★
～27　ヨネックスドイツオープン　★★★

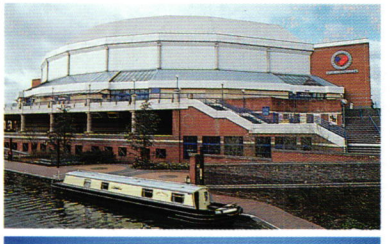
11 NOVEMBER
～3　香港オープン　★★★★★
～10　中国オープン　★★★★★
～17　タイオープン　★★★★
～24　スコットランドオープン　★

12 DECEMBER
10～15　ワールドグランプリファイナル　★★★★★★

★は大会のグレードをあらわす


●国立代々木競技場第2体育館
（日本・東京）


●オリンピック公園
フェンシング競技場
（韓国・ソウル）


●ナショナルインドアアリーナ
（イギリス・バーミンガム）


●ジョージア州立大学体育館
（アメリカ・アトランタ）


●ネガラスタジアム
（マレーシア・クアラルンプール）


●スナヤン競技場
（インドネシア・ジャカルタ）


●ブロンビーホール
（デンマーク・コペンハーゲン）


●北京体育館
（中国・北京）

熱き青春を記録する

バドミントン マガジン

B5判●定価680円



ひとつのエース・ショットに
限りない努力がある。
ひとつの勝利に限りない情熱がある。

★バドマガは、毎月22日発売です!

★年間購読のご案内★

「バドミントン・マガジン」は全国どこの書店でもご予約頂けます。品切れなどで手に入らない場合は、書店を通してか、直接小社販売部にお申し込みください。(その際送料がかかります)。本誌を毎号確実に入手されたい方には、年間定期購読をお勧めいたします。1年12号分概算8160円を郵便振替(00180-6-46620)でご送金頂ければ、小社より直接郵送(送料小社負担)いたします。その際「バドミントン・マガジン○月号から」と必ずご明記ください。なお、クレジットカードでの年間定期購読料のお支払いも可能です。(利用カードはUC、VISA、JCB、DCに限ります)。詳細はベースボール・マガジン社販売部☎03(3238)0181まで。

基本を学ぶために⑭

バドミントンのすすめ

平川卓弘・胡　小芸　共著
関根義雄　監修
A5判／定価2300円(税込)

世界に通用するジュニアの力を育てるべく、基本から忠実にイラスト、写真で解説する。シニアはすでに世界では通用しないほどレベルがたかくなっている現在、次代のジュニアを確実にそだてたい!





バドミントン上達法 ワンポイント・アドバイス

錢谷欽治著／A5判／定価1,200円

全日本選手権大会をはじめ各種の大会に何度も優勝した著者がその豊富な経験を生かし、実戦に役立つ内容を多くの写真とイラストを使用して解説してくれる。

バドミントンの実践トレーニング

プレーヤーとコーチのために

ジェイク・ダウネー、デヴィド・プロディー共著／阿部一佳他 共訳／B6判／定価979円

バドミントンの性質、体力の性質、体力づくりのトレーニング、トレーニング・プログラムへと進む内容が科学的・合理的にやさしく紹介。プレーヤー必読の書。



体育・スポーツ総合出版
株式会社ベースボール・マガジン社　〒101東京都千代田区三崎町3-10-10

●書店が遠くてご不便なお客様は小社販売部までお電話でご注文ください。早くて便利な着払い宅配便でご自宅または勤務先までお届けします。(送料は何冊でも380円です)

☎03(3238)0181
電話受付(月~金)午前9:00~午後5:00

大会記念グッズ
YONEX JAPAN OPEN '96



ダウンベスト　6,000円
ネイビー、エンジ



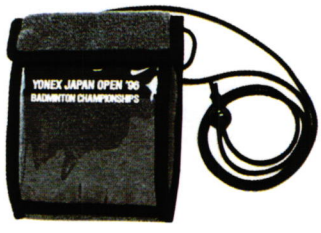
トレーナー　4,800円
ネイビー、ローズピンク、ホワイト、
グレー、ブルー



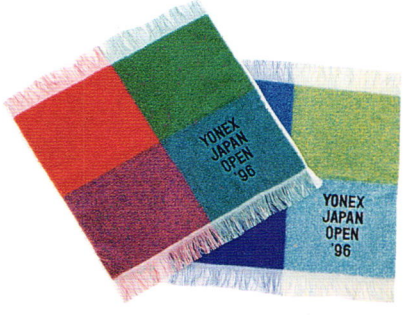
Tシャツ　2,000円
ホワイト、ブルー、グレー、ルージュピンク
イエロー、パープル



スタッフバッグ　900円
ネイビーブルー、イエロー、ピンク



パスケース　2,800円
グレー



タオルハンカチ　500円
ブルーパープル、ピンク



テレホンカード　800円
特製ボールペン　700円



キャップ　3,000円
グレー



ラケット型バッグ　6,000円
ネイビーブルー



スポーツタオルDX　1,800円
ホワイト、イエロー、ネイビーブルー



プラクティスグローブ　900円
ブルー、グリーン



ソックス　1,000円
ブルー、サーモンピンク、ネイビー



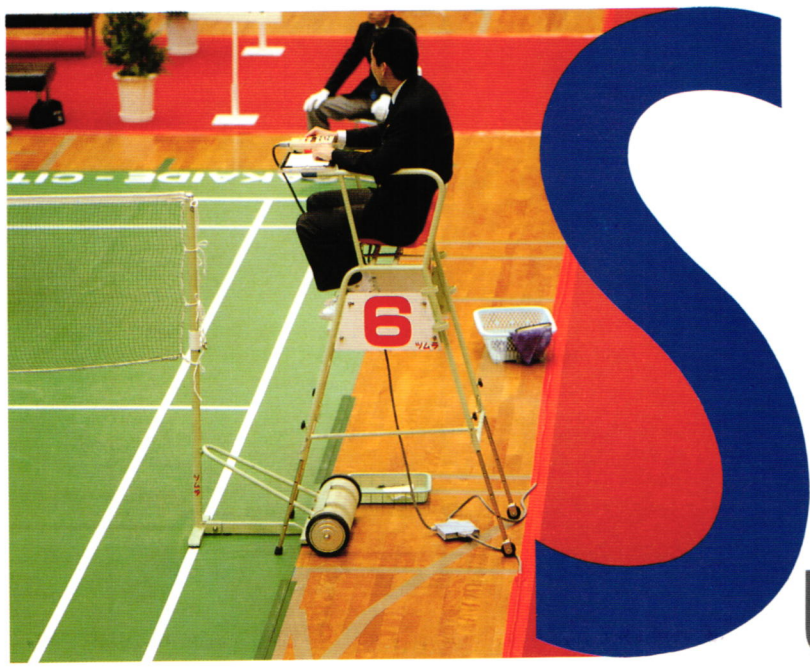
VICTORY

●

Vへのサポート

ひたすら重ねたトレーニング、ひたむきなまでの情熱、夢にまで見たコートに立つ自分の姿……。躍動するパワー、瞬間にかけた技術、フレキシブルな攻守が展開される、競技にかける選手のための施設でありたい。

●



SUPPORT

日本バドミントン協会検定工場

ツムラ®

本　社／〒766 香川県仲多度郡琴平町榎井590
TEL0877-73-2251(代) FAX0877-73-2064

東京支店／〒169 東京都新宿区西早稲田2-17-19メゾン・ファミーユ
TEL03-3208-1505 FAX03-3208-1535

株式会社 都材製作所

⊙サインをもらったら「ありがとう」を言おう。――――――英語は「サンキュー」、中国語は「シェエシェ」、インドネシア語は「テレマカシ」、韓国語は「カムサハムニダ」。

SANYO

人と・地球が大好きです

ウフフのフ、電話もたずに電話する。

❶テープ不要で瞬間用件頭出し・飛び越し、部分消去が可能。さらに、声の高さをほとんど変えずに、早聞き・遅聞きができる「るす録の天才・Ⅱ」搭載。❷コードレス子機が1台増設OK。❸親機も子機も、もたずに話せる「テブラ機能」。

るす録の天才 Ⅱ 早聞き 遅聞き



◎小電力コードレス留守番電話機
TEL-L371(H) 標準価格49,800円(税別)
◎別売増設子機 TEL-L780S(H) 標準価格24,000円(税別)

ファクシミリ付きも、ヨロシク。



◎パーソナルファクシミリ
SFX-55CL(H) 標準価格93,000円(税別)
◎別売増設子機 TEL-L780S(H) 標準価格24,000円(税別)

電話もFAXも テ・ブ・ラ・コードるす

◎国内で使用が認められているコードレス電話には、3つマークの①Ⓢ㊣または1つマークの㊣が必ず表示されています。

三洋電機株式会社/三洋ライフ・エレクトロニクス株式会社/鳥取三洋電機株式会社

●ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

NTT

FAXさえ あればだいじょうぶ。



すべての家族に、そろそろ一台。きっと選べる、NTTのホームファクス。

新発売



でんえもん215CL
希望小売価格 95,000円

新発売



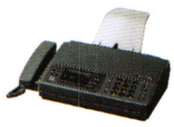
でんえもん214CL
希望小売価格 78,000円



でんえもんPro22CL
希望小売価格 135,000円



でんえもん212CL
希望小売価格 92,000円



でんえもん213
希望小売価格 65,000円



でんえもん212
希望小売価格 62,000円



でんえもん12
希望小売価格 49,800円

※希望小売価格には、消費税・工事費は含まれておりません。

でんえもん

●お求めは、お近くのNTT
または NTT 販売店 の看板のお店へどうぞ。